

Solid-State Memory Camcorder

ファームウェアアップグレード JP
ドのお知らせ

Firmware update GB

固件更新 CS

Mise à jour du
micrologiciel FR

Firmware-Update DE

Actualización de firmware ES

Aggiornamento del
firmware IT

日本語

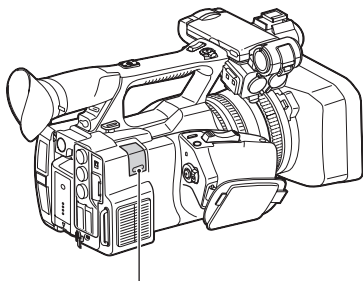
本機は、アップグレードにより、新しい機能の追加に対応しております。ここでは、PXW-X180/PXW-X160の「Ver.2.0」以降で追加された機能の紹介や使いかたについて説明します。

本機の「取扱説明書」もあわせてお読みください。

各部の名称と働き

新しくなった機能のみ記載しています。

カメラ



USBワイヤレスLANモジュール格納部 (PXW-X180のみ) (5、9)

USBワイヤレスLANモジュールIFU-WLM3 (付属)、モデム (別売)、または、ネットワークアダプター CBK-NA1 (別売) に付属しているUSB-RJ45アダプターを接続することにより、無線LAN機器やネットワークとの通信が可能になります。

ステータス画面

ステータス画面のうち、「システムステータス画面」の「Wi-Fi (PXW-X180のみ)」がなくなり、新たに「ネットワークステータス画面」が追加されました。

ネットワークステータス画面

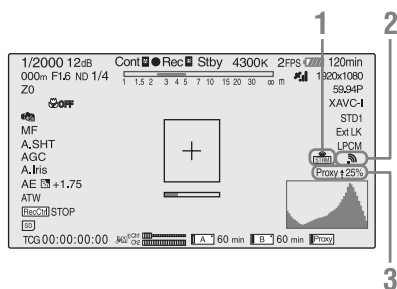
ネットワークの設定や状態を表示します。

Setting	Networkの設定状態
Device Name	USBワイヤレスLANモジュール格納部に装着されている機器の名称
IP Address	本機のIP Address

Streaming Status	ストリーミングの配信状態
Streaming Size	現在選択しているStreaming設定の画サイズ
Streaming Bit Rate	現在選択しているStreaming設定のビットレート
Streaming Type	現在選択しているStreaming設定の種別
Streaming Dest. Add.	Streamingの送信先アドレス
Streaming Dest. Port	Streamingの送信先ポート

液晶画面/ビューファインダー画面

撮影中の画面に表示される情報



1. ストリーミング状態表示 (PXW-X180のみ)

ストリーミングの状態を表示します。

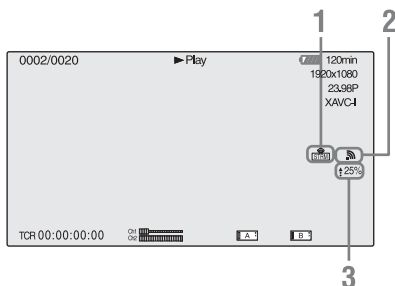
2. ネットワーク接続状態表示 (PXW-X180のみ)

ネットワーク機能が有効な場合に表示します。

3. プロキシ状態表示 (PXW-X180のみ)

プロキシ記録の設定状態とプロキシファイルの転送状況を表示します。

再生中の画面に表示される情報



1. ストリーミング状態表示 (PXW-X180のみ)
2. ネットワーク接続状態表示 (PXW-X180のみ)
3. プロキシー転送状況表示 (PXW-X180のみ)
プロキシーファイルの転送状況を表示します。

ピクチャーキャッシュレック

本機では、内蔵の大容量メモリーに本機で撮影している映像／音声データを常時数秒間分（最大15秒間）蓄えておくことにより、記録を開始したとき、その数秒前からの映像を記録することができます。

ピクチャーキャッシュモード／ピクチャーキャッシュ時間の設定

ピクチャーキャッシュモードで記録を始めるには、あらかじめセットアップメニューのRecordingメニューでピクチャーキャッシュモードおよびメモリーへの画像の蓄積時間（ピクチャーキャッシュ時間）を選択しておく必要があります（21ページ）。記録を開始したときに、記録開始操作の実行から何秒前にさかのぼって記録できるかは、ピクチャーキャッシュ時間によって決まります。次の「ご注意」に挙げるような

特殊な場合では、さかのぼって記録できる時間が短くなる場合があります。

ご注意

- メモリーへの画像の蓄積は、ピクチャーキャッシュモードを選択してから開始されます。したがって、選択後すぐに記録を開始した場合は、ピクチャーキャッシュモード選択以前に撮影した映像は記録されません。
- 再生、レックレビュー、およびサムネイル表示を行っている間は、メモリーに画像を蓄えないため、再生やレックレビューを行っていた間の映像をさかのぼって記録することはできません。

ピクチャーキャッシュモード／ピクチャーキャッシュ時間を設定する

ご注意

- ピクチャーキャッシュレックは、スロー&クイックモーション、クリップコンティニュアスレックと同時に使用することはできません。ピクチャーキャッシュモードを選択すると、スロー&クイックモーション、クリップコンティニュアスレックは無効になります。また、スロー&クイックモーション、クリップコンティニュアスレックのいずれかを有効にすると、ピクチャーキャッシュモードは自動的に解除されます。
- ビデオフォーマットなどのシステム設定を変更すると、メモリーに蓄えられていた画像がクリアされます。変更直後に記録を開始しても、変更前に撮影した映像は記録されません。ピクチャーキャッシュモードは自動的に解除されません。
- 記録中にピクチャーキャッシュ時間を設定することはできません。
- AVCHDには対応していません。

1 RecordingメニューのPicture Cache RecのSettingでピクチャーキャッシュレックをONにする。

メニューの操作については、取扱説明書の「セットアップメニューの操作方法」をご覧ください。

2 RecordingメニューのPicture Cache RecのCache Rec Timeでピクチャーキャッシュ時間を選択する。

一度選択したピクチャーキャッシュモードは、設定を変更するまで保持されます。

アサイナブルボタンを使う

Picture Cache Recはアサイナブルボタンに割り当てることができます。割り当て方については、取扱説明書の「アサイナブルボタン」を参照してください。

割り当てたアサイナブルボタンを押して、ピクチャーキャッシュモードを選択することもできます。

ピクチャーキャッシュモードで記録する場合の本機の動作について

記録の手順は通常とほぼ同じですが、本機の動作には通常と異なる点がありますので、以下の点に充分ご注意ください。

- メディアへアクセスしている間に記録を開始した場合、実際に記録される映像の開始点が、設定されたピクチャーキャッシュ時間よりも遅くなる場合があります。記録クリップ数が多いほど遅くなるため、ピクチャーキャッシュモードでは、すばやく記録停止、記録開始操作はなるべく避けてください。
- TC/UBメニューのTimecode>Runの設定は常にFree Runになります。
- ピクチャーキャッシュモードではタイムデータの設定を行うことはできません。タイムデータを設定する場合は、いったんピクチャーキャッシュモードを解除してください。
- 記録開始操作前にショットマークを設定しても、ショットマークは記録されません。

記録中に本機の電源が切れた場合

- 本機の電源スイッチをOFFにした場合は、その瞬間までメモリーに蓄えられていた映像を記録するため、数秒間メディアにアクセスしてから、自動的に電源が切れます。
- 記録中にバッテリーを取りはずしたり、DCケーブルを引き抜いたり、ACアダプター側の電源を切ったりした場合は、メモリーに蓄積されている映像/音声データが消滅するため、その瞬間までの映像は記録されません。バッテリー交換の際は、充分ご注意ください。

NDフィルターポジションごとのホワイトバランスメモリー

WHT BALスイッチの設定（AまたはB）に対応するメモリーに、NDフィルターポジションごとの調整値を自動的に記憶させることができます。本機のNDフィルターポジションは CLEAR、PRESET 1～3、VARIABLE の5種類があるので A/B 合わせて 10個の調整値を記憶できます。

Filter White Memoryの設定

セットアップメニューのPaintメニューで Filter White MemoryをOnにします（21ページ）。

Offにすると、A/B両系統のメモリー数が1個に限定され、NDフィルターのポジションに連動しません。

デバイスとワイヤレスLAN接続する（PXW-X180のみ）

本機にUSBワイヤレスLANモジュール IFU-WLM3（付属）を取り付けると、スマートフォンやタブレットなどのデバイスと本機をワイヤレスLAN接続することができます。

ご注意

- IFU-WLM3以外のUSBワイヤレスLANモジュールは使用できません。

ワイヤレスLAN接続されたデバイスと本機の間では、以下の操作が可能です。

- **ワイヤレスLAN経由でのリモート操作**
本機とワイヤレスLAN接続されたスマートフォンやタブレット、コンピューターから本機をリモート操作することができます。

• ワイヤレスLAN経由での映像モニタリング

本機のカメラ映像や再生映像からストリーム（H.264）を作成し、ワイヤレスLAN 経由でスマートフォン/タブレットから「Content Browser Mobile」アプリケーションを使ってモニタリングすることができます。

「Content Browser Mobile」アプリケーション

デバイスの画面で本機をモニタリングしながらリモート操作をしたり、本機の設定をすることができるアプリケーションを用意しています。

◆「Content Browser Mobile」アプリケーションについて詳しくは、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご確認ください。

対応デバイスについて

本機の設定や操作にはスマートフォン、タブレットまたはコンピューターを使用することができます。使用できるデバイス、OS、ブラウザーは以下をご覧ください。

デバイス	OS	ブラウザ
スマートフォン	Android 4.4	Chrome
	iOS8	Safari
タブレット	Android 4.4	Chrome
	iOS8	Safari
コンピューター	Microsoft Windows 7/ Microsoft Windows 8	Chrome
	Mac OS 10.9/ 10.10	Safari

IFU-WLM3を取り付ける

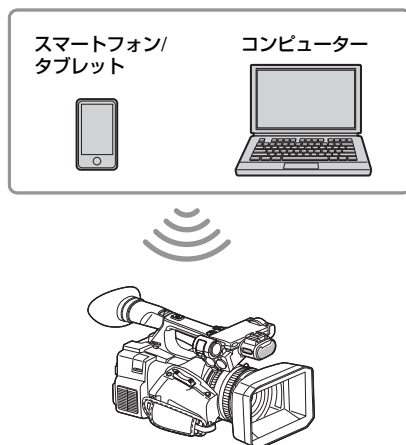
- 1 USBワイヤレスLANモジュール格納部（2ページ）のカバーを開ける。
- 2 IFU-WLM3をUSB端子に差し込む。
- 3 カバーを閉じる。

ご注意

- IFU-WLM3を取り付けたり取り外したりするときは、RecordingメニューのProxy Recording ModeのSettingとSystemメニューのNetworkのSettingの両方をOffにするか、本機の電源を切ってください。

ワイヤレスLANアクセスポイントモード（Access Pointモード）で接続する

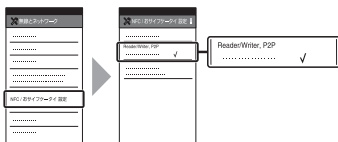
本機をアクセスポイントとしてデバイスとワイヤレスLAN 接続します。



NFC機能搭載のデバイスでワンタッチ接続する

デバイスがNFCをサポートしている場合には、NFCを利用したワンタッチ接続が可能です。


- 1 デバイスの「設定」を起動して「その他の設定」を選び、「NFC/おサイフケータイ設定」の「NFC R/W P2P」または「Reader/Writer, P2P」にチェックを入れる。




- 2 本機の電源を入れる。

- 3 NFC機能を有効にする。

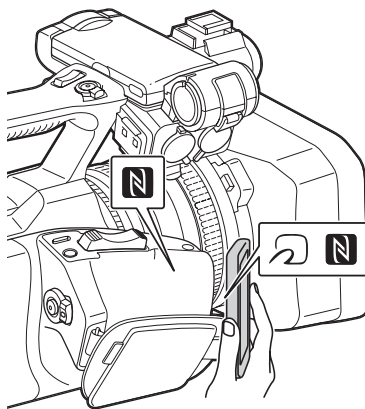
ASSIGN 3ボタン/NFCボタンを長押し（3秒間）するか、SystemメニューのNetworkのNFCを実行して、NFC接続モードにしてください。

画面に  が表示されているときのみNFC機能を使用できます。


ご注意

- 画面に  が表示されるまでに時間がかかる（30秒から1分）場合があります。液晶画面/ビューファインダー画面のワイヤレスLAN接続状態表示（2ページ）が「AP」点滅から「AP」点灯に変わるまでお待ちください。

- 4 本機とデバイスをタッチする。
デバイスが本機に接続され、「Content Browser Mobile」が起動します。



ご注意

- 一部の  が付いているデバイスはNFCに対応していません。詳しくはデバイスの取扱説明書でご確認ください。
- あらかじめデバイスのスリープおよび画面ロックを解除してください。
- デバイスで「Content Browser Mobile」が起動するまで（1～2秒）動かさずにタッチし続けてください。

WPS機能搭載のデバイスで接続する

デバイスがWPSをサポートしている場合には、WPSでの接続が可能です。

- 1 SystemメニューのNetworkのSettingで、ネットワークの動作モードをWi-Fiアクセスポイント（Wi-Fi Access Point）に設定する。

ご注意

- Wi-Fiアクセスポイントモードになるまでに時間がかかる（30秒から1分）場合があります。液晶画面/ビューファインダー画面のネットワーク接続状態表示（2ページ）が「AP」点滅から「AP」点灯に変わるまでお待ちください。
- 2 SystemメニューのNetworkのWPSを実行する。
 - 3 デバイスのNetwork設定/Wi-Fi設定を開き、Wi-FiをOnにする。

- 4 Wi-Fi NetworkのSSID一覧から、本機のSSIDを選択し、詳細Optionを表示し、WPS Push Buttonを選択する。

ご注意

- 使用する機器によっては、操作が異なる場合があります。

- 5 デバイスのブラウザーを起動し、「<http://192.168.1.1:8080/index.html>」にアクセスする。
ユーザー名「User name」とパスワード「Password」を入力する画面が表示されます。

- 6 ユーザー名とパスワードを入力して、「OK」を選択する。
アクセス認証のユーザー名およびパスワードについては、SystemメニューのBasic Authenticationをご確認ください。詳しくは、取扱説明書の「セットアップメニュー一覧」の「Systemメニュー」を参照してください。

デバイスでSSID、Passwordを入力して接続する

デバイス側でSSIDとPasswordを入力して接続します。

- 1 SystemメニューのNetworkのSettingで、ネットワークの動作モードをWi-Fiアクセスポイント (Wi-Fi Access Point) に設定する。

ご注意

- Wi-Fiアクセスポイントモードになるまでに時間がかかる (30秒から1分) 場合があります。液晶画面/ビューファインダー画面のネットワーク接続状態表示 (2ページ) が「AP」点滅から「AP」点灯に変わるまでお待ちください。

- 2 デバイスのNetwork設定/Wi-Fi設定を開き、Wi-FiをOnにする。

- 3 Wi-Fi NetworkのSSID一覧から、本機のSSIDを選択し、Passwordを入力して接続する。

本機のSSIDおよびPasswordについては、SystemメニューのNetworkの、SSID & Passwordでご確認ください (21ページ)。

ご注意

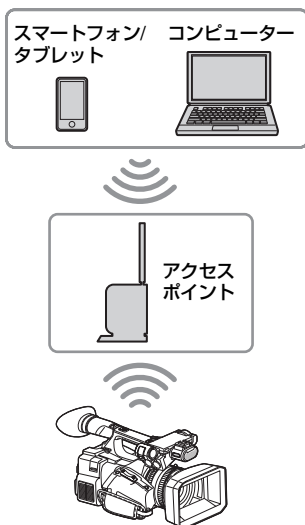
- 使用する機器によっては、操作が異なる場合があります。

- 4 デバイスのブラウザーを起動し、「<http://192.168.1.1:8080/index.html>」にアクセスする。
ユーザー名「User name」とパスワード「Password」を入力する画面が表示されます。

- 5 ユーザー名とパスワードを入力して、「OK」を選択する。
アクセス認証のユーザー名およびパスワードについては、SystemメニューのBasic Authenticationをご確認ください。詳しくは、取扱説明書の「セットアップメニュー一覧」の「Systemメニュー」を参照してください。

ワイヤレスLAN ステーション モード (Stationモード) で接 続する

本機をクライアントとして既存のワイヤレスLANのアクセスポイントに接続します。デバイスとはアクセスポイント経由で接続します。



WPS機能を使ってアクセスポイントに 接続する

アクセスポイントがWPS機能対応の場合は、簡単な設定で接続することができます。アクセスポイントがWPS機能対応ではない場合は、「WPS 機能を使わないでステーションモードでアクセスポイントに接続する場合」(18ページ)をご覧ください。

- 1 アクセスポイントの電源を入れる。
- 2 本機の電源を入れる。
- 3 **SystemメニューのNetworkのSettingで、ネットワークの動作モードをWi-Fiステーション (Wi-Fi Station) に設定する。**

ご注意

- Wi-Fiステーションモードになるまでに時間がかかる (30秒から1分) 場合があります。液晶画面/ビューファインダー画面のネットワーク接続状態表示 (2ページ) が、電波強度表示点滅から電波強度表示点灯に変わるまでお待ちください。

4 SystemメニューのNetworkのWPS を実行する。

5 アクセスポイントのWPS ボタンを押 す。

WPS ボタンの操作については、アクセスポイントの取扱説明書をご覧ください。

接続が完了すると、液晶画面/ビューファインダー画面のワイヤレスLAN接続状態表示 (2ページ) の電波強度表示が強度1以上で点灯します。

ご注意

- 接続に失敗した場合は手順1からやり直してください。

6 デバイスをアクセスポイントに接続 する。

接続のしかたについては、各機器の取扱説明書をご覧ください。

7 デバイスのブラウザーを起動し、 「[http://<アクセスポイントが本機に 割り当てたIPアドレス>:8080/ index.html](http://<アクセスポイントが本機に割り当てたIPアドレス>:8080/index.html)」にアクセスする。

本機のIPアドレスはSystemメニューのNetworkのIP Addressでご確認ください。

ユーザー名「User name」とパスワード「Password」を入力する画面が表示されます。

8 ユーザー名とパスワードを入力して、 「OK」を選択する。

本機のWeb メニューが表示されます。Web メニューについて詳しくは「Webメニューについて」(14ページ)をご覧ください。

アクセス認証のユーザー名およびパスワードについては、SystemメニューのBasic Authenticationをご確認ください。

インターネット接続する (PXW-X180のみ)

本機にモデム (別売)、USBワイヤレスLANモジュール IFU-WLM3 (付属) または、ネットワークアダプターキットCBK-NA1 (別売) に付属しているUSB-RJ45アダプターを取り付けてインターネットに接続します。

モデムを使用して接続する

モデム (別売) を本機に取り付けることによって、3G/4G回線経由でインターネットに接続することができます。

モデムを本機に取り付ける

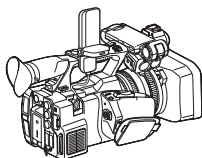
1 USBワイヤレスLANモジュール格納部 (2ページ) のカバーを開ける。

2 ネットワークアダプターキットCBK-NA1 (別売) に付属しているネットワークモジュール延長アダプターを本機に取り付ける。

凸端子を本機のUSBワイヤレスLANモジュール用端子に接続し、凹端子にモデムを取り付けます。本機のアクセサリシュー取り付け部のねじ穴 (1/4インチ) を使って固定できます。



インターネット



ネットワーク
モジュール延長
アダプター
+
モデム

3 モデムをネットワークモジュール延長アダプターに装着する。

ご注意

- モデムを取り付けたり取り外したりするときは、RecordingメニューのProxy Recording ModeのSettingとSystemメニューのNetworkのSettingの両方をOffにするか、本機の電源を切ってください。

接続する

1 SystemメニューのNetworkのSettingで、ネットワークの動作モードをモデム (Modem) に設定する。

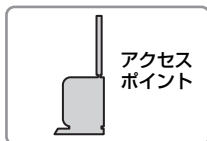
ご注意

- モデムモードになるまでに時間がかかる (30秒から1分) 場合があります。液晶画面/ビューファインダー画面のネットワーク接続状態表示 (2ページ) が「3G/4G」点滅から「3G/4G」点灯に変わるまでお待ちください。

ワイヤレスLANステーションモード (Wi-Fi Station モード) で接続する

USBワイヤレスLANモジュール IFU-WLM3 (付属) を本機に取り付け、3G/4G/LTE対応アクセスポイント (別売) またはデバイスのテザリングを使用することによって、Wi-Fiステーションモードでインターネットに接続することができます。

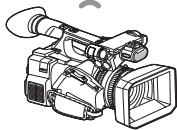
スマートフォン/
タブレット



アクセスポイント



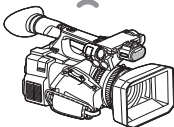
インターネット



スマートフォン/
タブレット



インターネット



接続する

アクセスポイントまたはデバイスがWPS機能対応の場合は「WPS機能を使ってアクセスポイントに接続する」(8ページ)、WPS機能に対応していない場合は「WPS機能を使わないでステーションモードでアクセスポイントに接続する場合」(18ページ)の手順で接続します。

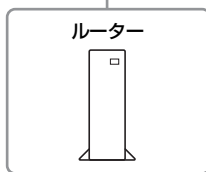
接続の操作の前に、アクセスポイントまたはデバイスの電源を入れ、デバイスの場合はテザリング機能が使用できるようにしておいてください。

LANケーブルを使用して接続する

ネットワークアダプターキットCBK-NA1(別売)に付属しているUSB-RJ45アダプターを本機に取り付け、インターネットルーターとLANケーブルで接続することによって、インターネットに接続することができます。



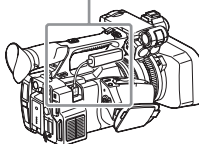
コンピューター



ルーター



インターネット



USB-RJ45
アダプター

USB-RJ45アダプターを本機に取り付ける

- 1 USBワイヤレスLANモジュール格納部(2ページ)のカバーを開ける。
- 2 USB-RJ45アダプターを本機に取り付ける。

取り付け方については、ネットワークアダプターキットの「インストラクションマニュアル」をご覧ください

ご注意

- USB-RJ45アダプターを取り付けたり取り外したりするときは、RecordingメニューのProxy Recording ModeのSettingとSystemメニューのNetworkのSettingの両方をOffにするか、本機の電源を切ってください。

接続する

- 1 SystemメニューのNetworkのSettingで、ネットワークの動作モードをモデム (Modem) に設定する。

ご注意

- 有線LANモードになるまでに時間がかかる (30秒から1分) 場合があります。液晶画面/ビューファインダー画面のネットワーク接続状態表示 (2ページ) が「3G/4Gアイコン」点滅から「3G/4Gアイコン」点灯が変わるまでお待ちください。
- 有線LAN接続にした場合でも、メニュー設定で表示される項目やモニター画面の表示はモデム接続のときと同じになります。

ファイルを転送する (PXW-X180のみ)

本機に記録したプロキシファイルやオリジナルファイルを、3G/4G/LTE回線やアクセスポイント経由で接続したインターネット上のサーバーへ転送することができます。

準備する

インターネットに接続する
「インターネット接続する」(9ページ)の手順に従って、本機をインターネットに接続します。

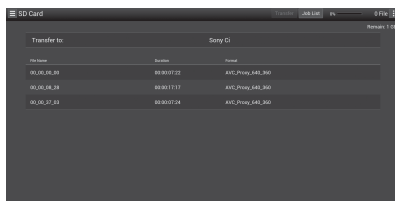
ファイルの転送先を登録する
あらかじめファイルを転送するサーバーを登録しておきます。サーバーの登録のしかたについては、「新しく転送先のサーバーを登録する」(19ページ)をご覧ください。

ファイルを選んで転送する

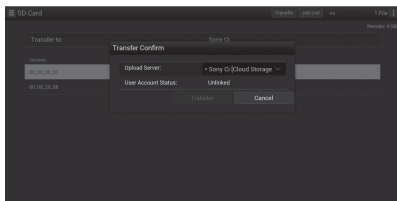
本機のSDカードに記録したプロキシファイル、SxSメモリーカードのオリジナルファイルをサーバーに転送します。

SDカードのプロキシファイルを転送する

- 1 本機とデバイスをワイヤレスLAN接続し、デバイスのブラウザを起動して本機にアクセスする (5ページ)。
- 2 ファイルを選ぶためのファイルリスト画面を表示させる。
☰ をタップし、Media Infoを選んでSD Cardをタップします。SD Card画面が表示されます。



- 3 転送したいファイルを選ぶ。
ファイルをタップして選びます。もう一度タップすると、キャンセルします。ダブルタップすると、ファイルを再生して内容を確認することができます。
- 4 Transferをタップする。
「新しく転送先のサーバーを登録する」(19ページ)のDefault Serverでデフォルト設定された転送先が表示されます。転送先を変更する場合は、転送先をタップしてリストを表示させ、転送先を選びます。
必要に応じて、Directoryに転送先のディレクトリーを入力します。



5 Transferをタップする。

選んだファイルの転送を開始します。転送を中止するときは、Cancelをタップします。


SxSメモリーカードのオリジナルファイルを転送する

1 本機とデバイスをワイヤレスLAN接続し、デバイスのブラウザーを起動して本機にアクセスする（5ページ）。

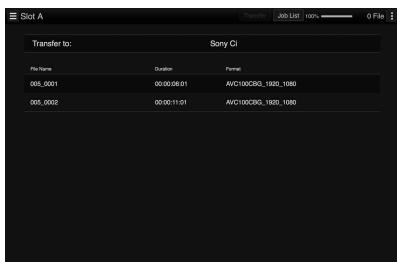
2 本機をファイル転送モードに変更する。

SystemメニューのFile TransferのFile Transferを実行して、SxSメモリーカードのオリジナルファイルを転送するモードに変更します。

3 ファイルを選ぶためのファイルリスト画面を表示させる。

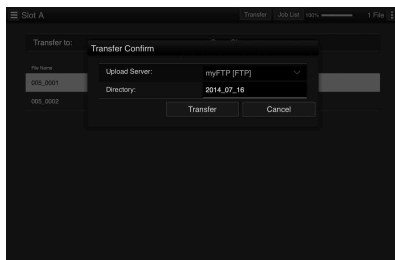
デバイスのブラウザー画面で  をタップしてMedia Infoを選択し、Slot A（スロットAのメディアに記録されているファイル）またはSlot B（スロットBのメディアに記録されているファイル）をタップします。Slot AまたはSlot B画面が表示されます。

例：Slot A画面



4 転送したいファイルを選ぶ。
ファイルをタップして選びます。もう一度タップすると、キャンセルします。

5 Transferをタップする。
「新しく転送先のサーバーを登録する」（19ページ）のDefault Serverでデフォルト設定された転送先が表示されます。転送先を変更する場合は、転送先をタップしてリストを表示させ、転送先を選びます。必要に応じて、Directoryに転送先のディレクトリーを入力します。



6 Transferをタップする。
選んだファイルの転送を開始します。転送を中止するときは、Cancelをタップします。

ファイル転送の確認をする

SD Card、Slot AまたはSlot B画面のJob Listをタップして表示されるJob List画面でファイル転送の状態を確認することができます（20ページ）。

映像・音声をストリーミング伝送する（PXW-X180のみ）

カムコーダーで撮像・再生している映像・音声を、インターネットやローカルネットワークを通じて伝送することができます。

準備する

インターネットに接続する

「インターネット接続する（PXW-X180のみ）」（9ページ）の手順に従って、本機をインターネットに接続します。

ローカルネットワークに接続する

「デバイスとワイヤレスLAN接続する（PXW-X180のみ）」（4ページ）の手順に従って、本機をローカルのネットワークに接続します。

ストリーミング伝送の伝送先を設定する

- 1 **SystemメニューのStreamingで、Preset1（またはPreset2、Preset3）を選択し、ストリーミングの接続先設定画面を開く。**
- 2 **ストリーミングの接続先設定画面でSize、Bit Rate、Type及びTypeIに応じた設定項目を設定する。**
- 3 **SystemメニューのStreamingのPreset Selectで、手順1、2で設定したPreset1（またはPreset2、Preset3）を選択する。**

ストリーミングを開始する

- 1 **SystemメニューのStreamingのSettingをOnにする。**
設定に応じてストリーミングが開始されます。
Streamingはアサインボタンに割り当てることができます。割り当て方については、取扱説明書の「アサインボタン」を参照してください。

ご注意

- SystemメニューのNetworkのSettingがOffの場合はストリーミングを開始できません。
- ストリーミングを開始してから実際に映像・音声にストリーミングされるまでに数十秒かかる場合があります。
- SDクリップの再生時はストリーミングを開始できません。
- ストリーミングの伝送先設定が間違っている場合やネットワークに接続できていない場合には、ストリーミング状態表示に×が表示されます。

ストリーミングを停止する

- 1 **SystemメニューのStreamingのSettingをOffにするとストリーミングが停止する。**
StreamingがOnのときに、Streamingがアサインされたアサインボタンを押すことでもストリーミングを停止できます。

デバイスとワイヤレスLAN接続している場合（4ページ）とワイヤレスLANステーションモードでインターネット接続している場合（9ページ）には、ストリーミング伝送先の設定、ストリーミングの開始/停止をWebメニュー（14ページ）から行うこともできます。

Wi-Fiリモコンを使用する（PXW-X180のみ）

ワイヤレスLAN接続時は、スマートフォンやタブレットなどのデバイスから、本機に内蔵されたWi-Fiリモコンにアクセスすることができます。
Wi-Fiリモコンを使用すると遠隔から本機を操作できます。記録の開始/停止や撮影設定を遠隔操作で調整できるため、本機を離れた場所に固定する場合や、本機をクレーンに装着して使用する場合に有効です。

Wi-Fiリモコンを表示する

Wi-Fi Remote 画面は、デバイスの画面サイズに応じて自動で切り替わります。Wi-Fi Remote画面の詳細は取扱説明書をご覧ください。

1 本機とデバイスをワイヤレスLAN接続 (5ページ) する。

2 デバイスでブラウザーを起動し、「http://本機のIPアドレス (Systemメニュー→Network→IP Address) /rm.html」にアクセスする。

例：IPアドレスが「192.168.1.1」の場合は、アドレスバーに「http://192.168.1.1/rm.html」と入力します。

3 ブラウザー画面に、ユーザー名とパスワード (Systemメニュー→Basic Authentication→User NameおよびPassword) を入力する。

接続が完了すると、デバイスにWi-Fi Remote画面が表示されます。以降は、画面表示のとおり操作してください。

Lockつまみを右にスライドすると、RECボタンの操作を禁止することができます。

WebメニューのCam Remote Control (15ページ) からもWi-Fiリモコンを表示できます。

ご注意

- スマートフォン用のページを表示したい場合は、アドレスの最後を「rms.html」に、タブレット用のページを表示したい場合は「rmt.html」に置き換えて入力してください。通常は「rm.html」と入力すれば、各ページに自動的に移動します。デバイスによっては正常に動作しない場合があります。
- 次の場合は、Wi-Fi Remote画面と本機の状態が一致なくなることがあります。その場合は、ブラウザーの表示を更新してください。
 - 接続中に本機を再起動した場合
 - 接続中に本機を操作した場合
 - デバイスを再接続した場合
 - ブラウザーで進む/戻るを操作した場合
- 電波状態が著しく悪い場合、Wi-Fi Remoteが機能なくなることがあります。


Webメニューについて (PXW-X180のみ)

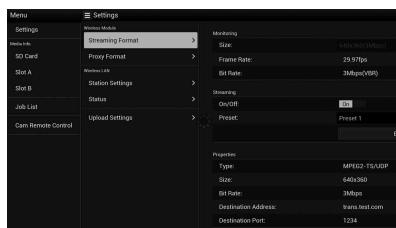
ワイヤレスLAN接続したデバイスのブラウザーから本機にアクセスすると、本機のWebメニューが表示されます。Webメニューでワイヤレス機能に関する各種設定やファイルの転送操作を行うことができます。

最初に表示される画面について

デバイスを本機に接続し、ブラウザーから本機にアクセスすると、本機のMedia InfoのSD Card画面が表示されます。

設定メニューについて

Webメニュー画面左上の  をタップすると設定メニューが表示されます。設定したい項目をタップします。



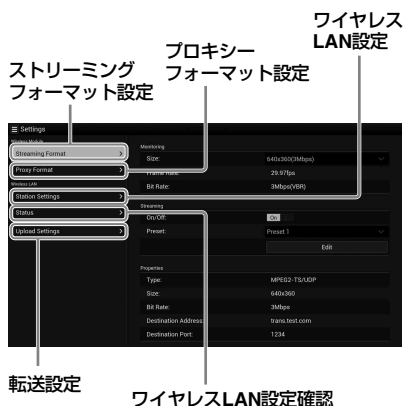
Settings

本機設定用の画面を表示します。

- Wireless Module
 - Streaming Format：ストリーミングフォーマット設定 (15ページ)
 - Proxy Format：プロキシフォーマット設定
- Wireless LAN
 - Station Settings：ワイヤレスLAN 設定 (17ページ)
 - Status：ワイヤレスLAN 設定状態 (18ページ)
- Upload Settings
 - 転送設定 (18ページ)

ご注意

- Settingsの画面が表示されている場合は、以下から各設定画面を表示することができます。



Media Info

メディアの情報を表示したりメディアから転送するファイルを選ぶ画面を表示します (11ページ)。

- SD Card：本機のPROXY SDスロットに挿入されているメディア
- Slot A：本機のカードスロットAに挿入されているメディア
- Slot B：本機のカードスロットBに挿入されているメディア

Job List

転送中のファイルを管理するJob List画面を表示します (20ページ)。

Cam Remote Control

Wi-Fiリモコンを表示します (13ページ)。

ストリーミングフォーマット設定「Streaming Format」

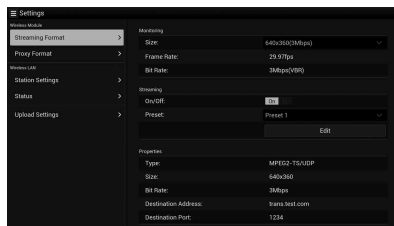
デバイスでモニタリングされるストリームや、インターネットまたはローカルネットワークを通じてストリーミング伝送するストリームのフォーマットや伝送先の設定を行います。

映像

- AVC/H.264 Main Profile、4 : 2 : 0 Long GOP
- サイズは以下の設定で選択

音声

- AAC-LC圧縮
- サンプリング周波数：48 kHz
- ビットレート：128 kbps for Stereo



JP

モニタリング設定

デバイスでモニターされる際のフォーマットを設定します。

Size (Monitoring)

モニタリング用の映像のサイズとビットレートを設定します

- 「640 × 360」：3Mbps (VBR)
- 「480 × 270」：1Mbps (VBR)
- 「480 × 270」：0.5Mbps (VBR)

ご注意

- ビットレートは平均値であり、この値を超える場合があります。

Frame Rate

映像のフレームレートを表示します。

- 「23.98fps」：23.975fps
- 「25fps」：25fps
- 「29.97fps」：29.97fps
- 「50fps」：50fps
- 「59.94fps」：59.94fps

ご注意

- 24fps には対応していません。

Bit Rate

映像のビットレートを表示します。

- 「3Mbps (VBR)」：640 × 360
- 「1Mbps (VBR)」：480 × 270
- 「0.5Mbps (VBR)」：480 × 270

ストリーミング設定

ストリーミング伝送する際のフォーマットや伝送先を設定します。設定はプリセットとして3つまで保持できます。

On/Off

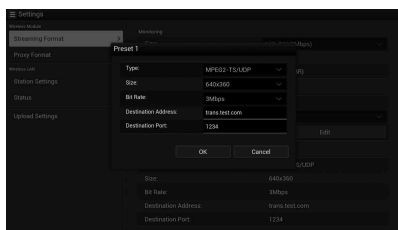
ストリーミング伝送のOn/Offを切り替えます。

ご注意

- Onに設定時は、モニタリング機能が使用できません。

Preset

プリセットをPreset1～3から選択します。PresetはEditをタップすると編集できます。



Type

ストリーミング用の映像の種類を、「MPEG-2 TS/UDP」と「MPEG-2 TS/RTP」から選択します。

Size

ストリーミング用の映像のサイズを設定します。

- 「HD Auto」
- 「1280 × 720」
- 「640 × 360」
- 「480 × 270」

「HD Auto」を選択した場合、SxSに記録される記録フォーマットの設定や再生するクリップのフォーマットに基づいて、1920×1080か1280×720に設定されます

Bit Rate

ストリーミング用の映像のビットレートを設定します。

- 「9Mbps」
- 「6Mbps」

- 「3Mbps」
- 「2Mbps」
- 「1Mbps」
- 「0.5Mbps」

選択できるビットレートは、「Size」の設定により異なります。

ご注意

- インターネット経由で映像/音声データをそのまま送信します。そのためデータが漏えいする可能性があります。送信先がストリーミングデータを受信できていることを確認してください。アドレスの設定ミスなどにより意図しない相手にデータを送信してしまう可能性があります。
- Networkの状況により、すべてのフレームが再生できない場合があります。
- 動きの激しいシーンの場合には、画質が悪くなります。
- ストリーミングを大きなサイズで小さいビットレートに設定した場合、すべてのフレームが再生できない場合があります。この現象を軽減させるためには「Size」でより小さいサイズを選んでください。
- プロキシフォーマット設定の「Bit Rate」（17ページ）を「9Mbps (VBR)」に設定している場合、一ストリーミング設定の「Bit Rate」を「6Mbps」以上に設定することはできません。一「Bit Rate」が「6Mbps」以上に設定されているプリセットを選択すると、ストリーミングの「Bit Rate」は自動的に「3Mbps」に変更されます。

Destination Address

ストリーミングデータの伝送先サーバーのアドレスを入力します。

Destination Port

伝送先サーバーの、ストリーミングに使用するポート番号を入力します。

プロキシフォーマット設定 「Proxy Format」

本機のSDカードに記録されるプロキシファイルのフォーマット設定を行います。

映像

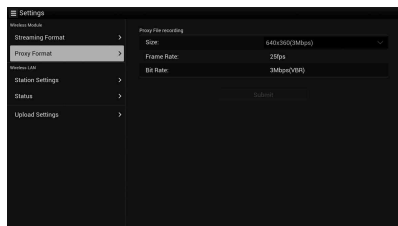
XAVC Proxy (AVC/H.264 Main Profile, 4 : 2 : 0 Long GOP)
サイズは以下の設定で選択

音声

AAC-LC圧縮

サンプリング周波数：48 kHz

ビットレート：128 kbps for Stereo



Size

プロキシファイル用の映像のサイズとビットレートを設定します。

「1280 × 720」：9Mbps (VBR)

「640 × 360」：3Mbps (VBR)

「480 × 270」：1Mbps (VBR)

「480 × 270」：0.5Mbps (VBR)

ご注意

- ストリーミング設定の「Bit Rate」が「6Mbps」以上に設定されている場合は、「9Mbps (VBR)」を設定することはできません。

Frame Rate

映像のフレームレートを表示します。

23.98fps：23.975fps

25fps：25fps

29.97fps：29.97fps

50fps：50fps

59.94fps：59.94fps

ご注意

- 24fpsには対応していません。

Bit Rate

映像のビットレートを表示します。

9Mbps (VBR)：1280 × 720

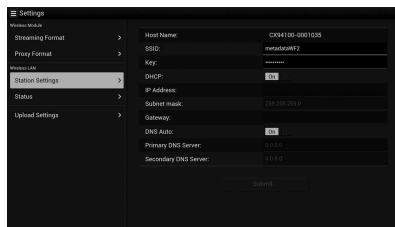
3Mbps (VBR)：640 × 360

1Mbps (VBR)：480 × 270

0.5 Mbps (VBR)：480 × 270

ワイヤレスLAN 設定「Station Settings」

本機をワイヤレスLAN に接続するための設定を行います。



Host Name

本機の実名を表示します (変更不可)。

SSID

Access Pointで選んだSSIDを表示します。

Key

アクセスポイントのパスワードを入力します。

DHCP

DHCP設定をします。

Onにすると、自動的に本機にIP アドレスを割り当てます。

手動で本機のIP アドレスを入力する場合は、Offにします。

IP Address

本機のIP アドレスを入力します。DHCPがOffのときに有効です。

Subnet mask

本機のサブネットマスクを入力します。DHCPがOffのときに有効です。

Gateway

アクセスポイントのゲートウェイを入力します。DHCPがOffのときに有効です。

DNS Auto

DNS自動取得設定をします。

Onにすると、自動的にDNS サーバーのアドレスを取得します。

Primary DNS Server

アクセスポイントのプライマリー DNSサーバーを入力します。DNS AutoがOffのときに有効です。

Secondary DNS Server

アクセスポイントのセコンダリ DNSサーバーを入力します。DNS AutoがOffのときに有効です。

Submit

ワイヤレスLAN 設定を確定します。

WPS 機能を使わないでステーションモードでアクセスポイントに接続する場合

1 アクセスポイントモードで本機とデバイスを接続する (5ページ)。

2 Station Settings画面の項目を設定する。

接続するアクセスポイントの設定に合わせて設定を行います。

アクセスポイントの設定については、アクセスポイントの取扱説明書をご覧ください。

3 Submitをタップする。
設定した項目が確定します。

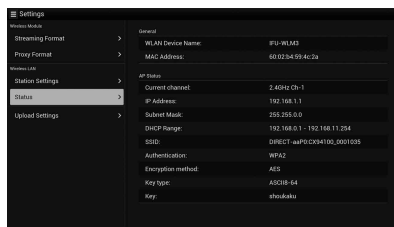
4 SystemメニューのNetworkのSettingで、ネットワークの動作モードをWi-Fi Station (Wi-Fiステーション) に設定する。

本機がステーションモードでアクセスポイントに接続しますので、「WPS機能を使ってアクセスポイントに接続する」(8ページ)の手順7以降を行って、デバイスから本機にアクセスします。

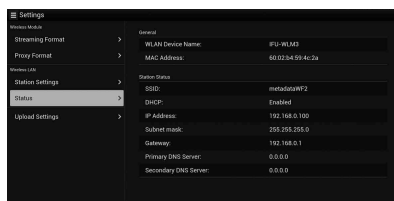
ワイヤレスLAN 設定を確認する

Wireless LANのStatusでワイヤレスLAN設定の確認画面を表示します。
本機のワイヤレスLANモードによって、表示される内容が変わります。

アクセスポイントモード



ステーションモード



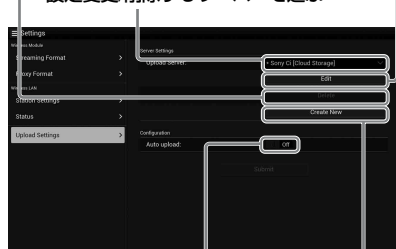
転送設定「Upload Settings」

本機に記録したプロキシファイルやオリジナルファイルを転送するサーバーを登録したり、設定を変更します。

登録したサーバーの削除

サーバーの設定変更

設定変更/削除するサーバーを選ぶ



自動転送のON/OFF

転送先のサーバーを登録

Auto Upload On/Off

Auto Upload On/Off がOnでインターネット接続状態の場合、記録を終了するとUpload Settingでデフォルト設定されたサーバーに対して、自動的にプロキシファイルを送信します。
初期値としてサーバーに「Sony Ci」が設定されています。

「Sony Ci」とは、Sony が提供するMedia Cloud Servicesです。ソニーのクラウドサービス「Sony Ci」へ転送することができます。

ご注意

- 「Sony Ci」をお使いになる場合は、別途契約が必要です。詳細は、www.SonyMCS.com/wireless をご覧ください。

「Sony Ci」を登録するには

1 Upload Settings画面で「Sony Ci」が表示されていることを確認し、Editをタップする。

「Sony Ci」設定用の画面が表示されます。

2 Userにユーザー名、Passwordにパスワードを入力する。

詳細は、www.SonyMCS.com/wireless をご覧ください。

3 Linkをタップする。

しばらくすると完了のメッセージが表示されます。

ご注意

- 「Link」はユーザーと本機を関連付ける操作となります。「Link」を実行するにはインターネットの接続が必要です。

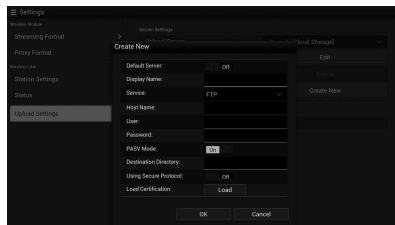
4 「OK」をタップする。

ご注意

- 「Sony Ci」登録後は、設定画面に「Unlink」が表示されます。タップするとユーザーアカウントを解除し、他のユーザーアカウントでリンクすることもできます。

新しく転送先のサーバーを登録する

Create Newをタップすると、設定用の画面が表示されます。



設定後にOKをタップすると設定を反映し、Cancelをタップすると、設定を中止します。

Default Server

Onにすると、ファイルの転送先をデフォルト設定にします。(ファイル転送時の転送先リストに優先的に表示されます。)

Display Name

リストに表示されるサーバー名を入力します。

Service

サーバーの種類を表示します。
「FTP」：FTP サーバー

Host Name

サーバーのアドレスを入力します。

User

ユーザー名を入力します。

Password

パスワードを入力します。

PASV Mode

PASV モードのON/OFFを行います。

Using Secure Protocol

セキュアなFTP転送を行うかどうかを設定します。

Load Certification

CA証明書を読み込みます。

* 読み込む証明書はPEM形式で、SD Cardのルートディレクトリーに"certification.pem"のファイル名で書き込んでおいてください。

Clear Certification

CA証明書をクリアします。

ご注意

- FTPによる通信は暗号化されていませんので、FTPSの使用をお勧めします。

登録済みのサーバーの設定を変更する

Upload Settings画面で設定を変更したいサーバー名を選んでEditをタップします。設定変更画面が表示されますので、必要に応じて設定を変更します。

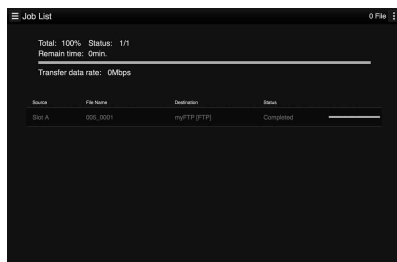
設定項目、内容については「新しく転送先のサーバーを登録する」(19ページ)をご覧ください。

登録したサーバーを削除する

Upload Settings画面で削除したいサーバー名を選んでDeleteをタップします。確認画面が表示されますので、OKを選ぶとサーバーを削除した後元の画面に戻ります。


ファイル転送の確認をする 「Job List」

転送中のファイルや転送ファイルのリストの確認をしたり、転送するファイルの中止、再開、削除などを行うことができます。本機はFTPレジューム機能（転送途中からのファイルの再転送機能）に対応しています。



- Total : 転送する全ファイルの進捗状況です。
- Status : 転送中のファイルの進捗状況です。
- Remain time : 予想残り転送時間表示です。
- Transfer data rate : 転送レート表示です。

ファイルの転送中止、再開、転送リストからファイルを削除する

- 1 ファイルを選ぶ。
- 2 画面右上の  をタップする。

以下の項目を選びます。

- Abort selected : 転送を中止します。
- Delete from list : 転送リストからファイルを削除します。
- Start selected : ファイルの転送を開始します。
- Select All : リストを全選択します。
- Clear completed : 転送済みファイルリストを全削除します。

セットアップメニュー

新規機能で追加になった各メニュー項目を記載します。
出荷時の初期設定値は、太文字（例：**Off**）で示します。

JP

Recording		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Picture Cache Rec	Setting On / Off	ピクチャーキャッシュレック機能をON/OFFします。
ピクチャー キャッシュレック の設定	Cache Rec Time XAVC-I / XAVC-L 0-2sec / 2-4sec / 4-6sec / 6-8sec MPEG HD422 / MPEG HD420 / DVCAM 0-2sec / 2-4sec / 4-6sec / 6-8sec / 8-10sec / 10-12sec / 12-14sec / 13-15sec	ピクチャーキャッシュレック時間を設定します。

Paint		
メニュー項目	細目と設定値	内容
White ホワイトバラン スの設定	Filter White Memory On / Off	フィルターホワイトメモリー機能をON/OFFします。

System		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Network (PXW-X180の み) ネットワーク接 続に関する設定 と表示	NFC Execute / Cancel	NFC機能の有効/無効を設定します。一時的にWi-Fi Access Pointモード・NFC=Onに設定してNFC待ち受けを行います。Cancelした場合はもとの設定に戻ります。
	Setting Wi-Fi Access Point / Wi-Fi Station / Modem / Off	ネットワーク接続の動作モードを設定します。 ご注意 • USB-RJ45アダプターを使用する場合は「Modem」に設定してください。
	Channel Auto / CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13	ワイヤレスLANのチャンネルを設定します。
	SSID & Password	ワイヤレスLANのSSIDとパスワードを表示します。
	WPS Execute / Cancel	Wi-Fi Protected Setup(=WPS)を開始します。
	Device Name	お使いのネットワーク機器の名称を表示します。
	IP Address	本機のIPアドレスを表示します。

System		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Network	Subnet Mask	Subnet Maskを表示します。
	MAC Address	本機に搭載されているWi-FiモジュールのMACアドレスを表示します。
	Regenerate Password Execute / Cancel	パスワードを再生成します。 Excute：実行
Streaming (PXW-X180の み) ストリーミング に関する設定と 表示	Setting	ストリーミング伝送をON/OFFします。 ご注意 <ul style="list-style-type: none"> この設定は、本機の電源を入れなおしたときにOFFにリセットされます。 ONにすると、モニタリング機能は使えません。
	Preset Select	ストリーミングのプリセットを選択します。
	Preset 1	
	Size (HD Auto / 1280x720 / 640x360 / 480x270)	ストリーミング用の映像のサイズを設定します。 「HD Auto」を選択した場合、SxSIに記録される記録フォーマットの設定や、再生するクリップのフォーマットに基づいて、1920×1080か1280×720に設定されます。
Bit Rate (9Mbps / 6Mbps / 3Mbps / 2Mbps / 1Mbps / 0.5Mbps)	ストリーミング用の映像のビットレートを設定します。 選択できるビットレートは「Size」の設定値により異なります。	
		ご注意 <ul style="list-style-type: none"> インターネット経由で映像/音声データをそのまま送信します。そのためデータが漏えいする可能性があります。送信先がストリーミングデータを受信できていることを確認してください。 アドレスの設定ミスなどにより意図しない相手にデータを送信してしまう可能性があります。 Networkの状況により、すべてのフレームが再生できない場合があります。 動きの激しいシーンでは、画質が悪くなります。 ストリーミングを大きなサイズで小さいビットレートに設定した場合、すべてのフレームが再生できない場合があります。この現象を軽減させるためには「Size」でより小さいサイズを選んでください。 プロキシフォーマット設定の「Bit Rate」を「9Mbps (VBR)」に設定している場合、—ストリーミング設定の「Bit Rate」を「6Mbps」以上に設定することはできません。 —「Bit Rate」が「6Mbps」以上に設定されているプリセットを選択すると、ストリーミングの「Bit Rate」は自動的に「3Mbps」に変更されます。
Type (MPEG-2 TS/UDP / MPEG-2 TS/RTP)	ストリーミング用の映像の種類を選択します。	
Destination Address (文字列、 0.0.0.0)	ストリーミングデータの伝送先サーバーのアドレスを入力します。	

System		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Streaming	Destination Port (1~65545. 1234)	伝送先サーバーの、ストリーミングに使用するポート番号を入力します。
	Preset 2	
	Preset 3	

補足

JP

以下は本機に同梱している取扱説明書の補足事項です。

撮影時のご注意

アクセランプが赤色で点灯中または点滅中は、データの読み込みや書き込みを行っています。本機に振動や強い衝撃を与えないでください。

また、電源を切ったり、記録メディアやバッテリー、ACアダプターを取り外したりしないでください。画像データが壊れることがあります。

パソコンでの画像ファイル管理について

- パソコンでフォルダーやファイル名を変更したり、または画像を加工したりすると、再生できない場合があります（静止画再生時はファイル名が点滅）。故障ではありません。
- パソコンで画像管理用ファイルを削除すると、画像を正常に撮影/再生できなくなることがあります。画像管理用ファイルは隠しファイルに設定されており、通常は表示されません。

English

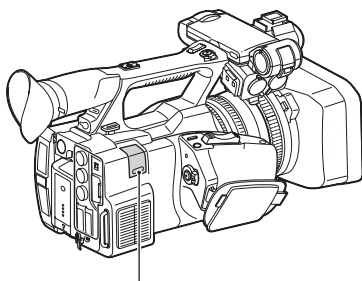
New functions have been added to your camcorder by the firmware update. The new functions and respective operations added to the PXW-X180/PXW-X160 camcorders with firmware the “Ver. 2.0” upgrade are described here.

Please refer to the Operating Guide of your camcorder.

Location and Function of Parts

The following describes new functions only.

Body



USB wireless LAN module retracting part (PXW-X180 only) (5, 8)

Installing the IFU-WLM3 USB wireless LAN module (supplied), modem (sold separately), or the USB-RJ45 adaptor supplied with the network adaptor CBK-NA1 (sold separately) to the camcorder, allows connection to wireless LAN devices or a network.

Status screen

In the “Status screen,” item “Wi-Fi (PXW-X180 only)” in the “System status screen” is substituted by the newly-added “Network status screen.”

Network status screen

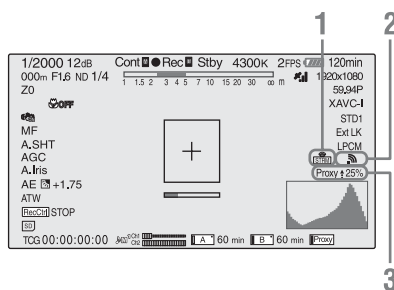
Displays the settings or status of the network.

Setting	Status of the network settings.
Device Name	Name of the device attached to the USB wireless LAN module retracting part.
IP Address	IP Address of the camcorder.
Streaming Status	Status of streaming distribution.
Streaming Size	Picture size of the Streaming settings currently selected.

Streaming Bit Rate	Bit rate of the Streaming settings currently selected.
Streaming Type	Type of the Streaming settings currently selected.
Streaming Dest. Add.	Destination address to which the streaming is transmitted.
Streaming Dest. Port	Destination port which the streaming is transmitted.

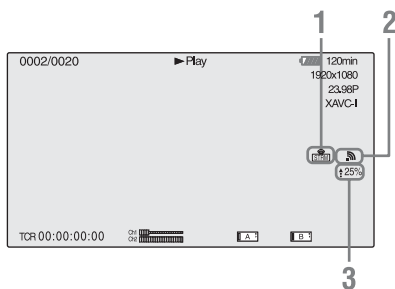
LCD/Viewfinder Screen

Information displayed on the screen while recording



- 1. Streaming status indication (PXW-X180 only)**
Displays the streaming status.
- 2. Network connection status indication (PXW-X180 only)**
Displays when the network is enabled.
- 3. Proxy status indication (PXW-X180 only)**
Displays the setting status of proxy recording and transmitting status of proxy files.

Information displayed on the playback screen



1. Streaming status indication (PXW-X180 only)
2. Network connection status indication (PXW-X180 only)
3. Proxy uploading status indication (PXW-X180 only)
Displays the transmitting status of proxy files.

Picture Cache Rec

The camcorder is equipped with enough internal memory to pre-store up to 15 seconds of video and audio data in a picture cache. This allows you to begin recording a specified number of seconds in advance of the time when you press a record button.

Selecting picture cache mode/ setting the picture cache time

Before recording in picture cache mode, you need to enable the picture cache mode and select picture cache time to cache the image in the memory in the Recording menu (*page 19*). The picture cache time determines how far in advance you can start recording, counting back in seconds from the operation that starts recording. Note that it may not be possible to start this far in advance in the special cases explained in the following notes.

Notes

- Storage of picture data to memory begins when you select picture cache mode. Therefore, if you start recording immediately after selecting picture cache mode, the picture data from before the selection is not recorded.
- No data is recorded to picture cache memory during playback or recording review and display of thumbnails. It is not possible to record picture data from the time you were conducting playback or a recording review.

Setting the picture cache mode/ picture cache time

GB

Notes

- Picture cache recording is not available in Slow & Quick Motion mode or Clip Continuous Rec mode. When the picture cache recording is enabled, Slow & Quick Motion and Clip Continuous Rec are not available. When either Slow & Quick Motion or Clip Continuous Rec is enabled, the picture cache mode is automatically disabled.
- The data stored in picture cache memory is cleared when you change the system settings, for example by selecting a different video format. Picture data from before the change is not recorded even if you start recording immediately after the change. The picture cache mode is automatically disabled.
- It is not possible to set the picture cache time during recording.
- AVCHD is not supported.

1 Select “Picture Cache Rec” > “On” > “Setting” in the Recording menu.

For details how to operate the menu, refer to “Setup Menu Operations” in the Operating Guide.

2 Select picture cache time of “Cache Rec Time” in “Picture Cache Rec.”

The selected picture cache mode is enabled until you change it.

Using the assignable buttons

You can assign the Picture Cache Rec to an assignable button. For details about assigning, refer to “Assignable buttons” in the Operating Guide.

Press the button you have assigned to enable Picture cache mode.

Camcorder data handling while recording in picture cache mode

Recording procedures in picture cache mode are basically the same as normal recording procedures. However, note the following differences with respect to how the camcorder handles video, time, and output data.

- If you start recording while the media is being accessed, the start point of the video that is actually recorded may be later than the currently specified picture cache time. Because the delay increases as the number of recorded clips increases, you should avoid rapid start-and-stop recording operations in picture cache mode.
- Regardless of the “Run” setting of “Timecode” in TC/UB menu, the advance mode of the internal timecode generator is always “Free Run.”
- In picture cache mode, you cannot set time data. To set time data, exit picture cache mode.
- Shot marks are not recorded if they are set before the recording start operation.

If power is lost during recording

- If you set the camcorder’s ON/STANDBY switch to STANDBY, the camcorder is powered off automatically after a few seconds, during which the media is accessed to record the video and audio data stored in the camcorder’s memory up to that point.
- If power is lost because the battery was removed, the DC cable was disconnected, or the power was turned off on the AC adaptor side, then the video and audio data stored in memory is lost. The data stored in memory is not recorded. Be careful to avoid this when exchanging the battery.

White balance memory according to the ND filter position

The camcorder automatically memorizes the white balance adjustment value according to the ND filter position and the WHT BAL switch setting (A or B). The camcorder has five ND filter positions (CLEAR, PRESET 1 to 3, and VARIABLE), which, combined with the A or B switch setting, allow ten adjustment values.

Filter White Memory settings

Select “On” of “Filter White Memory” in the Paint menu (*page 19*).

When “Off” is selected, memory number is limited to one in both A and B switch and the memory does not link to ND filter position.

Connecting to Other Device via Wireless LAN (PXW-X180 only)

You can make a wireless LAN connection between the camcorder and a device such as a smartphone or tablet by attaching the supplied IFU-WLM3 USB wireless LAN module.

Notes

- You cannot use a USB wireless LAN module other than the IFU-WLM3.

Making a wireless LAN connection between a device and the camcorder enables you to do the following.

- **Remote operation via a wireless LAN**

You can control the camcorder from a smartphone, tablet, or computer that is connected to the camcorder via the wireless LAN.

• Video monitoring via a wireless LAN

You can create a stream (H.264) from the video/audio of a camcorder, and monitor the video/audio by using the “Content Browser Mobile” application that is installed on a smartphone or tablet via the wireless LAN.

“Content Browser Mobile” application

You can operate the camcorder remotely while monitoring the audio/video of the camcorder, and perform the settings of the camcorder by using the “Content Browser Mobile” application.

For details about the “Content Browser Mobile” application, contact your Sony dealer or a Sony service representative.

Compatible devices

You can use a smartphone, tablet, or computer for setting and operating the camcorder. Compatible devices, operating systems, and browsers are as follows.

Device	OS	Browser	
Smartphone	Android 4.4	Chrome	
	iOS 8	Safari	
Tablet	Android 4.4	Chrome	
	iOS 8	Safari	
Computer	Microsoft Windows 7/	Chrome	
	Microsoft Windows 8		
	Mac OS 10.9/		Safari
	10.10		

Attaching the IFU-WLM3

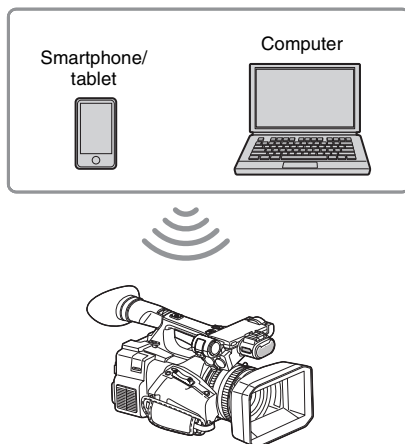
- 1 Open the cover of the USB wireless LAN module retracting part (*page 2*).
- 2 Insert the IFU-WLM3 to the USB connector.
- 3 Close the cover.

Notes

- When you attach/remove the IFU-WLM3, set both “Setting” in “Proxy Recording Mode” of the Recording menu and “Setting” in “Network” of the System menu to “Off,” or turn the camcorder off.

Connecting with the wireless LAN access point mode

The camcorder works as an access point, and connects to a device via a wireless LAN.

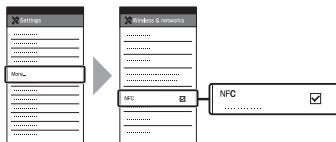


GB


Connecting to an NFC-compatible device with one-touch operation

You can connect the camcorder to an NFC-compatible device with one-touch operation by using the NFC function.

- 1 Start “Settings” on the device, select “Other Settings,” then mark the “NFC” checkbox.



- 2 Turn the camcorder on.
- 3 Activate the NFC function.

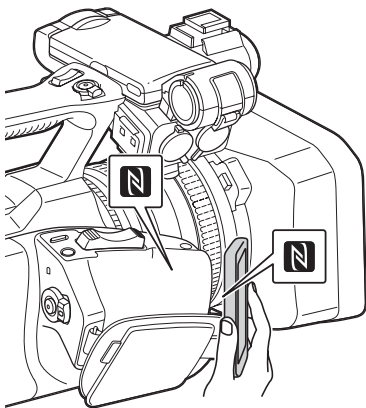
Set the camcorder to the NFC connection mode by pressing and holding the ASSIGN 3/NFC button (for 3 seconds), or activate “NFC” in “Network” of the System menu. The NFC function is available while  appears on the screen.

Notes

- It may take a time (for 30 to 60 seconds) until **N** appears on the screen. Wait until the flashing “AP” indication for the wireless LAN connection status on the LCD/viewfinder screen (page 2) is turned on.

4 Hold the smartphone near the camcorder.

The smartphone is connected to the camcorder and “Content Browser Mobile” starts.



Notes

- Cancel the sleep or screen lock function of the smartphone in advance.
- Hold the device near to the camcorder without moving the device until “Content Browser Mobile” starts (1 to 2 seconds).

Connecting to a WPS-compatible device

You can connect the camcorder to a WPS-compatible device by using the WPS function.

1 Set the camcorder’s network operation mode to the Wi-Fi access point mode by setting “Setting” in “Network” of the System menu to “Wi-Fi Access Point.”

Notes

- It may take a time (for 30 to 60 seconds) until the camcorder is in the Wi-Fi access point mode. Wait until the flashing “AP” indication for the network connection status on the LCD/viewfinder screen (page 2) is turned on.

2 Activate “WPS” in “Network” of the System menu.

3 Select “Network Setting” > “Wi-Fi Setting” on the device, then set “Wi-Fi” to on.

4 Select the camcorder’s SSID from the SSID list in “Wi-Fi Network” on the device, then select “WPS Push Button” in “Option” on the device.

Notes

- The operation method differs depending on the device.

5 Start the browser on the device, then access “http://192.168.1.1:8080/index.html.”

The screen for inputting “User Name” and “Password” appears.

6 Input the user name and password, then select “OK.”

For the user name and password of the access authentication, check “Basic Authentication” of the System menu. For details, refer to “System menu” in the Operating Guide.

Connecting by inputting an SSID and password on a device

You can connect the camcorder to a device by inputting an SSID and password on a device.

1 Set the camcorder’s network operation mode to the Wi-Fi access point mode by setting “Setting” in “Network” of the System menu to “Wi-Fi Access Point.”

Notes

- It may take a time (for 30 to 60 seconds) until the camcorder is in the Wi-Fi access point mode. Wait until the flashing “AP” indication for the network connection status on the LCD/viewfinder screen (page 2) is turned on.

2 Select “Network Setting” > “Wi-Fi Setting” on the device, then set “Wi-Fi” to on.

3 Connect the device to the camcorder by selecting the camcorder’s SSID from the SSID list in “Wi-Fi Network” and inputting the password on the device.

For the SSID and password of the camcorder, check “SSID & Password” in “Network” of the System menu (page 19).

Notes

- The operation method differs depending on the device.

4 Start the browser on the device, then access “<http://192.168.1.1:8080/index.html>.”

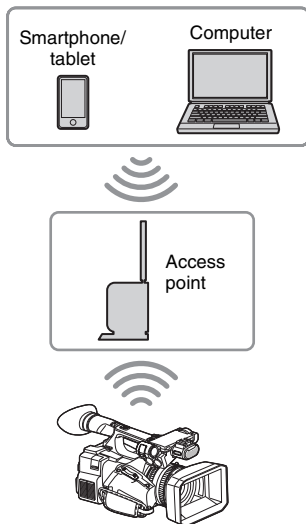
The screen for inputting “User Name” and “Password” appears.

5 Input the user name and password, then select “OK.”

For the user name and password of the access authentication, check “Basic Authentication” of the System menu. For details, refer to “System menu” in the Operating Guide.

Connecting with the wireless LAN station mode

The camcorder connects to an existing access point of the wireless LAN as a client. The camcorder and device connect via the access point.



Connecting to the access point with the WPS function

If the access point is compatible with the WPS function, you can connect to the access point with simple settings. If the access point is not compatible with the WPS function, see “*To connect to the access point in the station mode without the WPS function*” (page 16).

1 Turn the access point on.

2 Turn the camcorder on.

3 Set the camcorder’s network operation mode to the Wi-Fi station mode by setting “Setting” in “Network” of the System menu to “Wi-Fi Station.”

Notes

- It may take a time (for 30 to 60 seconds) until the camcorder is in the Wi-Fi station mode. Wait until the flashing signal status indication for the network wireless LAN connection status on the LCD/viewfinder screen (page 2) is turned on.

4 Activate “WPS” in “Network” of the System menu.

5 Press the WPS button of the access point.

For the operation of the WPS button, refer to the operating instructions of the access point. When the connection is completed, the signal status indication for the wireless LAN connection status (page 2) lights at a strength of more than 1.

Notes

- If the connection fails, perform steps from step 1 again.

6 Connect the device to the access point.

For connecting, refer to the operating instructions of the device.

7 Start the browser on the device, then access to “<http://<IP address that the access point assigns to the camcorder>:8080/index.html>.”

For the camcorder’s IP address, check “IP Address” in “Network” of the System menu. The screen for inputting “User Name” and “Password” appears.

8 Input the user name and password, then select “OK.”

The Web menu of the camcorder appears on the browser. For details, see “About the Web Menu (PXW-X180 only)” (page 13).

For the user name and password of the access authentication, check “Basic Authentication” of the System menu.

Connecting to the Internet (PXW-X180 only)

You can connect the camcorder to the Internet by attaching an optional modem, a wireless USB module IFU-WLM3 (supplied), or a USB-RJ45 adaptor supplied with an optional network adaptor kit CBK-NA1 to the camcorder.

Connecting with a modem

You can connect the camcorder to the Internet via a 3G/4G network by attaching an optional modem to the unit.

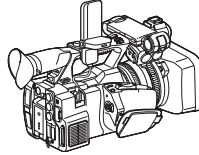
Attaching the modem to the camcorder

- 1 Open the cover of the USB wireless LAN module retracting part (page 2).
- 2 Attach the extension adaptor for network module supplied with the optional network adaptor kit CBK-NA1 to the camcorder.

Connect the convex terminal to the terminal for the USB wireless LAN module on the camcorder and connect the concave terminal to the modem. You can attach the adaptor to the screw hole (1/4 in.) of the accessory shoe mount.



Internet



Extension adaptor for network module + Modem

3 Attach the modem to the extension adaptor for network module.

Notes

- When you attach or remove the modem to the camcorder, perform one of the following:
 - Set both “Setting” in “Proxy Recording Mode” of the Recording menu, and “Setting” in “Network” of the System menu to “Off.”
 - Turn the camcorder off.

Connecting

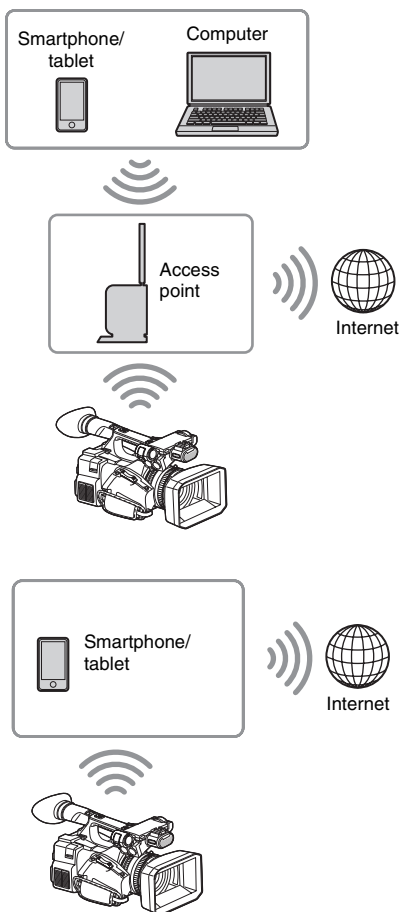
1 Set the camcorder’s network operation mode to the modem mode by setting “Setting” in “Network” of the System menu to “Modem.”

Notes

- It may take a time (for 30 to 60 seconds) until the camcorder is in the modem mode. Wait until the flashing “3G/4G” indication for the network connection status on the LCD/viewfinder screen (page 2) is turned on.

Connecting with the wireless LAN Wi-Fi station mode

You can connect the camcorder to the Internet in the Wi-Fi station mode by attaching the USB wireless LAN module IFU-WLM3 (supplied), via an optional 3G/4G/LTE access point or by tethering to a device.



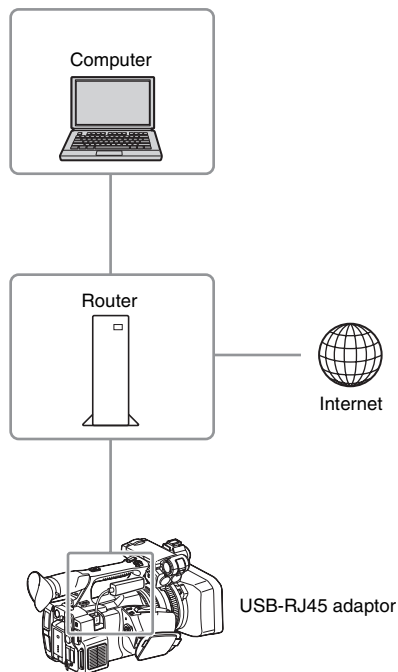
Connecting

If the access point or device is compatible with the WPS function, connect the camcorder to the Internet by performing procedures of “Connecting to the access point with the WPS function” (page 7). If the access point or device is not compatible with the WPS function, connect the camcorder to the Internet by performing procedures of “To connect to the access point in the station mode without the WPS function” (page 16).

Before connecting, turn the access point or device on, and activate its tethering function.

Connecting to the Internet with a LAN cable

You can connect the camcorder to the Internet by attaching the USB-RJ45 adaptor supplied with the optional network adaptor kit CBK-NA1, via LAN cables connected to an internet router.



Attaching the USB-RJ45 adaptor to the camcorder

- 1 **Open the cover of the USB wireless LAN module retracting part** (page 2).
- 2 **Attach the USB-RJ45 adaptor to the camcorder.**

For details on attaching, refer to the Installation Manual of the network adaptor kit.

Notes

- When you attach or remove the USB-RJ45 adaptor to the camcorder, perform one of the following:
 - Set both “Setting” in “Proxy Recording Mode” of the Recording menu, and “Setting” in “Network” of the System menu to “Off.”
 - Turn the camcorder off.

Connecting

- 1 **Set the camcorder’s network operation mode to the modem mode by setting “Setting” in “Network” of the System menu to “Modem.”**

Notes

- It may take a time (for 30 to 60 seconds) until the camcorder is in the wired LAN mode. Wait until the flashing “3G/4G” indication for the network connection status on the LCD/viewfinder screen (page 2) is turned on.
- When connecting the camcorder with a LAN cable, menu items and information displayed in the monitor are the same as when the camcorder is connected with a modem.

Uploading a File (PXW-X180 only)

You can upload a proxy file or original file that is recorded on the camcorder to the server on the Internet via a 3G/4G/LTE line or access point.

Preparations

To connect to the Internet

Connect the camcorder to the Internet by following the procedure of “Connecting to the Internet (PXW-X180 only)” (page 8).

To register the server for uploading

Register the server for uploading in advance. For details about registering the server, see “Register the server for uploading” (page 17).

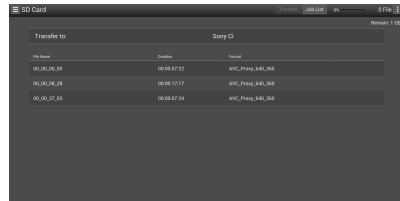
Selecting the file and uploading

Upload the proxy file that is recorded on an SD card, or the original file that is recorded on an SxS memory card, to the server.

Uploading a proxy file on an SD card

- 1 **Connect a device to the camcorder via a wireless LAN, start the browser on the device, then access the camcorder from the browser (page 4).**
- 2 **Display the file list screen to select the file.**

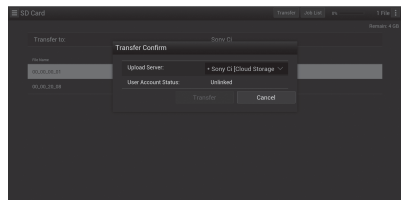
Touch “☰” > “Media Info” > “SD Card.” The “SD Card” screen appears.



- 3 **Select the file.**

Select the file by touching the file. To cancel, touch the file again. You can check the file by double touching the file to play back.
- 4 **Touch “Transfer.”**

The server that you set to the default server at “Default Server” in “Register the server for uploading” (page 17) appears. To change the server, touch the server to display the server list, then select a server. Input the directory for the server to “Directory” if necessary.



- 5 **Touch “Transfer.”**

The camcorder starts uploading the selected file. To cancel uploading, touch “Cancel.”

Uploading an original file on an SxS memory card

1 Connect a device to the camcorder via a wireless LAN, start the browser on the terminal device, then access the camcorder from the browser (page 4).

2 Change the camcorder to file transfer mode.

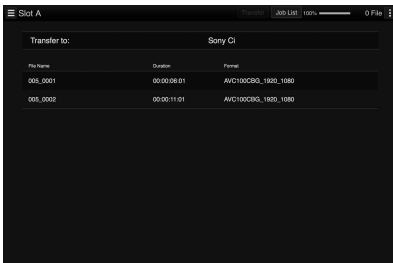
Perform “File Transfer” in “File Transfer” of the System menu to change the camcorder to the dedicated mode for uploading the original file.

3 Display the file list screen to select the file.

Touch “☰” > “Media Info” > “Slot A” (for a memory card in the slot A) or “Slot B” (for a memory card in the slot B) on the browser screen of the device.

The “Slot A” or “Slot B” screen appears.

Example: “Slot A” screen



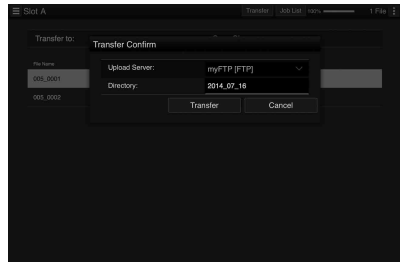
4 Select the file.

Select the file by touching the file. To cancel, touch the file again.

5 Touch “Transfer.”

The server that you set to the default server at “Default Server” in “Register the server for uploading” (page 17) appears.

To change the server, touch a server to display the server list, then select the server. Input the directory for the server to “Directory” if necessary.



6 Touch “Transfer.”

The camcorder starts uploading the selected file.

To cancel uploading, touch “Cancel.”

Checking the file uploading

You can check the upload status on the “Job List” screen that is displayed by touching “Job List” on the “SD Card,” “Slot A,” or “Slot B” screen (page 18).

Transmitting streaming video and audio (PXW-X180 only)

You can transmit the video and audio captured/played back with the camcorder via Internet or local network.

Preparations

To connect to the Internet

Connect the camcorder to the Internet by following the procedure of “Connecting to the Internet (PXW-X180 only)” (page 8).

To connect to the local network

Connect the camcorder to the local network by following the procedure of “Connecting to Other Device via Wireless LAN (PXW-X180 only)” (page 4).

To set the transmission destination of the streaming

- 1 Select “Preset1” (or “Preset2,” “Preset3”) in “Streaming” of the System menu to open the setting screen for the transmission destination of the streaming.
- 2 Set item corresponding to “Size,” “Bit Rate,” and “Type” in that screen.
- 3 Select “Preset1” (or “Preset2,” “Preset3”) set in steps 1 and 2 for “Preset Select” in “Streaming” of the System menu.

Starting streaming

- 1 Set “Setting” to “On” in “Streaming” of the System menu.

Streaming starts according to the setting you made.

You can assign the “Streaming” to an assignable button. For details about assigning, refer to “Assignable buttons” in the Operating Guide.

Notes

- You cannot start streaming when “Setting” in “Network” of the System menu is set to “Off.”
- It may take several tens of seconds to stream actual video or audio after starting streaming.
- You cannot start streaming when playing back an SD clip.
- If you set the transmission destination of the streaming incorrectly or the camcorder does not connect to the network, “x” appears on the screen as the streaming status indication.

Stop streaming

- 1 Set “Setting” to “Off” in “Streaming” of the System menu.

Streaming also stops by pressing the assignable button to which “Streaming” is assigned.

When the camcorder is connected to a device via Wireless LAN (page 4) or is connecting to the Internet with the wireless LAN station mode (page 8), you can also set the transmission

destination and starting/stopping streaming from the Web menu (page 13).

Using the Wi-Fi Remote Commander (PXW-X180 only)

When a wireless LAN connection is established between a device, such as smartphone, tablet, and the camcorder, the Wi-Fi remote commander appears on the device screen and the device can be used as a remote commander. You can start/stop recording and adjust the recording settings with a Wi-Fi connected device. This function is useful for setting the camcorder in a remote place, such as the top of a crane, etc.

Displaying the Wi-Fi remote commander

The display size of the Wi-Fi remote commander changes according to the device screen size automatically. For details about the Wi-Fi-Remote commander display, refer to the Operating Guide.

- 1 **Make a wireless LAN connection between the device and camcorder (page 5).**
- 2 **Launch the browser and input `http://<camcorder's IP address>` (“System menu” > “Network” > “IP Address”)/`rm.html` in the address bar.**
Example: When the IP address is 192.168.1.1, input `http://192.168.1.1/rm.html` in the address bar.
- 3 **Input the user name and password (“System menu” > “Basic Authentication” > “User Name” or “Password”) on the browser.**

When completing the connection, the display of the Wi-Fi remote commander appears on the device.

Operate the Wi-Fi remote commander by following the display.

The REC button becomes unavailable when the Lock switch is dragged to the right. You can display the Wi-Fi remote commander with “Cam Remote Control” of the Web menu (*page 14*).

Notes

- Depending on the device, the Wi-Fi remote commander may not appear properly on the device’s screen even though you input `http://<camcorder’s IP address>/rm.html` in the address bar. In this case, input “rms.html” for a smartphone or “rmt.html” for a tablet instead of “rm.html” at the end of the address to display the Wi-Fi remote commander properly.
- The Wi-Fi remote commander on the device’s screen may not match the actual status of the camcorder in the following cases. When this happens, refresh the browser on the device.
 - when the camcorder is restarted while the Wi-Fi connection is established
 - when the camcorder is controlled directly while the Wi-Fi connection is established
 - when the device is reconnected
 - when you operate forward/backward on the device’s browser.
- If the Wi-Fi signal is poor, the Wi-Fi remote commander may not work properly.


About the Web Menu (PXW-X180 only)

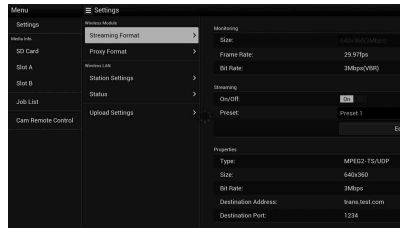
The Web menu of the camcorder appears by accessing the camcorder from the browser of a device that is connected to the camcorder via a wireless LAN. You can perform the settings for the wireless function or the operation of the file transfer.

Initial screen

When connecting the camcorder and device, and accessing the camcorder from the browser on the device, the “SD Card” screen in “Media Info” of the camcorder appears on the browser.

About the setting menu

The setting menu appears by touching  at the upper left of the screen. Touch the item that you want to set.



“Settings”

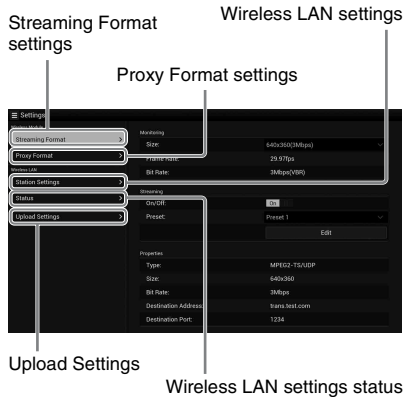
Displays the screen for the settings of the camcorder.

- “Wireless Module”
 - “Streaming Format”: Streaming Format settings (*page 14*)
 - “Proxy Format”: Proxy Format settings
- “Wireless LAN”
 - “Station Settings”: Wireless LAN settings (*page 16*)
 - “Status”: Status for the wireless LAN settings (*page 16*)
- “Upload Settings”
 - Upload settings (*page 17*)

GB

Notes

- When the “Settings” screen is displayed, the desired setting screen appears by touching the following.



“Media Info”

Displays the screen for displaying the status of the media, or selecting the file that is uploaded (*page 10*).

- “SD Card”: Media that is inserted into the PROXY SD slot of the camcorder.
- “Slot A”: Media that is inserted into card slot A of the camcorder.

- “Slot B”: Media that is inserted into card slot B of the camcorder.

“Job List”

Displays the screen for managing the uploaded files (page 18).

“Cam Remote Control”

Displays the Wi-Fi remote commander (page 12).

Streaming Format settings

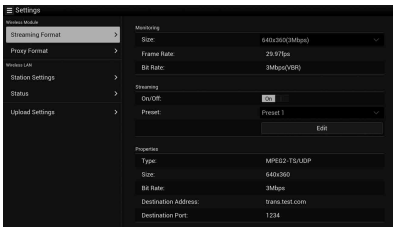
You can set the format of the stream that is monitored with the device. Alternatively, you can set the format/transmission destination of the stream that transmits streaming via the Internet or local network.

Video

- AVC/H.264 Main Profile, 4:2:0 Long GOP
- Size is selected in the following settings.

Audio

- AAC-LC compression
- Sampling frequency: 48 kHz
- Bit rate: 128 kbps for Stereo



Monitoring settings

You can set the format when monitoring on the terminal device.

“Size” (“Monitoring”)

Set the size and bit rate of the video for the monitoring.

- “640 × 360”: 3 Mbps (VBR)
- “480 × 270”: 1 Mbps (VBR)
- “480 × 270”: 0.5 Mbps (VBR)

Notes

- This bit rate is the average value. The actual bit rate may be more than the average value.

“Frame Rate”

Displays the frame rate of the video.

- “23.98fps”: 23.975 fps

- “25fps”: 25 fps
- “29.97fps”: 29.97 fps
- “50fps”: 50 fps
- “59.94fps”: 59.94 fps

Notes

- “24 fps” is not supported.

“Bit Rate”

- “3Mbps (VBR)”: 640 × 360
- “1Mbps (VBR)”: 480 × 270
- “0.5Mbps (VBR)”: 480 × 270

Streaming settings

You can set the format or transmission destination for streaming. Up to three settings can be preset.

“On/Off”

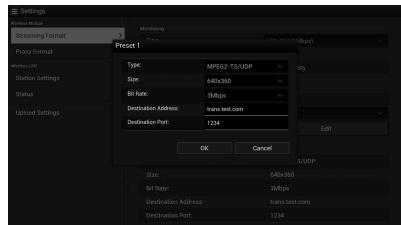
Switches between on/off for the streaming transmission.

Notes

- When “On” is selected, the monitoring function is not available.

“Preset”

Select the preset from “Preset 1” to “Preset 3.” You can edit “Preset” by touching “Edit.”



“Type”

Select the type of streaming video from “MPEG-2 TS/UDP” or “MPEG-2 TS/RTP.”

“Size”

Set the size of streaming video.

- “HD Auto”
- “1280 × 720”
- “640 × 360”
- “480 × 270”

When you select “HD Auto,” the size is set to 1920 × 1080 or 1280 × 720 according to the setting of the recording format recorded in the

SxS memory card or format of the clip to be played back.

“Bit Rate”

Set the bit rate of the streaming video.

“9Mbps”

“6Mbps”

“3Mbps”

“2Mbps”

“1Mbps”

“0.5Mbps”

Selectable bit rate differs depending on the setting of “Size.”

Notes

- Data may leak because the video/audio data is transferred via Internet. Be sure that the transmission destination can receive the streaming data. The data may be missed to an unintended party because of setting mistakes of the address.
- Not all frames may be played depending on the status of the network.
- The picture quality may deteriorate in scenes with excessive motion.
- Not all frames may be played when the stream is set to a large size with a small bit rate. To reduce this, select a smaller size in “Size.”
- When “Bit Rate” (page 15) of the proxy format setting is set to “9Mbps (VBR)”:
 - “Bit Rate” of the stream setting cannot be set to a setting higher than “6Mbps.”
 - When you select a preset of which “Bit Rate” is set to a setting higher than “6Mbps,” “Bit Rate” of the streaming setting is changed to “3Mbps” automatically.

“Destination Address”

Input the address of the transmission destination server for the streaming data.

“Destination Port”

Input the port number of the transmission destination server used for streaming.

Proxy Format settings

You can set the format of the proxy file that is recorded on the SD card of the camcorder.

Video

XAVC Proxy (AVC/H.264 Main Profile, 4:2:0 Long GOP)

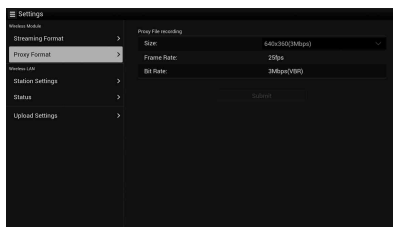
Size is selected in the following settings.

Audio

AAC-LC compression

Sampling frequency: 48 kHz

Bit rate: 128 kbps for Stereo



“Size”

Set the size and bit rate of the video for the proxy file.

“1280 × 720”: 9 Mbps (VBR)

“640 × 360”: 3 Mbps (VBR)

“480 × 270”: 1 Mbps (VBR)

“480 × 270”: 0.5 Mbps (VBR)

Notes

- When “Bit Rate” of the streaming setting is set to a setting higher than “6Mbps,” “9Mbps (VBR)” cannot be set.

“Frame Rate”

Displays the frame rate of the video.

“23.98 fps”: 23.975 fps

“25 fps”: 25 fps

“29.97 fps”: 29.97 fps

“50 fps”: 50 fps

“59.94 fps”: 59.94 fps

Notes

- “24 fps” is not supported.

“Bit Rate”

Displays the bit rate of the video.

“9 Mbps (VBR)”: 1280 × 720

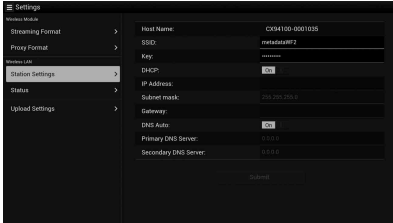
“3 Mbps (VBR)”: 640 × 360

“1 Mbps (VBR)”: 480 × 270

“0.5 Mbps (VBR)”: 480 × 270

Wireless LAN settings (Station Settings)

You can perform the settings for connecting to a wireless LAN.



“Host Name”

Displays the host name of the camcorder. (Cannot be changed.)

“SSID”

Displays the SSID that is selected at “Access Point.”

“Key”

Input the password for the access point.

“DHCP”

Set the DHCP setting.

When you set to “On,” the IP address is assigned to the camcorder automatically.

To assign the IP address to the camcorder manually, set to “Off.”

“IP Address”

Input the IP address of the camcorder. This setting is available only when “DHCP” is set to “Off.”

“Subnet mask”

Input the subnet mask of the camcorder. This setting is available only when “DHCP” is set to “Off.”

“Gateway”

Input the default gateway for the access point. This setting is available only when “DHCP” is set to “Off.”

“DNS Auto”

Set the DNS automatic acquisition function.

“Primary DNS Server”

Input the primary DNS server for the access point. This setting is available only when “DNS Auto” is set to “Off.”

When this setting is set to “Off,” acquires it manually.

“Secondary DNS Server”

Input the secondary DNS server for the access point. This setting is available only when “DNS Auto” is set to “Off.”

“Submit”

Confirms the wireless LAN settings.

To connect to the access point in the station mode without the WPS function

1 Connect the device to the camcorder in the access point mode (page 5).

2 Set the items on the “Station Settings” screen.

Perform settings in accordance with the access point settings.

For details about the access point settings, refer to the operating instructions of the access point.

3 Touch “Submit.”

The set items are confirmed.

4 Set the camcorder’s wireless LAN operation mode to the Wi-Fi station mode by setting “Setting” in “Network” of the System menu to “Wi-Fi Station.”

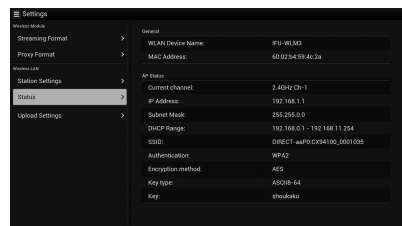
The camcorder starts connecting in the station mode. Access the camcorder from the device by performing procedure from step 7 of “Connecting to the access point with the WPS function” (page 7).

Checking the wireless LAN settings

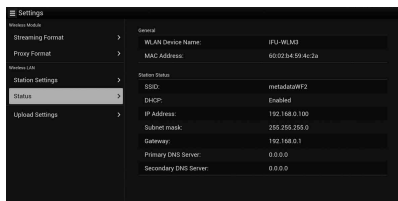
Display the screen for checking the wireless LAN settings by touching “Wireless LAN” > “Status.”

The displayed items differ depending on the wireless LAN mode of the camcorder.

Access point mode



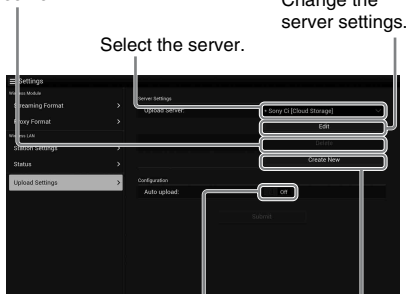
Station mode



Upload settings

You can register the server for uploading a proxy file or an original file that is recorded on the camcorder, or change the server setting that is registered.

Delete the registered server.



Turn the auto upload function on/off.

Register the server.

“Auto Upload On/Off”

When “Auto Upload On/Off” is set to “On” and the camcorder is connected to the Internet, the camcorder automatically uploads a proxy file to the server that is set to the default server at “Upload Setting” after recording.

“Sony Ci” is set for the server as the default. Sony Ci is “Media Cloud Services” that is provided by Sony. You can upload files to the Sony cloud service, Sony Ci.

Notes

- To use Sony Ci, registration is required. For more details, please visit www.SonyMCS.com/wireless

To register “Sony Ci”

- 1 Make sure that “Sony Ci” is displayed on the “Upload Settings” screen, then touch “Edit.”

The setting screen for Sony Ci appears.

- 2 Input the user name in “User” and password in “Password.”

For more details, please visit www.SonyMCS.com/wireless

- 3 Touch “Link.”

After a few moments, the completion message appears.

Notes

- “Link” is the operation to associate the user with the camcorder. To perform “Link,” you need to connect the camcorder to the Internet.

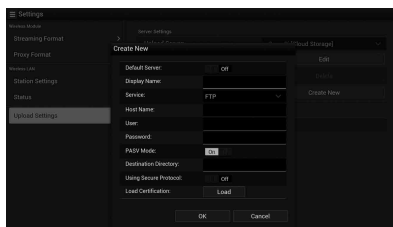
- 4 Touch “OK.”

Notes

- After registering with Sony Ci, “Unlink” will appear on the setting screen. If you touch “Unlink,” the current user account will be unlinked, and you can link with a different user account.

Register the server for uploading

The setting screen appears by touching “Create New.”



The setting is applied by touching “OK.” To cancel, touch “Cancel.”

“Default Server”

When you set to “On,” the server takes priority for displaying the server name on the list when uploading.

“Display Name”

Input the server name that is displayed on the list.

“Service”

Displays the server type.
“FTP”: FTP server

“Host Name”

Input the address of the server.

“User”

Input the user name of the server.

“Password”

Input the password of the server.

“PASV Mode”

Turn the PASV mode on/off.

“Using Secure Protocol”

Set whether to perform secure FTP uploading.

“Load Certification”

Reads the CA certificate.

- Format the certificate that is read in PEM format and store it on the root directory of an SD card with the file name, “certification.pem.”

“Clear Certification”

Clear the CA certificate.

Notes

- Data communication via FTP is not encrypted. We recommend to use the FTPS.

Changing the registered server settings

Touch “Edit” after selecting the server for which you want to change the settings on the “Upload Settings” screen. Change the settings on the screen for changing the settings.

For details about the setting items, see “Register the server for uploading” (page 17).

Deleting the registered server

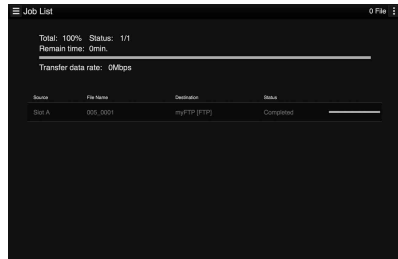
Touch “Delete” after selecting the server that you want to delete on the “Upload Settings” screen. When the confirmation screen appears, touch “OK.” The selected server is deleted and the display returns to the previous screen.

Checking the file transferring (Job List)

You can check the list of the files to be uploaded, the file that is being uploaded, cancel or start the file upload, and delete the file from the file list. The camcorder is compatible with the FTP resume function (re-upload function for a file whose transfer was suspended).

Notes


- The FTP resume function is available for the compatible server only.



- “Total”: Progress of all the files to be uploaded.
- “Status”: Progress of the file that is currently being uploaded.
- “Remain Time”: Estimated remaining time for uploading.
- “Transfer data rate”: Transfer rate indication.

To cancel or start uploading, or delete a file from the file list

1 Select the file on the list.

2 Touch  at the upper right of the screen.

Select the item.

- “Abort selected”: Cancels uploading the selected file.
- “Delete from list”: Deletes the selected file from the list.
- “Start selected”: Starts uploading the selected file.
- “Select All”: Selects all files on the list.
- “Clear completed”: Deletes the list of all the uploaded files.

Setup Menu List

The functions and available settings of menus added newly are listed below.
The default settings set at the factory are shown in bold (example: **Off**).

Recording		
Menu items	Sub items and setting values	Contents
Picture Cache Rec	Setting	Turn the picture cache recording function on/off.
	On / Off	
Settings for the picture cache recording function	Cache Rec Time	Sets the picture cache recording time.
	XAVC-I / XAVC-L	
	0-2sec / 2-4sec / 4-6sec / 6-8sec	
	MPEG HD422 / MPEG HD420 / DVCAM	
	0-2sec / 2-4sec / 4-6sec / 6-8sec / 8-10sec / 10-12sec / 12-14sec / 13-15sec	

GB

Paint		
Menu items	Sub items and setting values	Contents
White	Filter White Memory	Turn the filter white memory function on/off.
Settings for white balance	On / Off	

System		
Menu items	Sub items and setting values	Contents
Network (PXW-X180 only) Settings for the network connection and respective display items	NFC	Selects whether to enable the NFC function or not. When “Execute” is selected, the NFC function turns on and “Setting” is set to “Wi-Fi Access Point” temporarily, and the camcorder goes into standby mode for NFC. When “Cancel” is selected, settings return to the previous settings.
	Execute / Cancel	
	Setting	Sets the operation mode of the network connection.
	Wi-Fi Access Point / Wi-Fi Station / Modem / Off	<div style="background-color: #cccccc; padding: 2px;">Notes</div> <ul style="list-style-type: none"> When you use the USB-RJ45 adaptor, select “Modem.”
	Channel	Set the channel of wireless LAN.
	Auto / CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13	
	SSID & Password	Displays the SSID and password of the wireless LAN.
	WPS	Starts Wi-Fi Protected Setup (WPS).
	Execute / Cancel	
	Device Name	Displays the name of the network device you are using.
IP Address	Displays the IP address of the camcorder.	
Subnet Mask	Displays the subnet mask of the camcorder.	
MAC Address	Displays the MAC address of the wireless LAN module of the camcorder.	

System		
Menu items	Sub items and setting values	Contents
Network	Regenerate Password	Regenerates the password.
	Execute / Cancel	Execute: Executes this function.
Streaming (PXW-X180 only) Settings for the streaming and respective display items	Setting	Turn the function to transmit streaming on/off.
		Notes
		<ul style="list-style-type: none"> This setting turns off when you turn the power on again. When you turn the streaming on, the monitoring function is not available.
	Preset Select	Select the preset of the streaming.
	Preset1	
	Size (HD Auto / 1280 × 720 / 640 × 360 / 480 × 270)	Sets the image size for the streaming. When you select “HD Auto,” the size is set to “1920 × 1080” or “1280 × 720” according to the setting of recording format recorded in the SxS memory card or the format of a clip to be played back.
	Bit Rate (9Mbps / 6Mbps / 3Mbps / 2Mbps / 1Mbps / 0.5Mbps)	Set the bit rate of the video for streaming. Selectable bit rate differs depending on the setting value of “Size.”
		Notes
		<ul style="list-style-type: none"> Data may leak because the video/audio data is transferred via Internet. Be sure that the transmission destination can receive the streaming data. The data may be missent to an unintended party because of setting mistakes of the address. Not all frames may be played depending on the status of the network. The picture quality may deteriorate in scenes with excessive motion. Not all frames may be played when the stream is set to a large size with a small bit rate. To reduce this, select a smaller size in “Size.” When “Bit Rate” (<i>page 15</i>) of the proxy format setting is set to “9Mbps (VBR)”: <ul style="list-style-type: none"> —“Bit Rate” of the stream setting cannot be set to a setting higher than “6Mbps.” —When you select a preset of which “Bit Rate” is set to a setting higher than “6Mbps,” “Bit Rate” of the streaming setting is changed to “3Mbps” automatically.
	Type (MPEG-2 TS/UDP / MPEG-2 TS/RTP)	Selects the type of streaming video.
Destination Address (Character string. 0.0.0.0)	Input the address of the server for the streaming transmission.	
Destination Port (1 to 65545. 1234)	Input the port number that is used for streaming of the destination server.	
Preset2		
Preset3		

Appendix

The following is additional information for the Operating Guide supplied with the camcorder.

Notes on recording

When the access lamp is lit or flashing in red, your camcorder is reading or writing data on recording media. Do not shake or apply strong force to your camcorder, do not turn the power off, and do not remove the recording media, battery pack or the AC Adaptor. Otherwise, the image data may be destroyed.

Image file management on a computer

- Image data cannot be played back if you have modified file names or folders, or have edited the data on a computer (When viewing still images, the file name flashes.) This is not a malfunction.
- If you delete image management files on a computer, you cannot record/play back the images correctly. The default property for the image management file is to be hidden and therefore is not usually displayed.

GB

简体中文

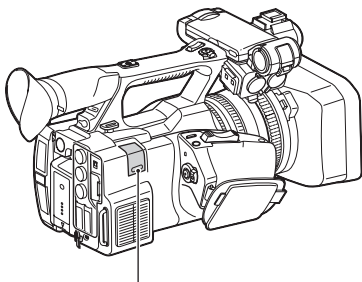
由于固件更新，本机新增了一些新功能。此处说明固件“2.0版”更新后PXW-X180/PXW-X160摄录一体机新增的新功能和相关操作。

请参阅本机的操作指南。

各部件的位置和功能

以下仅说明新功能。

机身



USB无线LAN模块缩回部分（仅限PXW-X180）（5、9）

将IFU-WLM3 USB无线LAN模块（附送）、调制解调器（另售）或随网络适配器CBK-NA1（另售）附送的USB-RJ45适配器安装到本机，可以连接到无线LAN设备或网络。

状态画面

在“状态画面”中，“系统状态画面”中的项目“Wi-Fi（仅限PXW-X180）”被新增的“网络状态画面”替代。

网络状态画面

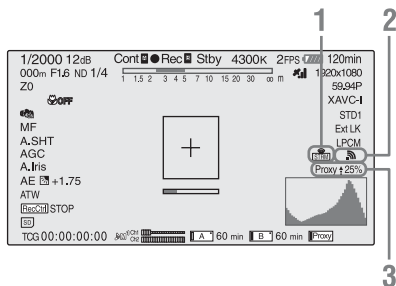
显示网络的设置或状态。

设置	网络设置的状态。
设备名称	安装到USB无线LAN模块缩回部分的设备的名称。
IP地址	本机的IP地址。
流媒体状态	流媒体分配的状态。
流媒体大小	当前选择的流媒体设置的图像尺寸。

流媒体比特率	当前选择的流媒体设置的比特率。
流媒体类型	当前选择的流媒体设置的类型。
流媒体目标地址	传送流媒体的目的地地址。
流媒体目标端口	传送流媒体的目的地端口。

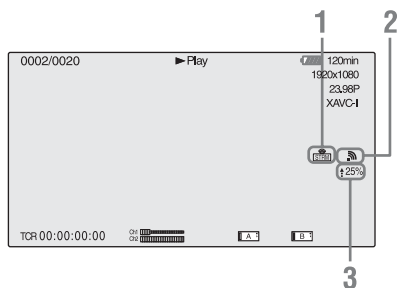
LCD/寻像器屏幕

录制时显示在屏幕上的信息



1. 流媒体状态指示（仅限PXW-X180）
显示流媒体状态。
2. 网络连接状态指示（仅限PXW-X180）
启用网络时显示。
3. Proxy状态指示（仅限PXW-X180）
显示Proxy录制的设置状态和Proxy文件的传送状态。

播放屏幕上显示的信息



1. 流媒体状态指示（仅限PXW-X180）
2. 网络连接状态指示（仅限PXW-X180）
3. Proxy上传状态指示（仅限PXW-X180）
显示Proxy文件的传送状态。

缓存录制

本机配备充足的内存，最多可在图像缓存中预存15秒视频和音频数据。可比按下录制按钮的时间提前指定秒数开始录制。

选择图像缓存模式/设置图像缓存时间

以图像缓存模式录制前，需要在录制菜单（第20页）启用图像缓存模式并中选择图像缓存时间以便将图像缓存到内存中。

图像缓存时间决定提前多久可以开始录制，从开始录制操作时起倒计时秒数。请注意，在以下注意事项所述的特殊情况下可能无法提前这么久开始。

注意

- 当您选择图像缓存模式时，图像数据开始存储到内存。因此，如果在选择图像缓存模式后立即开始录制，将不会录制选择之前的图像数据。
- 播放或录制预览和缩略图显示期间，数据不会录制到图像缓存存储器。无法从正在执行播放或录制预览时开始录制图像数据。

设置图像缓存模式/图像缓存时间

注意

- 在慢&快动作录制模式或片段连续录制模式无法进行图像缓存录制。当图像缓存录制启用时，慢&快动作录制和片段连续录制不可用。慢&快动作录制或片段连续录制启用时，图像缓存模式自动禁用。
- 当您更改系统设置时（例如通过选择不同的视频格式），将清除图像缓存存储器中存储的数据。即使在更改后立即开始录制，也不会录制更改前的图像数据。图像缓存模式自动禁用。
- 录制期间无法设置图像缓存时间。
- 不支持AVCHD。

- 1 在录制菜单中选择“缓存录制”>“开”>“设置”。

有关如何操作菜单的详细信息，请参阅操作指南中的“设置菜单操作”。

- 2 在“缓存录制”中选择“缓存录制时间”的图像缓存时间。

所选图像缓存模式启用，直至更改。

使用可指定按钮

可以将缓存录制指定到可指定按钮。有关指定的详细信息，请参阅操作指南中的“可指定按钮”。

按下已指定的按钮启用图像缓存模式。

图像缓存模式下录制期间的本机数据处理

图像缓存模式中的录制步骤与正常录制步骤基本相同。但是，请注意以下在本机处理视频、时间和输出数据方面的不同之处。

- 如果正在访问媒体时开始录制，实际录制的视频起点可能比当前指定的图像缓存时间延迟。因为随着录制片段数量的增加，延迟也会增加，所以在图像缓存模式中应避免快速起停录制操作。
- 无论TC/UB菜单中“时间码”的“运行”设置如何，内置时间码发生器的提前模式始终为“自由运行”。
- 在图像缓存模式中，无法设置时间数据。若要设置时间数据，请退出图像缓存模式。
- 如果在录制开始操作前设置拍摄标记，将不会录制拍摄标记。

如果录制期间断电

- 如果将本机的ON/STANDBY开关设置为STANDBY，数秒后本机将自动关闭，在此期间将访问媒体，以便将本机内存中存储的视频和音频数据更多录制到该点。
- 如果因取出电池、拔出直流电缆插头或交流电源适配器侧的电源关闭而断电，则内存中存储的视频和音频数据将丢失。不会记录内存中存储的数据。当更换电池时，请注意避免此种情况。

取决于ND滤镜位置的白平衡存储器

本机根据ND滤镜位置 and WHT BAL开关设置 (A或B) 自动记忆白平衡调整值。本机有五个ND滤镜位置 (CLEAR、PRESET 1至3和VARIABLE)，与A或B开关设置结合，允许十个调整值。

滤镜白平衡存储设置

在绘图菜单中选择“滤镜白平衡存储”的“开”(第20页)。

选择“关”时，存储器编号限制在A和B开关中的一个编号，且存储器不会链接到ND滤镜位置。

通过无线LAN连接到其它设备 (仅限PXW-X180)

通过连接附送的IFU-WLM3 USB无线LAN模块，可在本机与智能手机或平板电脑等设备之间建立无线LAN连接。

注意

- 不能使用除IFU-WLM3以外的USB无线LAN模块。

在设备与本机之间建立无线LAN连接后，可进行以下操作。

- **通过无线LAN进行遥控操作**
可从通过无线LAN连接到本机的智能手机、平板电脑或计算机控制本机。
- **通过无线LAN的视频监控**
可创建来自本机视频/音频的流 (H.264)，并通过无线LAN，使用安装在智能手机或平板电脑上的“Content Browser Mobile”应用程序，监控视频/音频。

“Content Browser Mobile”应用程序可在监控本机视频/音频的同时遥控操作本机，并可使用“Content Browser Mobile”应用程序执行本机设置。

有关“Content Browser Mobile”应用程序的详细信息，请联系Sony经销商或Sony服务代表。

兼容设备

可使用智能手机、平板电脑或计算机设置和操作本机。兼容的设备、操作系统和浏览器如下所示。

设备	操作系统	浏览器
智能手机	Android 4.4	Chrome
	iOS 8	Safari
平板电脑	Android 4.4	Chrome
	iOS 8	Safari
计算机	Microsoft Windows 7/	Chrome
	Microsoft Windows 8	
	Mac OS 10.9/10.10	Safari

安装IFU-WLM3

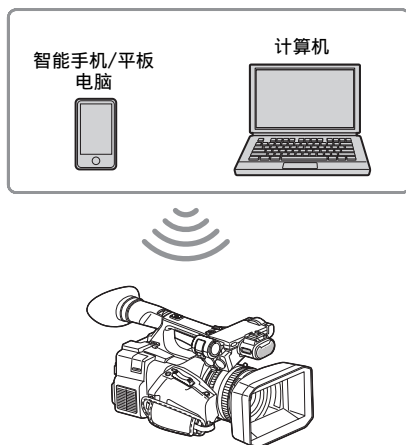
- 1 打开USB无线LAN模块缩回部分的盖子（第2页）。
- 2 将IFU-WLM3插入USB接口。
- 3 关上盖子。

注意

- 当安装/拆卸IFU-WLM3时，请将录制菜单“Proxy录制模式”中的“设置”和系统菜单“网络”中的“设置”同时设置为“关”，或关闭本机。

通过无线LAN接入点模式连接

本机作为一个接入点，通过无线LAN连接至设备。

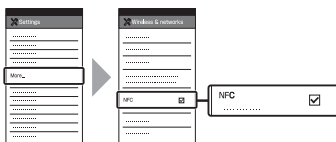


CS


通过一触式操作连接至NFC兼容设备

可使用NFC功能通过一触式操作将本机连接至NFC兼容设备。


- 1 打开设备上的“Settings”，选择“Other Settings”，然后标记“NFC”复选框。



- 2 打开本机。
- 3 激活NFC功能。

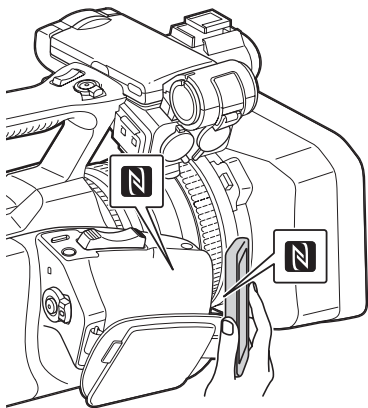
通过按住ASSIGN 3/NFC按钮（3秒），将本机设为NFC连接模式，或者激活系统菜单“网络”中的“NFC”。
NFC功能可用，同时屏幕上显示 。

注意

- 可能需要一些时间（30秒至60秒）， 才会显示在屏幕上。等待LCD/寻像器屏幕（第2页）上无线LAN连接状态的闪烁“接入点”指示被打开。

4 手握智能手机靠近本机。

智能手机连接至本机，“Content Browser Mobile”启动。



注意

- 预先取消智能手机的睡眠或屏幕锁定功能。
- 手握设备靠近本机，不要移动设备，直至“Content Browser Mobile”启动（1秒至2秒）。

连接至WPS兼容设备

可使用WPS功能将本机连接至WPS兼容设备。

- 1 通过将系统菜单“网络”中的“设置”设为“Wi-Fi接入点”，将本机的网络操作模式设为Wi-Fi接入点模式。

注意

- 本机进入Wi-Fi接入点模式可能需要一些时间（30秒至60秒）。等待LCD/寻像器屏幕（第2页）上网络连接状态的闪烁“接入点”指示被打

- 2 激活系统菜单“网络”中的“WPS”。

- 3 在设备上选择“Network Setting” > “Wi-Fi Setting”，然后将“Wi-Fi”设定为开。

- 4 从设备上“Wi-Fi Network”的SSID列表中选择本机的SSID，然后选择设备“Option”中的“WPS Push Button”。

注意

- 视设备而定，操作方法会有所不同。

- 5 在设备上启动浏览器，然后访问“<http://192.168.1.1:8080/index.html>”。

显示用于输入“User Name”和“Password”的画面。

- 6 输入用户名和密码，然后单击“OK”。

对于接入验证的用户名和密码，查看系统菜单的“基本验证”。有关详情，请参阅操作指南中的“系统菜单”。

通过在设备上输入SSID和密码进行连接

通过在设备上输入SSID和密码，可将本机连接至设备。

- 1 通过将系统菜单“网络”中的“设置”设为“Wi-Fi接入点”，将本机的网络操作模式设为Wi-Fi接入点模式。

注意

- 本机进入Wi-Fi接入点模式可能需要一些时间（30秒至60秒）。等待LCD/寻像器屏幕（第2页）上网络连接状态的闪烁“接入点”指示被打

2 在设备上选择“Network Setting” > “Wi-Fi Setting”，然后将“Wi-Fi”设定为开。

3 从“Wi-Fi Network”中的SSID列表中选择本机的SSID并在设备上输入密码，将设备连接至本机。

对于本机的SSID和密码，查看系统菜单“网络”中的“SSID & 密码”（第21页）。

注意

- 视设备而定，操作方法会有所不同。

4 在设备上启动浏览器，然后访问“http://192.168.1.1:8080/index.html”。

显示用于输入“User Name”和“Password”的画面。

5 输入用户名和密码，然后单击“OK”。

对于接入验证的用户名和密码，查看系统菜单的“基本验证”。有关详情，请参阅操作指南中的“系统菜单”。

通过无线LAN站点模式连接

本机作为一个客户端，连接至无线LAN的现有接入点。本机和设备通过接入点相连。



CS

通过WPS功能连接至接入点

如果接入点与WPS功能兼容，可通过简单的设置连接至接入点。如果接入点与WPS功能不兼容，请参阅“不使用WPS功能，在站点模式下连接至接入点”（第17页）。

1 打开接入点。

2 打开本机。

3 通过将系统菜单“网络”中的“设置”设为“Wi-Fi 站点”，将本机的网络操作模式设为Wi-Fi 站点模式。

注意

- 本机进入Wi-Fi 站点模式可能需要一些时间（30秒至60秒）。等待LCD/寻像器屏幕（第2页）上网络无线LAN连接状态的闪烁信号状态指示被打开。

- 4 激活系统菜单“网络”中的“WPS”。
- 5 按接入点的WPS按钮。
有关WPS按钮的操作，请参阅接入点的操作说明书。
连接完成时，无线LAN连接状态的信号状态指示（第2页）以超过1的强度点亮。

注意

- 如果连接失败，再次从步骤1开始执行操作步骤。

- 6 将设备连接至接入点。
有关连接，请参阅设备的使用说明书。
- 7 在设备上启动浏览器，然后访问“http://<接入点为本机指定的IP地址>:8080/index.html”。
对于本机的IP地址，查看系统菜单“网络”中的“IP地址”。
显示用于输入“User Name”和“Password”的画面。
- 8 输入用户名和密码，然后单击“OK”。
浏览器上显示本机的Web菜单。有关详情，请参阅“关于Web菜单（仅限PXW-X180）”（第13页）。
对于接入验证的用户名和密码，查看系统菜单的“基本验证”。

连接至互联网（仅限PXW-X180）

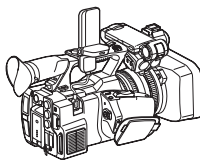
通过将选购的调制解调器、无线USB模块1FU-WLM3（附送）或随选购的网络适配器套件CBK-NA1附送的USB-RJ45适配器安装到本机，可以将本机连接到互联网。

通过调制解调器连接

通过将选购的调制解调器安装到本机，可以使用3G/4G网络将本机连接到互联网。

将调制解调器安装到本机

- 1 打开USB无线LAN模块缩回部分的盖子（第2页）。
- 2 将随选购的网络适配器套件CBK-NA1附送的网络模块扩展适配器安装到本机。
将凸形端子连接到本机上USB无线LAN模块的端子，将凹形端子连接到调制解调器。您可以将适配器安装到附件热靴安装座的螺钉孔（1/4 in.）。



网络模块扩展适配器 + 调制解调器

- 3 将调制解调器安装到网络模块扩展适配器。

注意

- 将调制解调器安装到本机或从本机拆卸时，请执行以下步骤之一：
 - 将录制菜单“Proxy录制模式”中的“设置”和系统菜单“网络”中的“设置”同时设置为“关”。
 - 关闭本机。

连接

- 1 通过将系统菜单“网络”中的“设置”设为“调制解调器”，将本机的网络操作模式设为调制解调器模式。

注意

- 本机进入调制解调器模式可能需要一些时间（30秒至60秒）。等待LCD/寻像器屏幕（第2页）上网络连接状态的闪烁“3G/4G”指示被打开。

通过无线LAN Wi-Fi站点模式连接

通过安装USB无线LAN模块IFU-WLM3（附送）并通过选购的3G/4G/LTE接入点或与某一设备共享网络，可以在Wi-Fi站点模式中将本机连接到互联网。

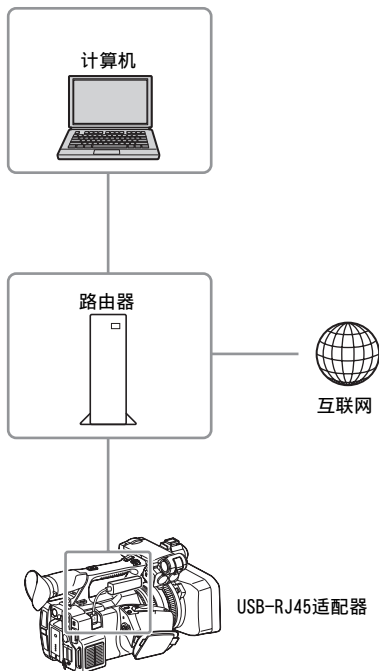


连接

如果接入点或设备兼容WPS功能，通过执行“通过WPS功能连接至接入点”（第7页）中的步骤将本机连接到互联网。如果接入点或设备不兼容WPS功能，通过执行“不使用WPS功能，在站点模式下连接至接入点”（第17页）中的步骤将本机连接到互联网。连接之前，打开接入点或设备并激活其网络共享功能。

通过LAN电缆连接到互联网

安装随选购的网络适配器套件CBK-NA1附送的USB-RJ45适配器，通过连接到互联网路由器的LAN电缆，可以将本机连接到互联网。



将USB-RJ45适配器安装到本机

- 1 打开USB无线LAN模块缩回部分的盖子（第2页）。
- 2 将USB-RJ45适配器安装到本机。
有关安装的详细信息，请参阅网络适配器套件的安装说明书。

注意

- 将USB-RJ45适配器安装到本机或从本机拆卸时，请执行以下步骤之一：
 - 将录制菜单“Proxy录制模式”中的“设置”和系统菜单“网络”中的“设置”同时设置为“关”。

— 关闭本机。

连接

- 1 通过将系统菜单“网络”中的“设置”设为“调制解调器”，将本机的网络操作模式设为调制解调器模式。

注意

- 本机进入有线LAN模式可能需要一些时间（30秒至60秒）。等待LCD/寻像器屏幕（第2页）上网络连接状态的闪烁“3G/4G”指示被打开。
- 使用LAN电缆连接本机时，显示器上显示的菜单项目和信息与将本机与调制解调器连接时相同。

上传文件（仅限PXW-X180）

可通过3G/4G/LTE线路或接入点将在本机上录制的Proxy文件或原文件上传到互联网上的服务器。

准备工作

连接到互联网

按照“连接至互联网（仅限PXW-X180）”（第8页）中的操作步骤将本机连接到互联网。

注册用于上传的服务器

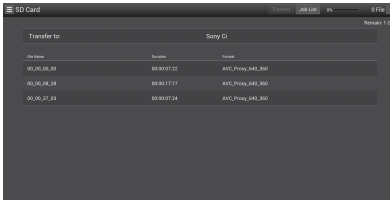
预先注册用于上传的服务器。
有关注册服务器的详细信息，请参阅“注册用于上传的服务器”（第18页）。

选择文件并上传

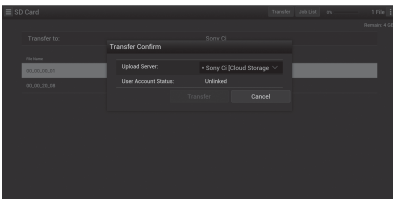
将在SD卡上录制的Proxy文件或者在SxS存储卡上录制的原文件上传到服务器。

上传SD卡上的Proxy文件

- 1 通过无线LAN将设备连接到本机，在设备上启动浏览器，然后从浏览器访问本机（第4页）。
- 2 显示文件列表画面以选择文件。
轻触“☰” > “Media Info” > “SD Card”。
出现“SD Card”画面。



- 3 选择文件。
通过轻触文件来选择文件。若要取消，可再次轻触文件。
可通过双击文件进行播放来检查文件。
- 4 轻触“Transfer”。
出现您在“注册用于上传的服务器”（第18页）的“Default Server”中设为默认服务器的服务器。
若要更改服务器，轻触服务器显示服务器列表，然后选择服务器。
如必要，将服务器的目录输入到“Directory”中。



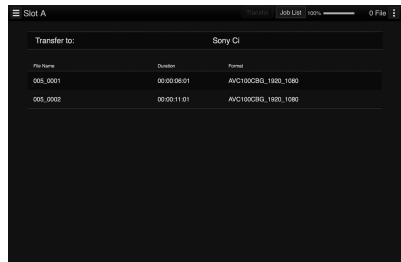
- 5 轻触“Transfer”。

本机开始上传所选文件。
若要取消上传，轻触“Cancel”。

上传SxS存储卡上的原文件

- 1 通过无线LAN将设备连接到本机，在终端设备上启动浏览器，然后从浏览器访问本机（第4页）。
- 2 将本机更改为文件传输模式。
执行系统菜单“文件传输”中的“文件传输”，将本机更改为上传原文件的专用模式。
- 3 显示文件列表画面以选择文件。
轻触设备浏览器画面上的“☰” > “Media Info” > “Slot A”（插槽A中的存储卡）或“Slot B”（插槽B中的存储卡）。
显示“Slot A”或“Slot B”画面。

示例：“Slot A”画面

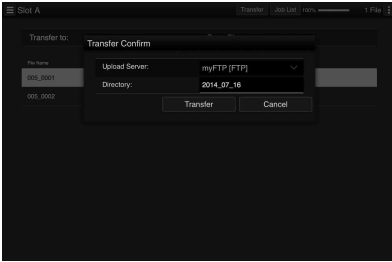


- 4 选择文件。
通过轻触文件来选择文件。若要取消，可再次轻触文件。

5 轻触“Transfer”。

出现您在“注册用于上传的服务器”（第18页）的“Default Server”中设为默认服务器的服务器。

若要更改服务器，轻触服务器显示服务器列表，然后选择服务器。如必要，将服务器的目录输入到“Directory”中。



6 轻触“Transfer”。

本机开始上传所选文件。
若要取消上传，轻触“Cancel”。

查看文件上传

轻触“SD Card”、“Slot A”或“Slot B”画面上的“Job List”会显示“Job List”画面，可在此画面上查看上传状态（第19页）。

传送流媒体视频和音频 (仅限PXW-X180)

通过互联网或本地网络可以传送本机捕获/播放的视频和音频。

准备工作

连接到互联网

按照“连接至互联网（仅限PXW-X180）”（第8页）中的操作步骤将本机连接到互联网。

连接到本地网络

按照“通过无线LAN连接到其它设备（仅限PXW-X180）”（第4页）中的操作步骤将本机连接到本地网络。

设置流媒体的传送目的地

- 1 选择系统菜单“流媒体”中的“预设1”（或“预设2”、“预设3”），打开流媒体传送目的地的设置画面。
- 2 在该画面上设置与“大小”、“比特率”和“类型”对应的项目。
- 3 对系统菜单“流媒体”中的“预设选择”选择步骤1和2中设置的“预设1”（或“预设2”、“预设3”）。

开始串流

- 1 在系统菜单的“流媒体”中，将“设置”设为“开”。

根据您进行的设置开始串流。可以将“流媒体”指定到可指定按钮。有关指定的详细信息，请参阅操作指南中的“可指定按钮”。

注意

- 当系统菜单的“网络”中的“设置”设置为“关”时，无法开始串流。
- 开始串流后可能需要数十秒才能串流实际视频或音频。
- 当播放SD片段时，无法开始串流。
- 如果错误设定流媒体传送目的地或本机未连接到网络，画面上将出现“×”作为流媒体状态指示。

停止串流

- 1 在系统菜单的“流媒体”中，将“设置”设为“关”。

通过按下指定“流媒体”的可指定按钮也可停止串流。

当本机通过无线LAN（第4页）连接到某设备或以无线LAN站点模式（第9页）连接到互联网时，也可以从Web菜单（第13页）设置传送目的地和开始/停止串流。

使用Wi-Fi遥控器（仅限PXW-X180）

当本机和智能手机、平板电脑等设备之间建立无线LAN连接时，设备屏幕上将出现Wi-Fi遥控器，设备可作为遥控器使用。

可通过Wi-Fi连接设备开始/停止录制和调节录制设置。此功能有助于远程设定本机，如在升降机顶端等。

显示Wi-Fi遥控器

Wi-Fi遥控器的显示大小自动根据设备屏幕大小而改变。有关Wi-Fi遥控器显示的详细信息，请参阅操作指南。

- 1 在设备和本机之间建立无线LAN连接（第5页）。
- 2 打开浏览器，在地址栏中输入 `http://<本机IP地址>`（“系统菜单” > “网络” > “IP地址”）/ `rm.html`。
示例：当IP地址为192.168.1.1时，请在地址栏中输入 `http://192.168.1.1/rm.html`。
- 3 在浏览器上输入用户名和密码（“系统菜单” > “基本验证” > “用户名”或“密码”）。

完成连接时，设备上出现Wi-Fi遥控器的画面。

按照显示操作Wi-Fi遥控器。

当Lock开关拖至右侧时，REC按钮将无法使用。

可通过Web菜单的“Cam Remote Control”显示Wi-Fi遥控器（第14页）。

注意

- 视设备而定，即使在地址栏中输入 `http://<本机的IP地址>/rm.html`，Wi-Fi遥控器也可能无法正确出现在设备屏幕上。这时，请在地址最后输入“rms.html”（使用智能手机时）或“rmt.html”（使用平板电脑时）而不是输入“rm.html”，以正确显示Wi-Fi遥控器。
- 设备屏幕上的Wi-Fi遥控器在以下情况下可能无法与本机的实际状态一致。此时，请刷新设备上的浏览器。
 - 启用Wi-Fi连接期间您重启了本机时
 - 启用Wi-Fi连接期间直接控制本机时
 - 重新连接设备时
 - 您在设备浏览器上进行前进/后退操作时。
- 如果Wi-Fi信号微弱，Wi-Fi遥控器可能无法正常工作。

CS

关于Web菜单（仅限PXW-X180）

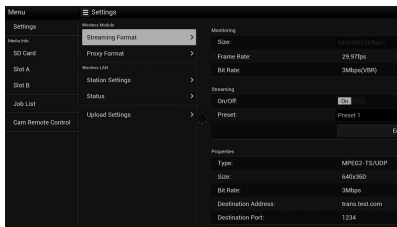
从通过无线LAN连接到本机的设备的浏览器访问本机，会显示本机的Web菜单。您可以执行无线功能的设置或者文件传输的操作。

初始画面

在连接本机与设备时及从设备上的浏览器访问本机时，浏览器上显示本机“Media Info”的“SD Card”画面。

关于设置菜单

轻触屏幕左上角的  显示设置菜单。
轻触您想要设置的项目。



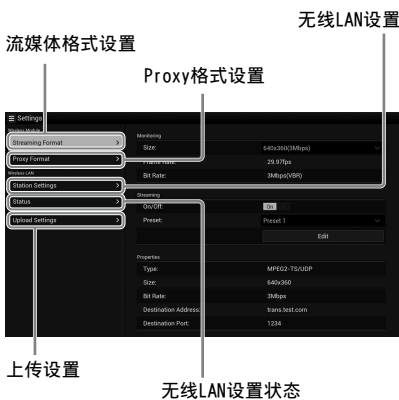
“Settings”

显示本机设置画面。

- “Wireless Module”
- “Streaming Format”：流媒体格式设置（第14页）
- “Proxy Format”：Proxy格式设置
- “Wireless LAN”
- “Station Settings”：无线LAN设置（第16页）
- “Status”：无线LAN设置的状态（第17页）
- “Upload Settings”
上传设置（第17页）

注意

- 当显示“Settings”画面时，轻触以下项目可显示所需的设置画面。



“Media Info”

显示用于显示媒体状态或者选择已上传文件的画面（第10页）。

- “SD Card”：插入本机PROXY SD插槽的媒体。
- “Slot A”：插入本机存储卡插槽A的媒体。
- “Slot B”：插入本机存储卡插槽B的媒体。

“Job List”

显示用于管理已上传文件的画面（第19页）。

“Cam Remote Control”

显示Wi-Fi遥控器（第13页）。

流媒体格式设置

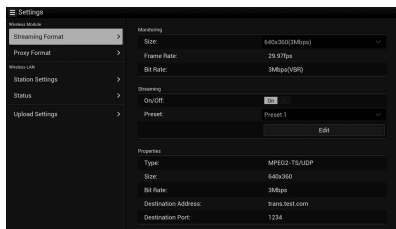
可以设置通过设备监控的流媒体的格式。或者可以设置通过互联网或本地网络传送流媒体的流媒体格式/传送目的地。

视频

- AVC/H.264 Main Profile, 4:2:0 Long GOP
- 在以下设置中选择尺寸。

音频

- AAC-LC压缩
- 采样频率：48 kHz
- 比特率：128 kbps（立体声）



监控设置

可以设置在终端设备上监控时的格式。

“Size”（“监控”）

为监控设置视频的大小和比特率。

- “640 × 360”：3 Mbps (VBR)
- “480 × 270”：1 Mbps (VBR)
- “480 × 270”：0.5 Mbps (VBR)

注意

- 此比特率为平均值。实际比特率可能高于平均值。

“Frame Rate”

显示视频的帧速率。

- “23.98fps”：23.975 fps
- “25fps”：25 fps
- “29.97fps”：29.97 fps
- “50fps”：50 fps
- “59.94fps”：59.94 fps

注意

- 不支持“24 fps”。

“Bit Rate”

- “3Mbps (VBR)”：640 × 360
- “1Mbps (VBR)”：480 × 270
- “0.5Mbps (VBR)”：480 × 270

流媒体设置

可以设置流媒体的格式或传送目的地。最多可以预设三个设置。

“On/Off”

切换流媒体传送的打开/关闭。

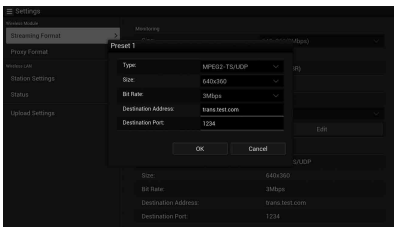
注意

- 选择“On”时，监控功能不可用。

“Preset”

从“Preset 1”至“Preset 3”中选择预设。

通过轻触“Edit”可以编辑“Preset”。



“Type”

从“MPEG-2 TS/UDP”或“MPEG-2 TS/RTP”中选择流媒体视频的类型。

“Size”

设置流媒体视频的尺寸。

- “HD Auto”
- “1280 × 720”
- “640 × 360”
- “480 × 270”

选择“HD Auto”时，根据SxS存储卡中录制的录制格式或要播放的片段格式的设置，尺寸设置为1920 × 1080或1280 × 720。

“Bit Rate”

设置流媒体视频的比特率。

- “9Mbps”
- “6Mbps”
- “3Mbps”
- “2Mbps”
- “1Mbps”
- “0.5Mbps”

可选择的比特率因“Size”的设置而异。

注意

- 由于视频/音频数据通过互联网传送，数据可能会泄漏。确认传送目的地可以接收到流媒体数据。数据可能会因为地址设定错误而被误传到非指定方。
- 视网络的状态而定，可能无法播放所有帧。
- 在动作过多的场景中，图像质量可能会降低。
- 当流媒体设定为大尺寸小比特率时，可能无法播放所有帧。若要减少这种情况，请在“Size”中选择更小的尺寸。
- 当Proxy格式设置的“Bit Rate”（第16页）设置为“9Mbps (VBR)”时：
 - 流媒体设置的“Bit Rate”无法设置为高于“6Mbps”的设置。
 - 当选择“Bit Rate”设置为高于“6Mbps”的预设时，流媒体设置的“Bit Rate”自动变为“3Mbps”。

“Destination Address”

输入用于流媒体数据的传送目的地服务器地址。

“Destination Port”

输入用于流媒体的传送目的地服务器的端口号。

Proxy格式设置

可以设置记录在本机SD卡上的Proxy文件的格式。

视频

XAVC Proxy (AVC/H.264 Main Profile, 4:2:0 Long GOP)

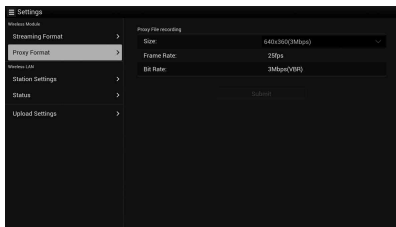
在以下设置中选择尺寸。

音频

AAC-LC压缩

采样频率: 48 kHz

比特率: 128 kbps (立体声)



“Size”

为Proxy文件设置视频的大小和比特率。

“1280 × 720” : 9 Mbps (VBR)

“640 × 360” : 3 Mbps (VBR)

“480 × 270” : 1 Mbps (VBR)

“480 × 270” : 0.5 Mbps (VBR)

注意

- 当流媒体设置的“比特率”设置为高于“6Mbps”的设置时，无法设置“9Mbps (VBR)”。

“Frame Rate”

显示视频的帧速率。

“23.98 fps” : 23.975 fps

“25 fps” : 25 fps

“29.97 fps” : 29.97 fps

“50 fps” : 50 fps

“59.94 fps” : 59.94 fps

注意

- 不支持“24 fps”。

“Bit Rate”

显示视频的比特率。

“9 Mbps (VBR)” : 1280 × 720

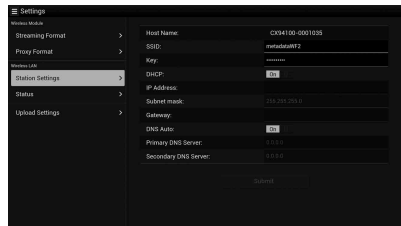
“3 Mbps (VBR)” : 640 × 360

“1 Mbps (VBR)” : 480 × 270

“0.5 Mbps (VBR)” : 480 × 270

无线LAN设置 (Station Settings)

可执行以连接到无线LAN的设置。



“Host Name”

显示本机的主机名称。(无法更改)。

“SSID”

显示在“Access Point”选择的SSID。

“Key”

输入接入点的密码。

“DHCP”

设定DHCP设置。

当您设为“On”，自动为本机指定IP地址。

若要手动为本机指定IP地址，设为“Off”。

“IP Address”

输入本机的IP地址。仅当“DHCP”被设为“Off”时，此设置才可用。

“Subnet mask”

输入本机的子网掩码。仅当“DHCP”被设为“Off”时，此设置才可用。

“Gateway”

输入接入点的默认网关。仅当“DHCP”被设为“Off”时，此设置才可用。

“DNS Auto”

设置DNS自动获取功能。

“Primary DNS Server”

输入接入点的主DNS服务器。仅当“DNS Auto”被设为“Off”时，此设置才可用。当此设置设为“Off”时，将手动获取。

“Secondary DNS Server”

输入接入点的次DNS服务器。仅当“DNS Auto”被设为“Off”时，此设置才可用。

“Submit”

确认无线LAN设置。

不使用WPS功能，在站点模式下连接至接入点

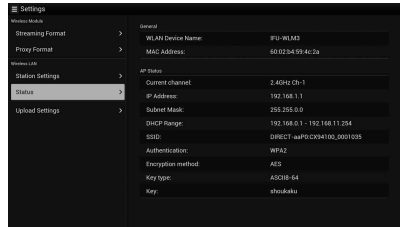
- 1 在接入点模式下连接设备与本机（第5页）。
- 2 在“Station Settings”画面上设置项目。
根据接入点设置执行设置。
有关接入点设置的详细信息，请参阅接入点的使用说明书。
- 3 轻触“Submit”。
设置的项目已确认。
- 4 通过将系统菜单“网络”中的“设置”设为“Wi-Fi站点”，将本机的无线LAN操作模式设为Wi-Fi站点模式。

本机开始在站点模式下连接。通过执行从“通过WPS功能连接至接入点”（第7页）的步骤7开始的步骤，从设备访问本机。

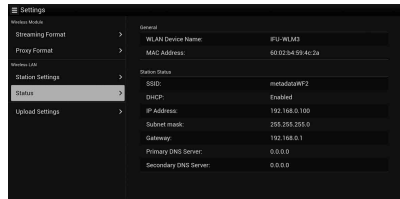
查看无线LAN设置

轻触“Wireless LAN”>“Status”，显示用于查看无线LAN设置的画面。视本机无线LAN模式而定，显示的项目有所不同。

接入点模式



站点模式



CS

上传设置

您可以注册服务器以上传在本机上录制的Proxy文件或原文件，或更改注册的服务器设置。

删除注册的服务器。



打开/关闭自动上传功能。

注册服务器。

“Auto Upload On/Off”

当“Auto Upload On/Off”被设为“On”且本机连接至互联网时，录制后本机自动将Proxy文件上传到在“Upload Setting”中被设为默认服务器的服务器。

“Sony Ci”为服务器默认设置。
Sony Ci是Sony提供的“Media Cloud Services”。您可以上传文件到Sony云服务中心Sony Ci。

注意

- 需要注册才能使用Sony Ci。
更多详细信息请访问
www.SonyMCS.com/wireless

注册“Sony Ci”

- 1 确保“Upload Settings”画面上显示了“Sony Ci”，然后轻触“Edit”。
显示Sony Ci的设置画面。
- 2 在“User”中输入用户名并在“Password”中输入密码。
更多详细信息请访问
www.SonyMCS.com/wireless
- 3 轻触“Link”。
一会之后，显示完成信息。

注意

- “Link”是将用户与本机连接在一起的操作。要执行“Link”，需要将本机连接至互联网。

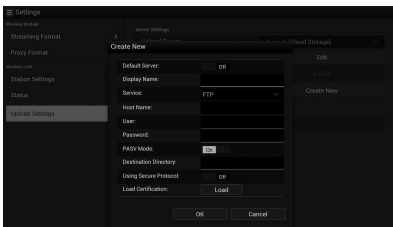
- 4 轻触“OK”。

注意

- 注册Sony Ci之后，设置画面上将显示“Unlink”。如果您轻触“Unlink”，当前用户账户将解除链接，您可以使用一个不同的用户账户进行关联。

注册用于上传的服务器

轻触“Create New”显示设置画面。



轻触“OK”应用设置。若要取消，轻触“Cancel”。

“Default Server”

当您设为“On”时，上传时服务器优先在列表上显示服务器名称。

“Display Name”

输入列表上显示的服务器名称。

“Service”

显示服务器类型。

“FTP”：FTP服务器

“Host Name”

输入服务器的地址。

“User”

输入服务器的用户名。

“Password”

输入服务器的密码。

“PASV Mode”

打开/关闭PASV模式。

“Using Secure Protocol”

设定是否执行安全的FTP上传。

“Load Certification”

读取CA证书。

- 格式化以PEM格式读取的证书，并以“certification.pem”为文件名称保存在SD卡的根目录。

“Clear Certification”

清除CA证书。

注意

- 通过FTP进行的数据通信未加密。建议使用FTPS。

更改已注册服务器设置

在“Upload Settings”画面上选择想要更改设置的服务器后，轻触

“Edit”。在用于更改设置的画面上更改设置。

有关设置项目的详细信息，请参阅“注册用于上传的服务器”（第18页）。

删除注册的服务器

在“Upload Settings”画面上选择想要删除的服务器后，轻触“Delete”。出现确认画面时，轻触“OK”。所选服务器被删除，显示屏返回之前的画面。

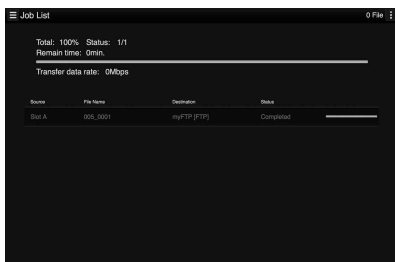
查看文件传输（Job List）

您可以查看要上传文件的列表与正在上传的文件、取消或开始文件上传以及从文件列表删除文件。

本机兼容FTP续传功能（文件暂停传输后的续传功能）。

注意


- FTP续传功能仅适用于兼容服务器。



- “Total”：要上传的所有文件的进度。
- “Status”：当前正在上传的文件的进度。
- “Remain Time”：估计的剩余上传时间。
- “Transfer data rate”：传输速度指示。

取消或开始上传或者从文件列表中删除文件

1 选择列表中的文件。

2 轻触屏幕右上方的 。

选择项目。

- “Abort selected”：取消上传所选文件。
- “Delete from list”：从列表中删除所选文件。
- “Start selected”：开始上传所选文件。

设置菜单列表

下面列出了新增的功能和可用菜单设置。
出厂默认设置以粗体显示（例如：**关**）。

录制		
菜单项目	子项目和设置值	内容
缓存录制 设置图像缓存 录制功能	设置 开 / 关	打开/关闭图像缓存录制功能。
	缓存录制时间 XAVC-I / XAVC-L 0-2秒 / 2-4秒 / 4-6秒 / 6-8秒 MPEG HD422 / MPEG HD420 / DVCAM 0-2秒 / 2-4秒 / 4-6秒 / 6-8秒 / 8-10秒 / 10-12秒 / 12-14秒 / 13-15秒	设置图像缓存录制时间。

绘图		
菜单项目	子项目和设置值	内容
白平衡 设置白平衡	滤镜白平衡存储 开 / 关	打开/关闭滤镜白平衡存储功能。

系统		
菜单项目	子项目和设置值	内容
网络 (仅限PXW- X180) 设置网络 连接和相关 显示项目	NFC 执行 / 取消	选择是否启用NFC功能。选择“执行”时，NFC功能打开且“设置”被暂时设为“Wi-Fi接入点”，本机进入NFC待机模式。当选择“取消”时，设置恢复为之前的设置。
	设置 Wi-Fi接入点 / Wi-Fi站 点 / 调制解调器 / 关	设置网络连接的操作模式。 注意 • 使用USB-RJ45适配器时，请选择“调制解调器”。
	通道 自动 / CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13	设置无线LAN的通道。

系统		
菜单项目	子项目和设置值	内容
网络	SSID & 密码	显示无线LAN的SSID和密码。
	WPS 执行 / 取消	启动Wi-Fi Protected Setup (WPS)。
	设备名称	显示正在使用的网络设备的名称。
	IP地址	显示本机的IP地址。
	子网掩码	显示本机的子网掩码。
	MAC地址	显示本机无线LAN模块的MAC地址。
	重新生成密码 执行 / 取消	重新生成密码。 执行：执行此功能。
	流媒体 (仅限PXW- X180) 设置网络 流媒体和相 关显示项目	设置
预设选择		选择流媒体的预设。
预设1		设置流媒体的图像尺寸。 选择“HD自动”时，根据SxS存储卡中录制的录制格式或要播放的片段格式的设置，尺寸设置为“1920×1080”或“1280×720”。
大小 (HD自动 / 1280×720 / 640×360 / 480×270)		

菜单项目	子项目和设置值	内容
流媒体	比特率 (9Mbps / 6Mbps / 3Mbps / 2Mbps / 1Mbps / 0.5Mbps)	设置流媒体视频的比特率。可选择的比特率因“大小”的设置值而异。 注意 <ul style="list-style-type: none"> • 由于视频/音频数据通过互联网传送，数据可能会泄漏。确认传送目的地可以接收到流媒体数据。 • 数据可能会因为地址设定错误而被误传到非指定方。 • 视网络的状态而定，可能无法播放所有帧。 • 在动作过多的场景中，图像质量可能会降低。 • 当流媒体设定为大尺寸小比特率时，可能无法播放所有帧。若要减少这种情况，请在“大小”中选择更小的尺寸。 • 当Proxy格式设置的“比特率”（第16页）设置为“9Mbps (VBR)”时： <ul style="list-style-type: none"> — 流媒体设置的“比特率”无法设置为高于“6Mbps”的设置。 — 当选择“比特率”设置为高于“6Mbps”的预设时，流媒体设置的“比特率”自动变为“3Mbps”。
	类型 (MPEG-2 TS/UDP / MPEG-2 TS/RTP)	选择流媒体视频的类型。
	目标地址 (字符串。 0.0.0.0)	输入用于流媒体传送的服务器地址。
	目标端口 (1至65545。 1234)	输入目的地服务器用于流媒体的端口号。
	预设2	
	预设3	

附录

以下是随本机附送的操作指南的附加信息。

关于录制的注意事项

当存取指示灯以红色点亮或闪烁时，本机正在录制媒体上读取或写入数据。请勿摇晃本机或对其施加强力，请勿关闭电源，也请勿取下录制媒体、电池或交流电源适配器。否则，可能会破坏图像数据。

计算机上的图像文件管理

- 如果更改文件名或文件夹，或在计算机上编辑了数据，则无法播放图像数据（当观看静止图像时，文件名闪烁）。这不是故障。
- 如果在计算机上删除图像管理文件，则无法正确录制/播放图像。图像管理文件的默认属性为隐藏，因此通常不显示。

CS

Français

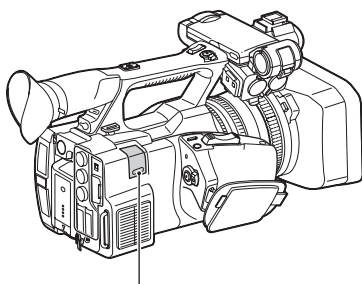
La mise à jour du micrologiciel a ajouté de nouvelles fonctions à votre caméscope. Vous trouverez ci-dessous la description des nouvelles fonctions et des opérations correspondantes, ajoutées aux caméscopes PXW-X180/PXW-X160 par la mise à niveau du micrologiciel « Ver. 2.0 ».

Reportez-vous au Mode d'emploi du caméscope.

Emplacement et fonction des pièces

Seules les nouvelles fonctions sont décrites ci-dessous.

Boîtier



Partie rétractable du module LAN sans fil USB (PXW-X180 uniquement) (5, 9)

L'installation sur le caméscope du module LAN sans fil USB IFU-WLM3 (fourni), d'un modem (vendu séparément) ou de l'adaptateur USB-RJ45 fourni avec l'adaptateur réseau CBK-NA1 (vendu séparément) permet la connexion à un réseau ou à des périphériques LAN sans fil.

Écran d'état

Dans l'« Écran d'état », l'option « Wi-Fi (PXW-X180 uniquement) » de l'« Écran d'état du système » est remplacée par le nouvel « Écran d'état du réseau ».

Écran d'état du réseau

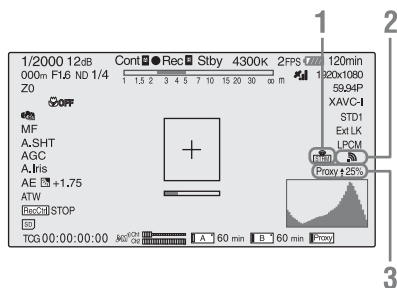
Affiche les réglages ou l'état du réseau.

Setting	État des réglages du réseau.
Device Name	Nom du périphérique connecté à la partie rétractable du module LAN sans fil USB.
IP Address	Adresse IP du caméscope.

Streaming Status	État de la distribution de la diffusion continue.
Streaming Size	Taille d'image des réglages de diffusion continue actuellement sélectionnés.
Streaming Bit Rate	Débit binaire des réglages de diffusion continue actuellement sélectionnés.
Streaming Type	Type des réglages de diffusion continue actuellement sélectionnés.
Streaming Dest. Add.	Adresse de destination vers laquelle la diffusion continue est transmise.
Streaming Dest. Port	Port de destination vers lequel la diffusion continue est transmise.

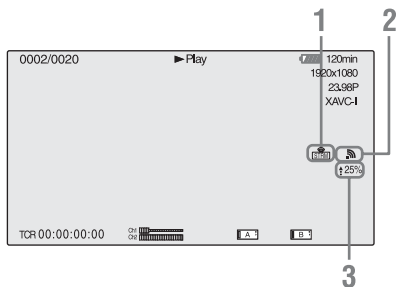
Écran LCD/écran du viseur

Informations affichées à l'écran pendant l'enregistrement



- 1. Indication de l'état de la diffusion continue (PXW-X180 uniquement)**
Affiche l'état de la diffusion continue.
- 2. Indication de l'état de la connexion réseau (PXW-X180 uniquement)**
Apparaît quand le réseau est activé.
- 3. Indication de l'état du proxy (PXW-X180 uniquement)**
Affiche l'état du réglage de l'enregistrement de proxy et l'état de transmission des fichiers de proxy.

Informations affichées sur l'écran de lecture



1. Indication de l'état de la diffusion continue (PXW-X180 uniquement)
2. Indication de l'état de la connexion réseau (PXW-X180 uniquement)
3. Indication de l'état de téléversement de proxy (PXW-X180 uniquement)
Affiche l'état de transmission des fichiers de proxy.

Stockage dans le cache d'images

La mémoire interne du caméscope est suffisante pour préstocker jusqu'à 15 secondes de données vidéo et audio dans un cache d'images. Cela vous permet de commencer à enregistrer un nombre déterminé de secondes avant le moment où vous appuyez sur la touche d'enregistrement.

Sélection du mode cache d'images/réglage de la durée du cache d'images

Avant d'enregistrer en mode cache d'images, vous devez activer ce mode et sélectionner, dans le menu Recording (page 21), la durée pendant laquelle les images sont stockées dans le cache d'images.

La durée du cache d'images détermine le nombre de secondes enregistrées avant que vous démarriez l'enregistrement. Notez qu'il peut s'avérer impossible de démarrer l'enregistrement longtemps à l'avance, comme dans les cas spéciaux expliqués dans les remarques ci-dessous.

Remarques

- Le stockage des données d'image en mémoire commence dès que vous sélectionnez le mode cache d'images. Ainsi, si vous démarrez l'enregistrement immédiatement après avoir sélectionné le mode cache d'images, les données d'image qui précèdent la sélection ne sont pas enregistrées.
- Aucune donnée n'est stockée dans le cache d'images pendant la lecture ou la révision d'enregistrement et l'affichage des vignettes. Il n'est pas possible d'enregistrer des données d'image à partir du moment où vous démarrez la lecture ou la révision d'enregistrement.

Réglage du mode cache d'images/durée du cache d'images

Remarques

- L'enregistrement dans le cache d'images n'est pas disponible en mode Slow & Quick Motion ou Clip Continuous Rec. Quand le stockage dans le cache d'images est activé, Slow & Quick Motion et Clip Continuous Rec ne sont pas disponibles. Si Slow & Quick Motion ou Clip Continuous Rec est activé, le mode cache d'images est automatiquement désactivé.
- Les données stockées dans le cache d'images sont effacées quand vous modifiez les réglages du système en changeant de format vidéo, par exemple. Les données d'image qui précèdent le changement ne sont pas conservées, même si vous démarrez l'enregistrement immédiatement après avoir effectué le changement. Le mode cache d'images est automatiquement désactivé.
- Pendant l'enregistrement, il n'est pas possible de déterminer la durée du cache d'images.
- AVCHD n'est pas pris en charge.

- 1 Sélectionnez « **Picture Cache Rec** » > « **On** » > « **Setting** » dans le menu **Recording**.

Pour plus de détails sur l'utilisation du menu, reportez-vous à la section « Opérations du menu de configuration » du Mode d'emploi du caméscope.

- 2 Sélectionnez la durée du cache d'images de « **Cache Rec Time** » sous « **Picture Cache Rec** ».

Le mode cache d'images sélectionné reste actif jusqu'à ce que vous le modifiez.

Utilisation des touches assignables

Vous pouvez assigner le stockage dans le cache d'images à une touche assignable. Pour plus de détails sur l'assignation, reportez-vous à la section « Touches assignables » du Mode d'emploi du caméscope.

Appuyez sur la touche que vous avez assignée pour activer le mode cache d'images.

Gestion des données du caméscope pendant l'enregistrement en mode cache d'images

Les procédures d'enregistrement en mode cache d'images sont fondamentalement identiques aux procédures normales d'enregistrement.

Toutefois, notez les différences suivantes

relatives à la manière dont le caméscope gère les données vidéo, temporelles et d'affichage.

- Si vous démarrez l'enregistrement alors qu'une autre opération accède au support, le point de départ de la vidéo effectivement enregistré peut être ultérieur à la durée du cache d'images actuellement spécifié. Comme le délai augmente au fur et à mesure que les plans enregistrés sont plus nombreux, vous devez éviter les démarrages et arrêts rapides de l'enregistrement en mode cache d'images.
- Indépendamment du réglage « Run » de « Timecode » dans le menu TC/UB, le mode d'avance du générateur de code temporel est toujours « Free Run ».
- Vous ne pouvez pas définir des données temporelles en mode cache d'images. Pour définir des données temporelles, quittez le mode cache d'images.
- Les repères de prise de vue ne sont pas enregistrés s'ils sont définis avant le démarrage de l'enregistrement.

En cas de panne d'alimentation pendant l'enregistrement

- Si vous réglez le commutateur ON/STANDBY du caméscope sur STANDBY, il s'éteint automatiquement après quelques secondes au cours desquelles il accède au support pour enregistrer les données vidéo et audio conservées jusqu'alors dans sa mémoire.

- Si la panne d'alimentation découle du retrait de la batterie, du débranchement du câble CC ou de la mise hors tension de l'adaptateur secteur, les données vidéo et audio stockées en mémoire sont perdues. Les données stockées en mémoire ne sont pas enregistrées. Veillez à éviter pareille situation quand vous changez de batterie.

Mémoire de la balance des blancs en fonction de la position du filtre ND

Le caméscope mémorise automatiquement la valeur de réglage de la balance des blancs en fonction de la position du filtre ND et du réglage du commutateur WHT BAL (A ou B). Le caméscope possède cinq positions de filtre ND (CLEAR, PRESET 1 à 3 et VARIABLE) qui, combinées au réglage A ou B du commutateur, autorisent dix valeurs réglage.

Réglages de la mémoire de la balance des blancs du filtre

Sélectionnez « On » sous « Filter White Memory » dans le menu Paint (*page 21*). Quand « Off » est sélectionné, le numéro de mémoire est limité à un, tant à la position A que B du commutateur, et la mémoire n'est pas liée à la position du filtre ND.

Connexion à un autre périphérique via le LAN sans fil (PXW-X180 uniquement)

Vous pouvez établir une connexion LAN sans fil entre le caméscope et un périphérique (notamment un smartphone ou une tablette) en raccordant le module LAN sans fil USB IFU-WLM3 fourni.

Remarques

- Vous ne pouvez pas utiliser un module LAN sans fil USB d'un autre modèle que l'IFU-WLM3.

L'établissement d'une connexion LAN sans fil entre un périphérique et le caméscope vous permet d'effectuer les opérations suivantes.

- **Utilisation à distance via un LAN sans fil**
Vous pouvez commander le caméscope à partir d'un smartphone, d'une tablette ou d'un ordinateur connecté au caméscope via le LAN sans fil.
- **Surveillance vidéo via un LAN sans fil**
Vous pouvez créer un flux (H.264) à partir de l'image/son d'un caméscope, puis surveiller l'image/son à l'aide de l'application « Content Browser Mobile » installée sur un smartphone ou une tablette, via le LAN sans fil.

Application « Content Browser Mobile »

Vous pouvez utiliser le caméscope à distance tout en surveillant son image/son, puis ajuster ses réglages à l'aide de l'application « Content Browser Mobile ».

Pour plus de détails sur l'application « Content Browser Mobile », contactez votre revendeur Sony ou un centre de service après-vente Sony.

Périphériques compatibles

Vous pouvez utiliser un smartphone, une tablette ou un ordinateur pour régler et utiliser le caméscope. Les périphériques, systèmes d'exploitation et navigateurs suivants sont compatibles.

Périphérique	Système d'exploitation	Navigateur
Smartphone	Android 4.4	Chrome
	iOS 8	Safari
Tablette	Android 4.4	Chrome
	iOS 8	Safari
Ordinateur	Microsoft Windows 7/	Chrome
	Microsoft Windows 8	
	Mac OS 10.9/ 10.10	Safari

Fixation de l'IFU-WLM3

- 1 **Ouvrez le couvercle de la partie rétractable du module LAN sans fil USB (page 2).**
- 2 **Insérez l'IFU-WLM3 dans le connecteur USB.**
- 3 **Fermez le couvercle.**

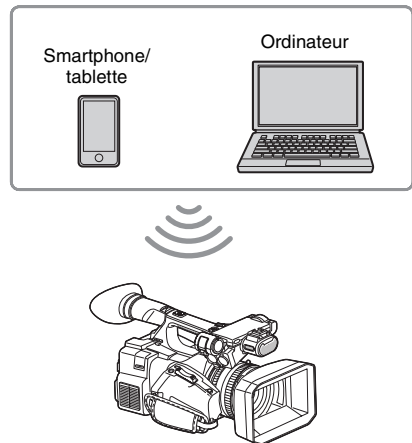
Remarques

- Quand vous branchez/débranchez l'IFU-WLM3, réglez à la fois « Setting » sous « Proxy Recording Mode » dans le menu Recording et « Setting » sous « Network » dans le menu System sur « Off » ou mettez le caméscope hors tension.

Connexion avec le mode point d'accès au LAN sans fil

FR

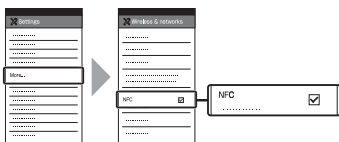
Le caméscope sert de point d'accès et se connecte à un périphérique via un LAN sans fil.



Connexion à un périphérique compatible NFC par simple contact

Grâce à la fonction NFC, vous pouvez connecter le caméscope par simple contact à un périphérique compatible NFC.


- 1 **Démarrez « Settings » sur le périphérique, sélectionnez « Other Settings », puis activez la case à cocher « NFC ».**




- 2 **Mettez le caméscope sous tension.**

- 3 **Activez la fonction NFC.**

Mettez le caméscope en mode de connexion NFC en appuyant sans relâcher sur la touche ASSIGN 3/NFC (pendant 3 secondes), ou activez « NFC » sous « Network » dans le menu System.

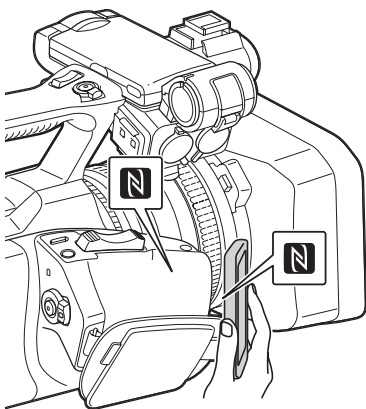
La fonction NFC est disponible aussi longtemps que  est affiché à l'écran.

Remarques

- L'apparition de  à l'écran peut prendre du temps (30 à 60 secondes). Attendez que l'indication clignotante « AP » d'état de connexion au LAN sans fil apparaisse sur l'écran LCD/du viseur (page 2).

- 4 **Tenez le smartphone à proximité du caméscope.**

Le smartphone est connecté au caméscope et l'application « Content Browser Mobile » démarre.



Remarques

- Annulez préalablement la fonction de mise en veille ou de verrouillage d'écran du smartphone.

- Tenez le périphérique à proximité du caméscope sans le déplacer jusqu'au démarrage de l'application « Content Browser Mobile » (1 à 2 secondes).

Connexion à un périphérique compatible WPS

Grâce à la fonction WPS, vous pouvez connecter le caméscope à un périphérique compatible WPS.

- 1 **Réglez le mode de fonctionnement réseau du caméscope sur le mode point d'accès Wi-Fi en réglant « Setting » sous « Network » dans le menu System sur « Wi-Fi Access Point ».**

Remarques

- Le passage du caméscope au mode point d'accès Wi-Fi peut prendre du temps (30 à 60 secondes). Attendez que l'indication clignotante « AP » d'état de la connexion réseau apparaisse sur l'écran LCD/du viseur (page 2).

- 2 **Activez « WPS » sous « Network » dans le menu System.**

- 3 **Sélectionnez « Network Setting » > « Wi-Fi Setting » sur le périphérique, puis activez « Wi-Fi ».**

- 4 **Sélectionnez le SSID du caméscope dans la liste des SSID sous « Wi-Fi Network » sur le périphérique, puis sélectionnez « WPS Push Button » sous « Option » sur le périphérique.**

Remarques

- La méthode de fonctionnement diffère selon le périphérique.

- 5 **Démarrez le navigateur sur le périphérique, puis accédez à « <http://192.168.1.1:8080/index.html> ».**

L'écran de saisie de « User Name » et « Password » apparaît.

- 6 **Saisissez le nom d'utilisateur et le mot de passe, puis sélectionnez « OK ».**

Pour connaître le nom d'utilisateur et le mot de passe de l'authentification d'accès, consultez « Basic Authentication » dans le menu System. Pour plus de détails, reportez-vous à la section « Menu System » du Mode d'emploi du caméscope.

Connexion par saisie d'un SSID et d'un mot de passe sur un périphérique

Vous pouvez connecter le caméscope à un périphérique en saisissant un SSID et un mot de passe sur un périphérique.

- Réglez le mode de fonctionnement réseau du caméscope sur le mode point d'accès Wi-Fi en réglant « Setting » sous « Network » dans le menu System sur « Wi-Fi Access Point ».**

Remarques

- Le passage du caméscope au mode point d'accès Wi-Fi peut prendre du temps (30 à 60 secondes). Attendez que l'indication clignotante « AP » d'état de la connexion réseau apparaisse sur l'écran LCD/du viseur (page 2).

- Sélectionnez « Network Setting » > « Wi-Fi Setting » sur le périphérique, puis activez « Wi-Fi ».**

- Connectez le périphérique au caméscope en sélectionnant le SSID du caméscope dans la liste des SSID sous « Wi-Fi Network » et en saisissant le mot de passe sur le périphérique.**

Pour connaître le SSID et le mot de passe du caméscope, consultez « SSID & Password » sous « Network » dans le menu System (page 21).

Remarques

- La méthode de fonctionnement diffère selon le périphérique.

- Démarrez le navigateur sur le périphérique, puis accédez à « <http://192.168.1.1:8080/index.html> ».**

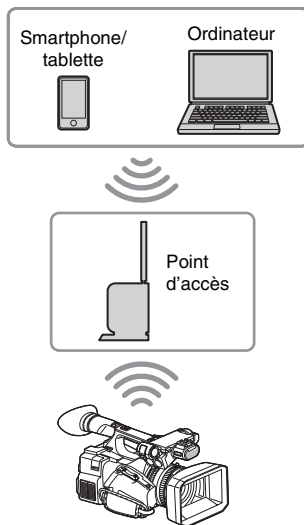
L'écran de saisie de « User Name » et « Password » apparaît.

- Saisissez le nom d'utilisateur et le mot de passe, puis sélectionnez « OK ».**

Pour connaître le nom d'utilisateur et le mot de passe de l'authentification d'accès, consultez « Basic Authentication » dans le menu System. Pour plus de détails, reportez-vous à la section « Menu System » du Mode d'emploi du caméscope.

Connexion avec le mode station LAN sans fil

Le caméscope se connecte en tant que client à un point d'accès existant du LAN sans fil. Le caméscope et le périphérique se connectent via le point d'accès.



FR

Connexion au point d'accès grâce à la fonction WPS

Si le point d'accès est compatible avec la fonction WPS, vous pouvez vous connecter au point d'accès avec des réglages simples. Si le point d'accès n'est pas compatible avec la fonction WPS, reportez-vous à la section « Pour établir la connexion au point d'accès en mode station sans la fonction WPS » (page 17).

- Mettez le point d'accès sous tension.**
- Mettez le caméscope sous tension.**
- Réglez le mode de fonctionnement réseau du caméscope sur le mode station Wi-Fi en réglant « Setting » sous « Network » dans le menu System sur « Wi-Fi Station ».**

Remarques

- Le passage du caméscope au mode station Wi-Fi peut prendre du temps (30 à 60 secondes). Attendez que l'indication d'état de signal clignotante pour l'état de connexion au LAN sans fil sur l'écran LCD/du viseur (page 2) s'active.

4 Activez « WPS » sous « Network » dans le menu System.

5 Appuyez sur la touche WPS du point d'accès.

Pour en savoir plus sur le fonctionnement de la touche WPS, consultez le mode d'emploi du point d'accès.

Une fois la connexion terminée, l'indication d'état de signal pour l'état de la connexion LAN sans fil (page 2) s'allume à une puissance supérieure à 1.

Remarques

- Si la connexion échoue, recommencez toutes les étapes à partir de l'étape 1.

6 Connectez le périphérique au point d'accès.

Pour en savoir plus sur la connexion, consultez le mode d'emploi du périphérique.

7 Démarrez le navigateur sur le périphérique, puis accédez à « <http://<adresse IP que le point d'accès assigne au caméscope>:8080/index.html> ».

Pour connaître l'adresse IP du caméscope, consultez « IP Address » sous « Network » dans le menu System.

L'écran de saisie de « User Name » et « Password » apparaît.

8 Saisissez le nom d'utilisateur et le mot de passe, puis sélectionnez « OK ».

Le menu Web du caméscope apparaît dans le navigateur. Pour plus de détails, reportez-vous à la section « À propos du menu Web (PXW-X180 uniquement) » (page 14).

Pour connaître le nom d'utilisateur et le mot de passe de l'authentification d'accès, consultez « Basic Authentication » dans le menu System.

Connexion à Internet (PXW-X180 uniquement)

Vous pouvez connecter le caméscope à Internet en lui raccordant un modem en option, un module USB sans fil IFU-WLM3 (fourni) ou un adaptateur USB-RJ45 fourni avec un kit adaptateur réseau CBK-NA1 en option.

Connexion à l'aide d'un modem

Vous pouvez connecter le caméscope à Internet via un réseau 3G/4G en connectant un modem en option à l'appareil.

Raccordement du modem au caméscope

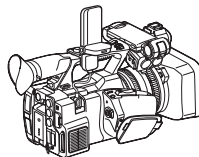
1 Ouvrez le couvercle de la partie rétractable du module LAN sans fil USB (page 2).

2 Raccordez au caméscope l'adaptateur d'extension pour module réseau fourni avec le kit adaptateur réseau en option CBK-NA1.

Connectez la borne convexe à la borne pour module LAN sans fil USB du caméscope et connectez la borne concave au modem. Vous pouvez raccorder l'adaptateur au trou de vis (1/4 pouce) de la monture pour griffe porte-accessoire.



Internet



Adaptateur d'extension pour module réseau + Modem

3 Raccordez le modem à l'adaptateur d'extension pour module réseau.

Remarques

- Quand vous branchez ou débranchez le modem du caméscope, exécutez une des opérations suivantes :
 - Réglez « Setting » sous « Proxy Recording Mode » dans le menu Recording et « Setting » sous « Network » dans le menu System sur « Off ».
 - Mettez le caméscope hors tension.

Connexion

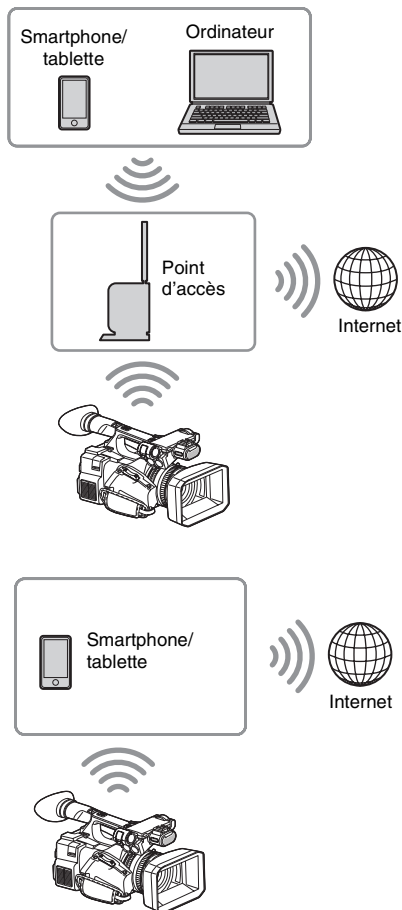
1 Réglez le mode de fonctionnement réseau du caméscope sur le mode modem en réglant « Setting » sous « Network » dans le menu System sur « Modem ».

Remarques

- Le passage du caméscope au mode modem peut prendre du temps (30 à 60 secondes). Attendez que l'indication clignotante « 3G/4G » d'état de la connexion réseau apparaisse sur l'écran LCD/du viseur (page 2).

Connexion avec le mode station LAN Wi-Fi sans fil

Vous pouvez connecter le caméscope à Internet en mode station Wi-Fi en raccordant le module LAN sans fil USB IFU-WLM3 (fourni) via un point d'accès 3G/4G/LTE en option ou par partage de la connexion Internet avec un périphérique.

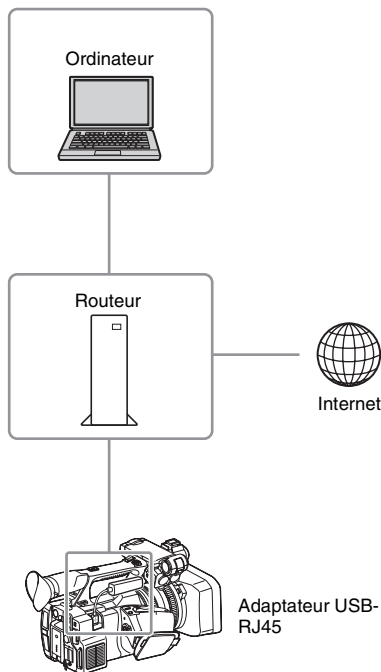


Connexion

Si le point d'accès ou le périphérique est compatible avec la fonction WPS, connectez le caméscope à Internet en suivant les procédures de la section « Connexion au point d'accès grâce à la fonction WPS » (page 7). Si le point d'accès ou le périphérique n'est pas compatible avec la fonction WPS, connectez le caméscope à Internet en suivant les procédures de la section « Pour établir la connexion au point d'accès en mode station sans la fonction WPS » (page 17). Avant d'établir la connexion, mettez le point d'accès ou le périphérique sous tension, puis activez la fonction de partage de la connexion Internet.

Connexion à Internet à l'aide d'un câble LAN

Vous pouvez connecter le caméscope à Internet en lui raccordant l'adaptateur USB-RJ45 fourni avec le kit adaptateur réseau CBK-NA1 en option via des câbles LAN connectés à un routeur Internet.



Raccordement de l'adaptateur USB-RJ45 au caméscope

- 1 Ouvrez le couvercle de la partie rétractable du module LAN sans fil USB (*page 2*).
- 2 Raccordez l'adaptateur USB-RJ45 au caméscope.
Pour plus de détails sur le raccordement, reportez-vous au Manuel d'installation du kit adaptateur réseau.

Remarques

- Quand vous branchez ou débranchez l'adaptateur USB-RJ45 du caméscope, exécutez une des opérations suivantes :
 - Réglez « Setting » sous « Proxy Recording Mode » dans le menu Recording et « Setting » sous « Network » dans le menu System sur « Off ».
 - Mettez le caméscope hors tension.

Connexion

- 1 Réglez le mode de fonctionnement réseau du caméscope sur le mode modem en réglant « Setting » sous « Network » dans le menu System sur « Modem ».

Remarques

- Le passage du caméscope au mode LAN filaire peut prendre du temps (30 à 60 secondes). Attendez que l'indication clignotante « 3G/4G » d'état de la connexion réseau apparaisse sur l'écran LCD/du viseur (*page 2*).
- Quand vous connectez le caméscope à l'aide d'un câble LAN, les options de menu et les informations affichées sur le moniteur sont identiques à celles qui apparaissent en cas de connexion à l'aide d'un modem.

Téléversement d'un fichier (PXW-X180 uniquement)

Vous pouvez téléverser un fichier de proxy ou un fichier original enregistré sur le caméscope vers le serveur sur Internet via un point d'accès ou une ligne 3G/4G/LTE.

Préparatifs

Pour vous connecter à Internet

Connectez le caméscope à Internet en suivant la procédure de la section « Connexion à Internet (PXW-X180 uniquement) » (*page 8*).

Pour enregistrer le serveur en vue du téléversement


Enregistrez au préalable le serveur en vue du téléversement.

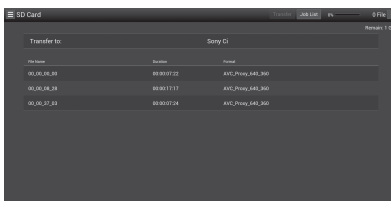
Pour plus de détails sur l'enregistrement du serveur, reportez-vous à la section « Enregistrer le serveur pour le téléversement » (page 19).

Sélection du fichier et téléversement

Téléversez vers le serveur le fichier de proxy enregistré sur une carte SD ou le fichier original enregistré sur une carte mémoire SxS.

Téléversement d'un fichier de proxy d'une carte SD

- 1 **Connectez un périphérique au caméscope via un LAN sans fil, démarrez le navigateur sur le périphérique, puis accédez au caméscope à partir du navigateur (page 4).**
- 2 **Affichez l'écran de la liste des fichiers pour sélectionner le fichier.**
Touchez «  » > « Media Info » > « SD Card ».
L'écran « SD Card » apparaît.



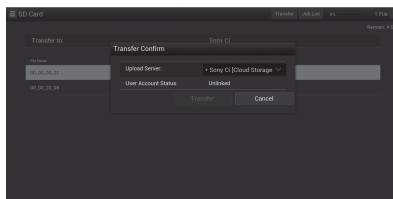
- 3 **Sélectionnez le fichier.**
Sélectionnez le fichier en le touchant. Pour annuler, touchez à nouveau le fichier. Vous pouvez vérifier le fichier en le touchant deux fois pour le lire.

4 Touchez « Transfer ».

Le serveur défini comme serveur par défaut sous « Default Server » à la section « Enregistrer le serveur pour le téléversement » (page 19) apparaît.

Pour changer de serveur, touchez le serveur pour afficher la liste des serveurs, puis sélectionnez-en un.

Le cas échéant, saisissez le répertoire du serveur dans « Répertoire ».




5 Touchez « Transfer ».

Le caméscope démarre le téléversement du fichier sélectionné.

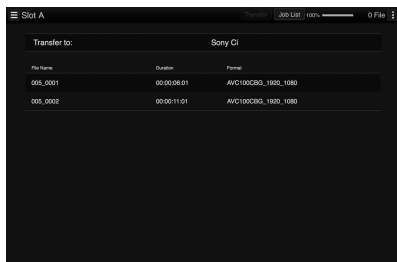
Pour annuler le téléversement, touchez « Cancel ».

Téléversement d'un fichier original d'une carte mémoire SxS

- 1 **Connectez un périphérique au caméscope via un LAN sans fil, démarrez le navigateur sur le périphérique, puis accédez au caméscope à partir du navigateur (page 4).**
- 2 **Mettez le caméscope en mode transfert de fichier.**
Exécutez « File Transfer » sous « File Transfer » dans le menu System pour faire entrer le caméscope dans le mode dédié au téléversement du fichier original.
- 3 **Affichez l'écran de la liste des fichiers pour sélectionner le fichier.**
Dans l'écran du navigateur du périphérique, touchez «  » > « Media Info » > « Slot A » (pour une carte mémoire insérée dans la fente A) ou « Slot B » (pour une carte mémoire insérée dans la fente B).

L'écran « Slot A » ou « Slot B » apparaît.

Exemple : écran « Slot A »



4 Sélectionnez le fichier.

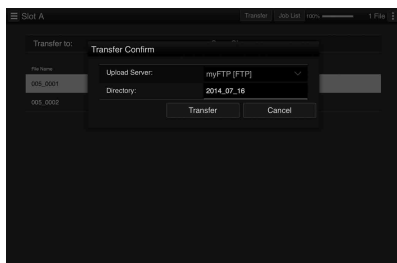
Sélectionnez le fichier en le touchant. Pour annuler, touchez à nouveau le fichier.

5 Touchez « Transfer ».

Le serveur défini comme serveur par défaut sous « Default Server » à la section « Enregistrer le serveur pour le téléversement » (page 19) apparaît.

Pour changer de serveur, touchez un serveur pour afficher la liste des serveurs, puis sélectionnez le serveur.

Le cas échéant, saisissez le répertoire du serveur dans « Répertoire ».



6 Touchez « Transfer ».

Le caméscope démarre le téléversement du fichier sélectionné.

Pour annuler le téléversement, touchez « Cancel ».

Vérification du téléversement de fichier

Vous pouvez vérifier l'état de téléversement dans l'écran « Job List » que vous pouvez afficher en touchant « Job List » dans l'écran « SD Card », « Slot A » ou « Slot B » (page 19).

Transmission par diffusion continue de l'image et du son (PXW-X180 uniquement)

L'image et le son capturés/lus par le caméscope peuvent être transmis via Internet ou le réseau local.

Préparatifs

Pour vous connecter à Internet

Connectez le caméscope à Internet en suivant la procédure de la section « Connexion à Internet (PXW-X180 uniquement) » (page 8).

Pour vous connecter au réseau local

Connectez le caméscope au réseau local en suivant la procédure de la section « Connexion à un autre périphérique via le LAN sans fil (PXW-X180 uniquement) » (page 4).

Pour définir la destination de la transmission de la diffusion continue

- 1 Sélectionnez « Preset1 » (ou « Preset2 », « Preset3 ») sous « Streaming » dans le menu System pour ouvrir l'écran de réglage de la destination de la transmission de la diffusion continue.
- 2 Dans cet écran, définissez les options correspondant à « Size », « Bit Rate » et « Type ».
- 3 Sélectionnez « Preset1 » (ou « Preset2 », « Preset3 ») défini aux étapes 1 et 2 pour « Preset Select » sous « Streaming » dans le menu System.

Démarrage de la diffusion continue

1 Réglez « Setting » sur « On » sous « Streaming » dans le menu System.

La diffusion continue démarre selon le réglage défini.

Vous pouvez assigner « Streaming » à une touche assignable. Pour plus de détails sur l'assignation, reportez-vous à la section « Touches assignables » du Mode d'emploi du caméscope.

Remarques

- Vous ne pouvez pas démarrer la diffusion continue quand « Setting » sous « Network » dans le menu System est réglé sur « Off ».
- Plusieurs dizaines de secondes peuvent s'écouler entre le moment où vous démarrez la diffusion continue et le moment où le flux vidéo ou audio démarre réellement.
- Vous ne pouvez pas démarrer la diffusion continue pendant la lecture d'un plan SD.
- Si vous ne définissez pas correctement la destination de la transmission de la diffusion continue ou si le caméscope ne se connecte pas au réseau, « x » apparaît à l'écran en tant qu'indication d'état de la diffusion continue.

Arrêt de la diffusion continue

1 Réglez « Setting » sur « Off » sous « Streaming » dans le menu System.

Vous arrêtez également la diffusion continue en appuyant sur la touche assignable correspondant à « Streaming ».

Quand le caméscope est connecté à un périphérique via un LAN sans fil (page 4) ou s'il se connecte à Internet en mode station LAN sans fil (page 9), vous pouvez également définir la destination de la transmission et démarrer/arrêter la diffusion continue à partir du menu Web (page 14).

Utilisation de la télécommande Wi-Fi (PXW-X180 uniquement)

Lorsqu'une connexion au LAN sans fil est établie entre un périphérique (notamment un smartphone ou une tablette) et le caméscope, la télécommande Wi-Fi apparaît sur l'écran du périphérique et celui-ci peut jouer le rôle de télécommande. Vous pouvez démarrer/arrêter l'enregistrement et procéder aux réglages de l'enregistrement avec un périphérique connecté au Wi-Fi. Cette fonction peut être utile lors de l'installation du caméscope à un endroit distant, notamment en haut d'une grue.

Affichage de la télécommande Wi-Fi

La taille d'affichage de la télécommande Wi-Fi varie automatiquement selon la taille d'écran du périphérique. Pour plus de détails sur l'affichage de la télécommande Wi-Fi, reportez-vous au Mode d'emploi du caméscope.

1 Établissez une connexion LAN sans fil entre le périphérique et le caméscope (page 5).

2 Lancez le navigateur et saisissez `http://<adresse IP du caméscope>` (« menu System » > « Network » > « IP Address »)/`rm.html` dans la barre d'adresse.

Exemple : lorsque l'adresse IP est 192.168.1.1, saisissez `http://192.168.1.1/rm.html` dans la barre d'adresse.

3 Saisissez le nom d'utilisateur et le mot de passe (« menu System » > « Basic Authentication » > « User Name » ou « Password ») dans le navigateur.

Une fois la connexion établie, l'affichage de la télécommande Wi-Fi apparaît sur le périphérique.

Utilisez la télécommande Wi-Fi en suivant l'affichage.

La touche REC n'est plus disponible lorsque le commutateur Verrouiller est glissé vers la droite.

Vous pouvez afficher la télécommande Wi-Fi avec « Cam Remote Control » dans le menu Web (page 15).

Remarques

- Selon le périphérique, il est possible que la télécommande Wi-Fi n'apparaisse pas correctement sur l'écran du périphérique, même si vous saisissez http://<adresse IP du caméscope>/rm.html dans la barre d'adresse. Dans ce cas, saisissez « rms.html » pour un smartphone ou « rmt.html » pour une tablette au lieu de « rm.html » à la fin de l'adresse afin d'afficher correctement la télécommande Wi-Fi.
- Il est possible que la télécommande Wi-Fi affichée sur l'écran du périphérique ne corresponde pas à l'état réel du caméscope dans les cas suivants. Actualisez alors le navigateur du périphérique.
 - lorsque le caméscope redémarre pendant l'établissement de la connexion Wi-Fi
 - lorsque le caméscope est commandé directement pendant l'établissement de la connexion Wi-Fi
 - lorsque le périphérique est reconnecté
 - lorsque vous avancez/reculez dans le navigateur du périphérique.
- Si le signal Wi-Fi est faible, la télécommande Wi-Fi risque de ne pas fonctionner correctement.


À propos du menu Web (PXW-X180 uniquement)

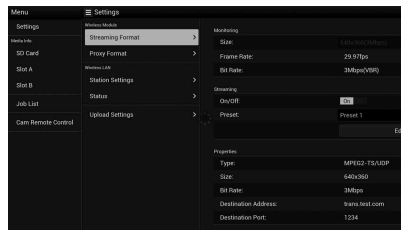
Le menu Web du caméscope apparaît lors de l'accès au caméscope à partir du navigateur d'un périphérique connecté à celui-ci via un LAN sans fil. Vous pouvez procéder aux réglages de la fonction sans fil ou au transfert de fichier.

Écran d'accueil

L'écran « SD Card » sous « Media Info » du caméscope apparaît dans le navigateur en cas d'accès au caméscope à partir du périphérique auquel il est connecté.

À propos du menu de réglage

Le menu de réglage apparaît lorsque vous touchez  en haut à gauche de l'écran. Touchez l'option que vous souhaitez définir.



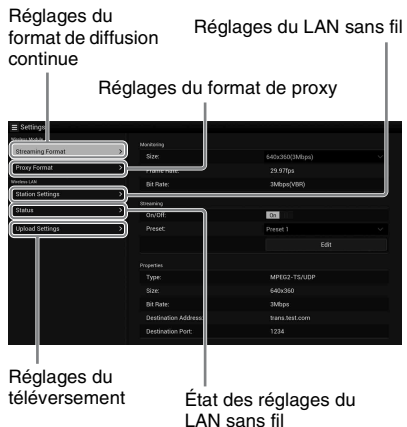
« Settings »

Affiche l'écran des réglages du caméscope.

- « Wireless Module »
 - « Streaming Format » : réglages du format de diffusion continue (page 15)
 - « Proxy Format » : réglages du format de proxy
 - « Wireless LAN »
 - « Station Settings » : réglages du LAN sans fil (page 17)
 - « Status » : état des réglages du LAN sans fil (page 17)
 - « Upload Settings »
- Réglages de téléversement (page 18)

Remarques

- Lorsque l'écran « Settings » apparaît, vous pouvez afficher l'écran de réglage de votre choix en touchant ce qui suit.



« Media Info »

Fait apparaître l'écran d'affichage de l'état du support ou de sélection du fichier téléversé (page 10).

- « SD Card » : support inséré dans la fente PROXY SD du caméscope.
- « Slot A » : support inséré dans la fente A du caméscope.

- « Slot B » : support inséré dans la fente B du caméscope.

« Job List »

Affiche l'écran de gestion des fichiers téléversés (page 19).

« Cam Remote Control »

Affiche la télécommande Wi-Fi (page 13).

Réglages du format de diffusion continue

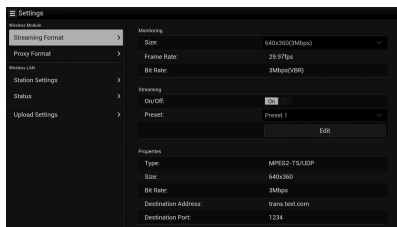
Vous pouvez définir le format du flux surveillé à l'aide du périphérique. Sinon, vous pouvez définir le format/destination de la transmission du flux de la diffusion continue via Internet ou le réseau local.

Vidéo

- AVC/H.264 Main Profile, 4:2:0 Long GOP
- Vous pouvez sélectionner la taille parmi les réglages suivants.

Audio

- Compression AAC-LC
- Fréquence d'échantillonnage : 48 kHz
- Débit binaire : 128 kbps pour la stéréo



Réglage de la surveillance

Vous pouvez définir le format de surveillance sur le périphérique.

« Size » (« Surveillance »)

Réglez la taille et le débit binaire de la vidéo en vue de la surveillance.

- « 640 × 360 » : 3 Mbps (VBR)
- « 480 × 270 » : 1 Mbps (VBR)
- « 480 × 270 » : 0,5 Mbps (VBR)

Remarques

- Le débit binaire est la valeur moyenne. Le débit binaire réel peut être supérieur à la valeur moyenne.

« Frame Rate »

Affiche la fréquence d'images de la vidéo.

- « 23.98fps » : 23,975 ips
- « 25fps » : 25 ips
- « 29.97fps » : 29,97 ips
- « 50fps » : 50 ips
- « 59.94fps » : 59,94 ips

Remarques

- « 24 ips » n'est pas pris en charge.

« Bit Rate »

- « 3Mbps (VBR) » : 640 × 360
- « 1Mbps (VBR) » : 480 × 270
- « 0.5Mbps (VBR) » : 480 × 270

FR

Réglages de la diffusion continue

Vous pouvez définir le format ou la destination de la transmission de la diffusion continue. Il est possible de prédéfinir jusqu'à trois réglages.

« On/Off »

Active/désactive la transmission de la diffusion continue.

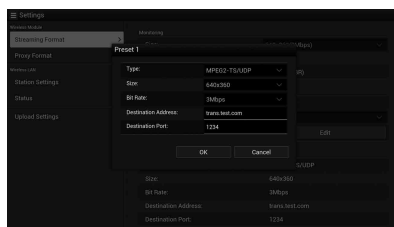
Remarques

- La fonction de surveillance n'est pas disponible lorsque « On » est sélectionné.

« Preset »

Sélectionnez un des préréglages « Preset 1 » à « Preset 3 ».

Vous pouvez modifier « Preset » en touchant « Edit ».



« Type »

Sélectionnez le type de vidéo diffusée en continu « MPEG-2 TS/UDP » ou « MPEG-2 TS/RTP ».

« Size »

Sélectionnez la taille de la vidéo diffusée en continu.

- « HD Auto »
- « 1280 × 720 »
- « 640 × 360 »
- « 480 × 270 »

Quand vous sélectionnez « HD Auto », la taille est fixée à 1920 × 1080 ou 1280 × 720 selon le réglage du format d'enregistrement enregistré sur la carte mémoire SxS ou du format du plan en cours de lecture.

« Bit Rate »

Définissez le débit binaire de la vidéo diffusée en continu.

- « 9Mbps »
- « 6Mbps »
- « 3Mbps »
- « 2Mbps »
- « 1Mbps »
- « 0.5Mbps »

Le débit binaire sélectionnable varie selon le réglage de « Size ».

Remarques

- Des fuites de données sont possibles puisque les données vidéo/audio sont transférées via Internet. Assurez-vous que la destination de la transmission est en mesure de recevoir les données diffusées en continu. Une erreur de définition de l'adresse peut entraîner l'envoi fortuit des données à des tiers.
- Selon l'état du réseau, il est possible que toutes les images ne puissent pas être lues.
- La qualité d'image peut s'altérer dans les scènes qui présentent des mouvements excessifs.
- Il est possible que toutes les images ne soient pas lues quand le flux est réglé sur une taille élevée alors que le débit binaire est faible. Pour y remédier, sélectionnez une taille réduite sous « Size ».
- Quand « Bit Rate » (*page 16*) du réglage du format de proxy a pour valeur « 9Mbps (VBR) » :
 - « Bit Rate » du réglage du flux ne peut pas avoir une valeur supérieure à « 6Mbps ».
 - Quand vous sélectionnez un préréglage pour lequel « Bit Rate » possède une valeur supérieure à « 6Mbps », « Bit Rate » du réglage de la diffusion continue est automatiquement remplacé par « 3Mbps ».

« Destination Address »

Saisissez l'adresse du serveur de destination de la transmission des données diffusées en continu.

« Destination Port »

Saisissez le numéro du port du serveur de destination de la transmission utilisé pour la diffusion continue.

Réglages du format de proxy

Vous pouvez définir le format du fichier de proxy enregistré sur la carte SD du caméscope.

Vidéo

XAVC Proxy (AVC/H.264 Main Profile, 4:2:0 Long GOP)

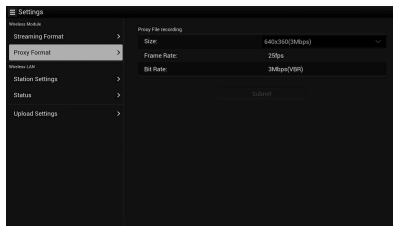
Vous pouvez sélectionner la taille parmi les réglages suivants.

Audio

Compression AAC-LC

Fréquence d'échantillonnage : 48 kHz

Débit binaire : 128 kbps pour la stéréo



« Size »

Réglez la taille et le débit binaire de la vidéo pour le fichier de proxy.

- « 1280 × 720 » : 9 Mbps (VBR)
- « 640 × 360 » : 3 Mbps (VBR)
- « 480 × 270 » : 1 Mbps (VBR)
- « 480 × 270 » : 0,5 Mbps (VBR)

Remarques

- Quand « Bit Rate » du réglage de la diffusion continue possède une valeur supérieure à « 6Mbps », il n'est pas possible de sélectionner « 9Mbps (VBR) ».

« Frame Rate »

Affiche la fréquence d'images de la vidéo.

- « 23.98 fps » : 23,975 ips
- « 25 fps » : 25 ips
- « 29.97 fps » : 29,97 ips
- « 50 fps » : 50 ips
- « 59.94 fps » : 59,94 ips

Remarques

- « 24 ips » n'est pas pris en charge.

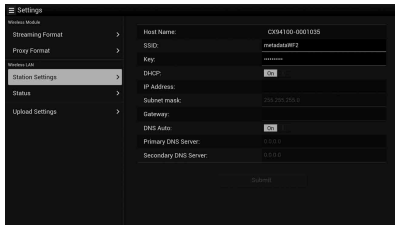
« Bit Rate »

Affiche le débit binaire de la vidéo.

- « 9 Mbps (VBR) » : 1280 × 720
- « 3 Mbps (VBR) » : 640 × 360
- « 1 Mbps (VBR) » : 480 × 270
- « 0.5 Mbps (VBR) » : 480 × 270

Réglages du LAN sans fil (Station Settings)

Vous pouvez procéder aux réglages de connexion à un LAN sans fil.



« Host Name »

Affiche le nom d'hôte du caméscope. (Ne peut pas être modifié).

« SSID »

Affiche le SSID sélectionné dans « Access Point ».

« Key »

Saisissez le mot de passe du point d'accès.

« DHCP »

Procédez au réglage du DHCP.

Lorsque vous le réglez sur « On », l'adresse IP est automatiquement assignée au caméscope.

Pour assigner manuellement l'adresse IP au caméscope, sélectionnez « Off ».

« IP Address »

Saisissez l'adresse IP du caméscope. Ce réglage est uniquement disponible si « DHCP » est réglé sur « Off ».

« Subnet mask »

Saisissez le masque de sous-réseau du caméscope. Ce réglage est uniquement disponible si « DHCP » est réglé sur « Off ».

« Gateway »

Saisissez la passerelle par défaut du point d'accès. Ce réglage est uniquement disponible si « DHCP » est réglé sur « Off ».

« DNS Auto »

Réglez la fonction d'obtention automatique du DNS.

« Primary DNS Server »

Saisissez le serveur DNS primaire du point d'accès. Ce réglage est uniquement disponible si « DNS Auto » est réglé sur « Off ».

Quand ce réglage a pour valeur « Off », vous devez l'obtenir manuellement.

« Secondary DNS Server »

Saisissez le serveur DNS secondaire du point d'accès. Ce réglage est uniquement disponible si « DNS Auto » est réglé sur « Off ».

« Submit »

Valide les réglages du LAN sans fil.

Pour établir la connexion au point d'accès en mode station sans la fonction WPS

1 Connectez le périphérique au caméscope en mode point d'accès (page 5).

2 Définissez les options de l'écran « Station Settings ».

Procédez aux réglages conformément aux réglages du point d'accès.

Pour plus de détails sur les réglages du point d'accès, reportez-vous au mode d'emploi du point d'accès.

3 Touchez « Submit ».

Les options définies sont validées.

4 Réglez le mode de fonctionnement LAN du caméscope sur le mode station Wi-Fi en réglant « Setting » sous « Network » dans le menu System sur « Wi-Fi Station ».

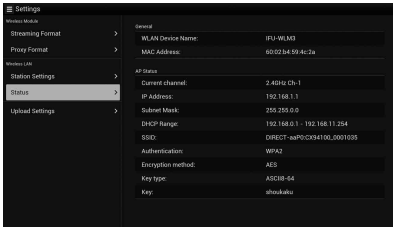
Le caméscope démarre la connexion en mode station. Accédez au caméscope à partir du périphérique en suivant la procédure de l'étape 7 de la section « Connexion au point d'accès grâce à la fonction WPS » (page 7).

Vérification des réglages du LAN sans fil

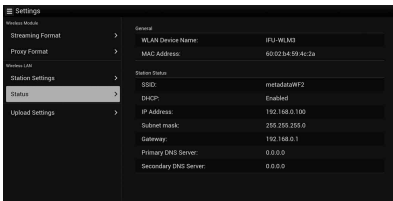
Affichez l'écran de vérification des réglages du LAN sans fil en touchant « Wireless LAN » > « Status ».

Les options affichées varient selon le mode LAN sans fil du caméscope.

Mode point d'accès



Mode station



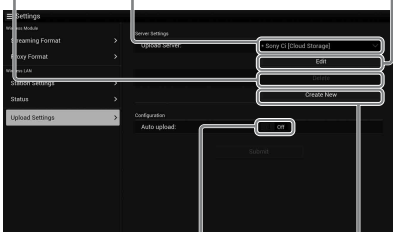
Réglages de téléversement

Vous pouvez enregistrer le serveur pour téléverser un fichier de proxy ou un fichier original enregistré sur le caméscope, ou modifier le réglage de serveur enregistré.

Supprimer le serveur enregistré.

Sélectionner le serveur.

Modifier les réglages du serveur.



Activer/Désactiver la fonction de téléversement automatique.

Enregistrer le serveur.

« Auto Upload On/Off »

Lorsque « Auto Upload On/Off » est réglé sur « On » et que le caméscope est connecté à Internet, il téléverse automatiquement un fichier de proxy vers le serveur défini en tant que serveur par défaut dans « Upload Setting » après l'enregistrement.

« Sony Ci » est réglé par défaut pour le serveur. Sony Ci correspond aux « Media Cloud Services » fournis par Sony. Vous pouvez téléverser des fichiers vers Sony Ci, le service sur le nuage de Sony.

Remarques

- Pour utiliser Sony Ci, une inscription est nécessaire. Pour plus de détails, visitez www.SonyMCS.com/wireless

Pour s'inscrire sur « Sony Ci »

1 Assurez-vous que « Sony Ci » est affiché dans l'écran « Upload Settings », puis touchez « Edit ».

L'écran de réglage de Sony Ci apparaît.

2 Saisissez le nom d'utilisateur sous « User » et le mot de passe sous « Password ».

Pour plus de détails, visitez www.SonyMCS.com/wireless

3 Touchez « Link ».

Après quelques instants, un message signale la fin de l'opération.

Remarques

- L'opération « Link » permet d'associer l'utilisateur au caméscope. Pour exécuter « Link », vous devez connecter le caméscope à Internet.

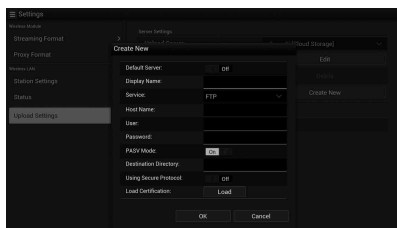
4 Touchez « OK ».

Remarques

- Après votre inscription sur Sony Ci, « Unlink » apparaît dans l'écran de réglage. Si vous touchez « Unlink », le compte utilisateur actuel est dissocié et vous pouvez alors en associer un autre.

Enregistrer le serveur pour le téléversement

L'écran de réglage apparaît si vous touchez « Create New ».



Pour appliquer le réglage, touchez « OK ». Pour annuler, touchez « Cancel ».

« Default Server »

Lorsque vous sélectionnez « On », le serveur est prioritaire pour afficher le nom de serveur dans la liste lors du téléversement.

« Display Name »

Saisissez le nom de serveur affiché dans la liste.

« Service »

Affiche le type de serveur.

« FTP » : serveur FTP

« Host Name »

Saisissez l'adresse du serveur.

« User »

Saisissez le nom d'utilisateur du serveur.

« Password »

Saisissez le mot de passe du serveur.

« PASV Mode »

Permet d'activer ou de désactiver le mode PASV.

« Using Secure Protocol »

Indiquez si vous exécutez ou non le téléversement sur FTP sécurisé.

« Load Certification »

Lit le certificat CA.

- Formatez le certificat lu au format PEM et stockez-le dans le répertoire racine d'une carte SD avec le nom de fichier « certification.pem ».

« Clear Certification »

Permet d'effacer le certificat CA.

Remarques

- La communication des données via FTP n'est pas cryptée. Nous recommandons d'utiliser FTPS.

Modification des réglages du serveur enregistré

Touchez « Edit » après avoir sélectionné le serveur dont vous souhaitez modifier les réglages dans l'écran « Upload Settings ». Modifiez les réglages à l'écran pour changer les réglages. Pour plus de détails sur les options de réglage, reportez-vous à la section « Enregistrer le serveur pour le téléversement » (page 19).

Suppression du serveur enregistré

Touchez « Delete » après avoir sélectionné le serveur que vous souhaitez supprimer dans l'écran « Upload Settings ». Lorsque le message de confirmation s'affiche, touchez « OK ». Le serveur sélectionné est supprimé et l'affichage revient à l'écran précédent.

FR

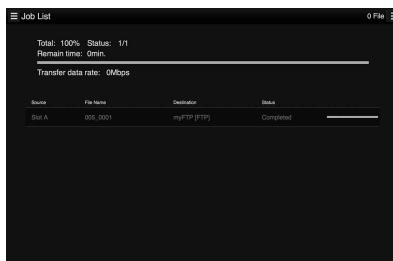
Vérification du transfert de fichier (Job List)

Vous pouvez vérifier la liste des fichiers à téléverser, vérifier le fichier en cours de téléversement, annuler ou démarrer le téléversement du fichier, et supprimer le fichier de la liste des fichiers.

Le caméscope est compatible avec la fonction de reprise de FTP (fonction de re-téléversement d'un fichier dont le transfert a été suspendu).

Remarques

- La fonction de reprise de FTP est uniquement disponible pour le serveur compatible.




- « Total » : progression de tous les fichiers à téléverser.
- « Status » : progression du fichier en cours de téléversement.
- « Remain Time » : durée restante du téléversement.

- « Transfer data rate » : indication du taux de transfert.

Pour annuler ou démarrer le téléversement, ou encore supprimer un fichier de la liste des fichiers

1 Sélectionnez le fichier dans la liste.

2 Touchez  en haut à droite de l'écran.

Sélectionnez l'option.

- « Abort selected » : annule le téléversement du fichier sélectionné.
- « Delete from list » : supprime le fichier sélectionné de la liste.
- « Start selected » : démarre le téléversement du fichier sélectionné.
- « Select All » : sélectionne tous les fichiers de la liste.
- « Clear completed » : supprime la liste de tous les fichiers téléversés.

Liste des menus de configuration

Les fonctions et les réglages disponibles dans les nouveaux menus sont répertoriés ci-dessous. Les réglages par défaut effectués en usine sont indiqués en gras (exemple : **Off**).

Recording		
Options de menu	Sous-options et valeurs de réglage	Contenu
Picture Cache Rec	Setting On / Off	Active/désactive la fonction de stockage dans le cache d'images.
Réglages de la fonction de stockage dans le cache d'images	Cache Rec Time XAVC-I / XAVC-L 0-2sec / 2-4sec / 4-6sec / 6-8sec MPEG HD422 / MPEG HD420 / DVCAM 0-2sec / 2-4sec / 4-6sec / 6-8sec / 8-10sec / 10-12sec / 12-14sec / 13-15sec	Définit la durée de stockage du cache d'images.

FR

Paint		
Options de menu	Sous-options et valeurs de réglage	Contenu
White	Filter White Memory On / Off	Active/désactive la fonction de mémoire de la balance des blancs du filtre.
Réglages pour la balance des blancs		

System		
Options de menu	Sous-options et valeurs de réglage	Contenu
Network (PXW-X180 uniquement) Réglages de la connexion réseau et des différentes options d'affichage correspondantes	NFC Execute / Cancel	Permet d'activer la fonction NFC. Lorsque « Execute » est sélectionné, la fonction NFC s'active et « Setting » est temporairement réglé sur « Wi-Fi Access Point » et le caméscope passe en mode veille pour NFC. Lorsque « Cancel » est sélectionné, les réglages précédents sont rétablis.
	Setting Wi-Fi Access Point / Wi-Fi Station / Modem / Off	Permet de régler le mode de fonctionnement de la connexion réseau.
		Remarques
		<ul style="list-style-type: none"> Quand vous utilisez l'adaptateur USB-RJ45, sélectionnez « Modem ».
	Channel Auto / CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13	Permet de régler le canal du LAN sans fil.
	SSID & Password	Affiche le SSID et le mot de passe du LAN sans fil.
	WPS Execute / Cancel	Démarre Wi-Fi Protected Setup (WPS).

System		
Options de menu	Sous-options et valeurs de réglage	Contenu
Network	Device Name	Affiche le nom du périphérique réseau que vous utilisez.
	IP Address	Affiche l'adresse IP du caméscope.
	Subnet Mask	Affiche le masque de sous-réseau du caméscope.
	MAC Address	Affiche l'adresse MAC du module LAN sans fil du caméscope.
	Regenerate Password Execute / Cancel	Régénère le mot de passe. Execute : exécute cette fonction.
Streaming (PXW-X180 uniquement) Réglages de la diffusion continue réseau et des différentes options d'affichage correspondantes	Setting	Active/désactive la fonction de transmission de la diffusion continue. Remarques <ul style="list-style-type: none"> Ce réglage se désactive à la prochaine mise sous tension. La fonction de surveillance n'est pas disponible quand vous activez la diffusion continue.
	Preset Select	Permet de sélectionner le préréglage de la diffusion continue.
	Preset1 Size (HD Auto / 1280 × 720 / 640 × 360 / 480 × 270) Bit Rate (9Mbps / 6Mbps / 3Mbps / 2Mbps / 1Mbps / 0.5Mbps)	Permet de définir la taille d'image de la diffusion continue. Quand vous sélectionnez « HD Auto », la taille est fixée à « 1920 × 1080 » ou « 1280 × 720 » selon le réglage du format d'enregistrement enregistré sur la carte mémoire SxS ou du format du plan en cours de lecture. Permet de définir le débit binaire de la vidéo diffusée en continu. Le débit binaire sélectionnable varie selon la valeur de réglage de « Size ». Remarques <ul style="list-style-type: none"> Des fuites de données sont possibles puisque les données vidéo/audio sont transférées via Internet. Assurez-vous que la destination de la transmission est en mesure de recevoir les données diffusées en continu. Une erreur de définition de l'adresse peut entraîner l'envoi fortuit des données à des tiers. Selon l'état du réseau, il est possible que toutes les images ne puissent pas être lues. La qualité d'image peut s'altérer dans les scènes qui présentent des mouvements excessifs. Il est possible que toutes les images ne soient pas lues quand le flux est réglé sur une taille élevée alors que le débit binaire est faible. Pour y remédier, sélectionnez une taille réduite sous « Size ». Quand « Bit Rate » (<i>page 16</i>) du réglage du format de proxy a pour valeur « 9Mbps (VBR) » : <ul style="list-style-type: none"> « Bit Rate » du réglage du flux ne peut pas être avoir une valeur supérieure à « 6Mbps ». Quand vous sélectionnez un préréglage pour lequel « Bit Rate » possède une valeur supérieure à « 6Mbps », « Bit Rate » du réglage de la diffusion continue est automatiquement remplacé par « 3Mbps ».

System		
Options de menu	Sous-options et valeurs de réglage	Contenu
Streaming	Type (MPEG-2 TS/UDP / MPEG-2 TS/RTP)	Permet de sélectionner le type de la vidéo diffusée en continu.
	Destination Address (Chaîne de caractères. 0.0.0.0)	Saisissez l'adresse du serveur de la transmission de la diffusion continue.
	Destination Port (1 à 65545. 1234)	Saisissez le numéro du port du serveur de destination utilisé pour la diffusion continue.
	Preset2	
	Preset3	

Annexe

Les informations suivantes complètent le Mode d'emploi du caméscope fourni avec l'appareil.

Remarques sur l'enregistrement

Quand le témoin d'accès est allumé ou clignote en rouge, le caméscope lit ou écrit des données sur le support d'enregistrement. Ne secouez pas le caméscope et ne le soumettez pas à une force élevée, ne le mettez pas hors tension et ne retirez pas le support d'enregistrement, la batterie ou l'adaptateur secteur. Sinon, les données d'image risquent d'être détruites.

Gestion des fichiers d'image sur un ordinateur

- Il n'est pas possible de lire des données d'image que vous avez modifiées sur un ordinateur ou dont vous avez changé les noms de fichier ou les dossiers (Le nom de fichier clignote quand vous regardez des images fixes.) Il ne s'agit pas d'un dysfonctionnement.
- Si vous supprimez les fichiers de gestion des images sur un ordinateur, il n'est plus possible d'enregistrer/lire correctement les images. Par défaut, le fichier de gestion des images est masqué et n'est donc normalement pas affiché.

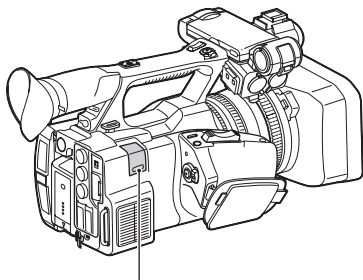
Deutsch

Der Camcorder wurde durch das Firmware-Update mit neuen Funktionen ausgestattet. Die neuen Funktionen des Camcorders PXW-X180/PXW-X160 mit dem Firmware-Upgrade „Ver. 2.0“ und deren Verwendung werden in diesem Dokument beschrieben. Schlagen Sie bitte auch in der Bedienungsanleitung zu dem Camcorder nach.

Lage und Funktion der Teile und Bedienelemente

Im Folgenden werden nur die neuen Funktionen beschrieben.

Gehäuse



Einzuteil für USB-WLAN-Modul (nur PXW-X180) (5, 9)

Wenn Sie das USB-WLAN-Modul IFU-WLM3 (mitgeliefert), ein Modem (gesondert erhältlich) oder den mit dem Netzwerkadapter CBK-NA1 (gesondert erhältlich) gelieferten USB-RJ45-Adapter am Camcorder anbringen, können Sie eine Verbindung mit WLAN-Geräten oder einem Netzwerk herstellen.

Statusbildschirm

Auf dem „Statusbildschirm“ wurde die Option „Wi-Fi (nur PXW-X180)“ des „Systemstatusbildschirms“ durch den neuen „Netzwerkstatusbildschirm“ ersetzt.

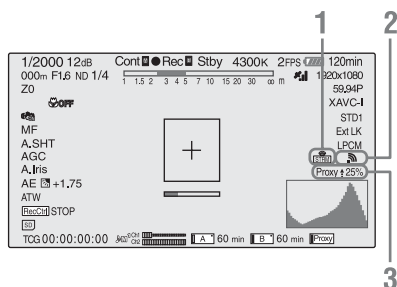
Netzwerkstatusbildschirm

Die Einstellungen bzw. der Status des Netzwerks werden angezeigt.

Setting	Status der Netzwerkeinstellungen.
Device Name	Name des Geräts, das am Einzuteil für das USB-WLAN-Modul angebracht ist.
IP Address	IP-Adresse des Camcorders.
Streaming Status	Status der Streaming-Übertragung.
Streaming Size	In den Streaming-Einstellungen aktuell ausgewählte Bildgröße.
Streaming Bit Rate	In den Streaming-Einstellungen aktuell ausgewählte Bitrate.
Streaming Type	In den Streaming-Einstellungen aktuell ausgewählter Typ.
Streaming Dest. Add.	Zieladresse für die Streaming-Übertragung.
Streaming Dest. Port	Zielport für die Streaming-Übertragung.

LCD-/Sucherbildschirm

Während der Aufnahme angezeigte Informationen



1. Streaming-Status (nur PXW-X180)

Hier wird der Streaming-Status angezeigt.

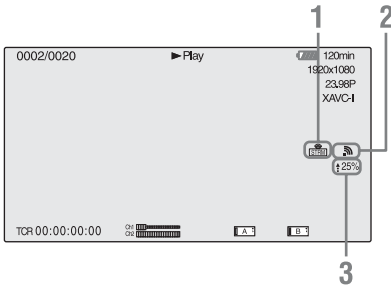
2. Status der Netzwerkverbindung (nur PXW-X180)

Diese Anzeige erscheint, wenn das Netzwerk aktiviert ist.

3. Proxy-Status (nur PXW-X180)

Der Einstellstatus der Proxy-Aufnahme und der Übertragungsstatus von Proxy-Dateien werden angezeigt.

Auf dem Wiedergabebildschirm angezeigte Informationen



1. **Streaming-Status** (nur PXW-X180)
2. **Status der Netzwerkverbindung** (nur PXW-X180)
3. **Proxy-Hochladestatus** (nur PXW-X180)
Der Übertragungsstatus von Proxy-Dateien wird angezeigt.

Bildpufferaufnahme

Der Camcorder verfügt über ausreichend internen Speicher zur Zwischenspeicherung von bis zu 15 Sekunden an Video- und Audiodaten in einem Bildpuffer. So können Sie eine bestimmte Anzahl an Sekunden vor dem Starten der Aufnahme durch Drücken einer Aufnahmetaste mit aufzeichnen.

Auswählen des Bildpuffermodus/ Einstellen der Bildpufferzeit

Bevor Sie im Bildpuffermodus aufnehmen, müssen Sie im Recording-Menü (*Seite 21*) den Bildpuffermodus aktivieren und die Bildpufferzeit auswählen, während der das Bild zwischengespeichert wird.

Die Bildpufferzeit legt fest, wie viele Sekunden vor dem Vorgang, durch den die Aufnahme gestartet wird, mit aufgezeichnet werden können. Beachten Sie, dass es in den in den folgenden Hinweisen erläuterten Sonderfällen unter Umständen nicht möglich ist, so viele Sekunden vor dem Aufnahmestart mit aufzuzeichnen.

Hinweise

- Das Speichern der Bilddaten im Pufferspeicher beginnt, sobald Sie den Bildpuffermodus auswählen. Wenn Sie also unmittelbar nach Auswahl des Bildpuffermodus die Aufnahme starten, stehen noch keine Bilddaten zur Verfügung, die aufgenommen werden können.
- Während der Wiedergabe, der Aufnahmerückschau und der Miniaturbildanzeige werden keine Daten im Bildpufferspeicher aufgezeichnet. Bilddaten aus der Zeit, in der die Wiedergabe oder die Aufnahmerückschau ausgeführt wurde, können nicht aufgezeichnet werden.

Einstellen des Bildpuffermodus/ der Bildpufferzeit

Hinweise

- Die Bildpufferaufnahme steht im Modus Slow & Quick Motion und Clip Continuous Rec nicht zur Verfügung. Bei aktivierter Bildpufferaufnahme stehen Slow & Quick Motion und Clip Continuous Rec nicht zur Verfügung.
Wenn Slow & Quick Motion oder Clip Continuous Rec aktiviert ist, wird der Bildpuffermodus automatisch deaktiviert.
- Die Daten im Bildpufferspeicher werden gelöscht, wenn Sie die Systemeinstellungen ändern, indem Sie zum Beispiel ein anderes Videoformat auswählen. Die Bilddaten vor der Änderung werden nicht aufgezeichnet, auch wenn Sie die Aufnahme unmittelbar nach der Änderung starten. Der Bildpuffermodus wird automatisch deaktiviert.
- Während der Aufnahme kann die Bildpufferzeit nicht eingestellt werden.
- AVCHD wird nicht unterstützt.

1 Wählen Sie „Picture Cache Rec“ > „On“ > „Setting“ im Recording-Menü.
Näheres zur Verwendung des Menüs finden Sie unter „Funktionen im Einstellmenü“ in der Bedienungsanleitung.

2 Wählen Sie mit „Cache Rec Time“ unter „Picture Cache Rec“ die Bildpufferzeit aus.

Der ausgewählte Bildpuffermodus bleibt aktiviert, bis Sie ihn ändern.

Verwenden der frei belegbaren Tasten

Sie können die Bildpufferaufnahme einer frei belegbaren Taste zuweisen. Näheres zum Zuweisen finden Sie unter „Frei belegbare Tasten“ in der Bedienungsanleitung. Drücken Sie zum Aktivieren des Bildpuffermodus die zugewiesene Taste.

Handhabung der Daten auf dem Camcorder während der Aufnahme im Bildpuffermodus

Das Aufnahmeverfahren ist im Bildpuffermodus prinzipiell mit dem bei der normalen Aufnahme identisch. Beachten Sie jedoch die folgenden Unterschiede bezüglich der Handhabung von Video-, Zeit- und Ausgabedaten auf dem Camcorder.

- Wenn Sie die Aufnahme starten, während auf das Medium zugegriffen wird, liegt der Startpunkt des tatsächlich aufgenommenen Videos eventuell hinter der aktuell festgelegten Bildpufferzeit. Da die Verzögerung mit der Anzahl der aufgezeichneten Clips zunimmt, sollten Sie es im Bildpuffermodus vermeiden, die Aufnahme schnell hintereinander zu starten und zu stoppen.
- Der eingebaute Timecode-Generator zählt unabhängig von der Einstellung für „Run“ unter „Timecode“ im TC/UB-Menü immer im Modus „Free Run“ weiter.
- Im Bildpuffermodus können Sie keine Zeitdaten einstellen. Zum Einstellen von Zeitdaten müssen Sie den Bildpuffermodus beenden.
- Vor dem Starten der Aufnahme gesetzte Szenenmarkierungen werden nicht aufgenommen.

Bei Unterbrechung der Stromversorgung während der Aufnahme

- Wenn Sie den Schalter ON/STANDBY am Camcorder auf STANDBY stellen, schaltet sich der Camcorder erst nach einigen Sekunden automatisch aus, weil zunächst auf das Medium zugegriffen wird, um die bis zu diesem Zeitpunkt im Camcorder zwischengespeicherten Video- und Audiodaten aufzuzeichnen.
- Wenn die Stromversorgung unterbrochen wird, weil der Akku abgenommen, das Gleichstromkabel getrennt oder die Stromversorgung zum Netzteil ausgeschaltet wird, gehen die zwischengespeicherten Video- und Audiodaten verloren. Die zwischengespeicherten Daten werden nicht aufgezeichnet. Achten Sie beim Wechseln des Akkus darauf, dies zu vermeiden.

Weißwertspeicher je nach ND-Filterposition

Der Weißwert wird automatisch je nach Position des ND-Filters und der Einstellung des Schalters WHT BAL (A oder B) im Camcorder gespeichert. Bei diesem Camcorder gibt es fünf ND-Filterpositionen (CLEAR, PRESET 1 bis 3 und VARIABLE), so dass in Kombination mit der Schaltereinstellung A oder B zehn Einstellwerte zur Verfügung stehen.

Einstellungen für Filter/Weißspeicher

Wählen Sie „On“ unter „Filter White Memory“ im Paint-Menü (*Seite 21*).

Wenn „Off“ ausgewählt ist, steht bei der Schaltereinstellung A und B jeweils nur ein Speicher zur Verfügung und der Speicher ist nicht mit der ND-Filterposition verknüpft.

Herstellen einer Verbindung mit einem anderen Gerät über WLAN (nur PXW-X180)

Sie können eine WLAN-Verbindung zwischen dem Camcorder und einem Gerät wie einem Smartphone oder einem Tablet herstellen, wenn Sie das mitgelieferte USB-WLAN-Modul IFU-WLM3 anbringen.

Hinweise

- Sie können kein anderes USB-WLAN-Modul als das IFU-WLM3 verwenden.

Wenn Sie eine WLAN-Verbindung zwischen einem anderen Gerät und dem Camcorder herstellen, haben Sie die folgenden Möglichkeiten.

• **Fernsteuerung über ein WLAN**

Sie können den Camcorder von einem Smartphone, Tablet oder Computer aus steuern, das bzw. der über das WLAN mit dem Camcorder verbunden ist.

• **Prüfung von Videosignalen über ein WLAN**

Sie können aus den Video-/Audiodateien eines Camcorders einen Stream (H.264) erstellen und den Video-/Audiostream über die Anwendung „Content Browser Mobile“, die auf einem Smartphone oder Tablet installiert ist, über das WLAN prüfen.

Anwendung „Content Browser Mobile“

Mit der Anwendung „Content Browser Mobile“ können Sie den Camcorder fernsteuern, während Audio-/Videodateien des Camcorders geprüft werden, und die Einstellungen des Camcorders vornehmen.

Für Einzelheiten zur Anwendung „Content Browser Mobile“ wenden Sie sich an Ihren Sony-Händler oder einen Sony-Kundendienstmitarbeiter.

Kompatible Geräte

Sie können den Camcorder mit einem Smartphone, Tablet oder Computer einstellen und bedienen. Folgende Geräte, Betriebssysteme und Browser sind kompatibel.

Gerät	Betriebssystem	Browser
Smartphone	Android 4.4	Chrome
	iOS 8	Safari
Tablet	Android 4.4	Chrome
	iOS 8	Safari
Computer	Microsoft	Chrome
	Windows 7/	
	Microsoft	Safari
	Windows 8	
	Mac OS 10.9/	
	10.10	

Anbringen des IFU-WLM3

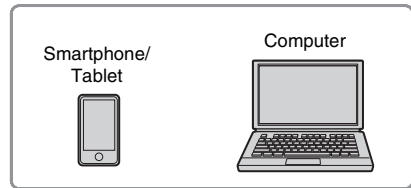
- 1 Öffnen Sie die Abdeckung des Einzugsteils für das USB-WLAN-Modul (Seite 2).
- 2 Setzen Sie das IFU-WLM3 in den USB-Anschluss ein.
- 3 Schließen Sie die Abdeckung.

Hinweise

- Setzen Sie beim Anbringen bzw. Abnehmen des IFU-WLM3 „Setting“ unter „Proxy Recording Mode“ im Recording-Menü und „Setting“ unter „Network“ im System-Menü auf „Off“ oder schalten Sie den Camcorder aus.

Herstellen der Verbindung mit dem WLAN-Zugangspunktmodus

Der Camcorder fungiert als Zugangspunkt und stellt eine Verbindung zu einem Gerät über ein WLAN her.

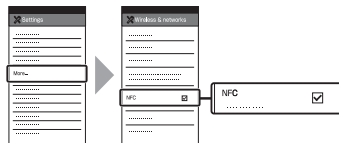


DE

Schnelles Herstellen einer Verbindung mit einem NFC-kompatiblen Gerät

Sie können mit der NFC-Funktion die Verbindung zwischen dem Camcorder und einem NFC-kompatiblen Gerät schnell und einfach herstellen.

- 1 Rufen Sie „Settings“ an dem anderen Gerät auf, wählen Sie „Other Settings“ und aktivieren Sie das Kontrollkästchen „NFC“.



- 2 Schalten Sie den Camcorder ein.

3 Aktivieren Sie die NFC-Funktion.

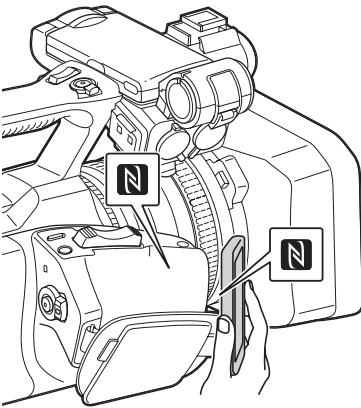
Schalten Sie den Camcorder in den NFC-Verbindungsmodus, indem Sie die Taste ASSIGN 3/NFC gedrückt halten (3 Sekunden lang), oder aktivieren Sie „NFC“ unter „Network“ im System-Menü. Die NFC-Funktion steht zur Verfügung, solange **N** auf dem Bildschirm erscheint.

Hinweise

- Es kann etwas dauern (30 bis 60 Sekunden lang), bis **N** auf dem Bildschirm erscheint. Warten Sie, bis die blinkende Anzeige „AP“ für den WLAN-Verbindungsstatus auf dem LCD-/Sucherbildschirm (Seite 2) zu sehen ist.

4 Halten Sie das Smartphone nahe an den Camcorder.

Die Verbindung zum Smartphone wird hergestellt und „Content Browser Mobile“ wird gestartet.



Hinweise

- Deaktivieren Sie vorab die Ruhelfunktion oder die Bildschirmsperre am Smartphone.
- Halten Sie das Gerät nahe an den Camcorder und bewegen Sie es nicht, bis „Content Browser Mobile“ gestartet wird (1 bis 2 Sekunden).

Herstellen der Verbindung mit einem WPS-kompatiblen Gerät

Sie können die Verbindung zwischen dem Camcorder und einem WPS-kompatiblen Gerät mit der WPS-Funktion herstellen.

1 Stellen Sie am Camcorder als Netzwerkbetriebsmodus den Wi-Fi-Zugangspunktmodus ein, indem Sie „Setting“ unter „Network“ im System-Menü auf „Wi-Fi Access Point“ setzen.

Hinweise

- Es kann etwas dauern (30 bis 60 Sekunden lang), bis sich der Camcorder im Wi-Fi-Zugangspunktmodus befindet. Warten Sie, bis die blinkende Anzeige „AP“ für den Netzwerkverbindungsstatus auf dem LCD-/Sucherbildschirm (Seite 2) zu sehen ist.

2 Aktivieren Sie „WPS“ unter „Network“ im System-Menü.

3 Wählen Sie am anderen Gerät „Network Setting“ > „Wi-Fi Setting“ und aktivieren Sie dann „Wi-Fi“.

4 Wählen Sie am anderen Gerät die SSID des Camcorders aus der SSID-Liste unter „Wi-Fi Network“ und dann „WPS Push Button“ unter „Option“ aus.

Hinweise

- Das Verfahren hängt vom jeweiligen Gerät ab.

5 Starten Sie den Browser am anderen Gerät und rufen Sie „http://192.168.1.1:8080/index.html“ auf.

Der Bildschirm zum Eingeben von „User Name“ und „Password“ erscheint.

6 Geben Sie den Benutzernamen und das Passwort ein und wählen Sie dann „OK“.

Informationen zu Benutzername und Passwort für die Zugriffsauthentifizierung finden Sie unter „Basic Authentication“ im System-Menü. Näheres finden Sie unter „System-Menü“ in der Bedienungsanleitung.

Herstellen der Verbindung durch Eingabe von SSID und Passwort am anderen Gerät

Sie können die Verbindung zwischen dem Camcorder und einem anderen Gerät herstellen, indem Sie am anderen Gerät eine SSID und ein Passwort eingeben.

1 Stellen Sie am Camcorder als Netzwerkbetriebsmodus den Wi-Fi-Zugangspunktmodus ein, indem Sie „Setting“ unter „Network“ im System-Menü auf „Wi-Fi Access Point“ setzen.

Hinweise

- Es kann etwas dauern (30 bis 60 Sekunden lang), bis sich der Camcorder im Wi-Fi-Zugangspunktmodus befindet. Warten Sie, bis die blinkende Anzeige „AP“ für den Netzwerkverbindungsstatus auf dem LCD-/Sucherbildschirm (Seite 2) zu sehen ist.

2 Wählen Sie am anderen Gerät „Network Setting“ > „Wi-Fi Setting“ und aktivieren Sie dann „Wi-Fi“.

3 Verbinden Sie das Gerät mit dem Camcorder, indem Sie die SSID des Camcorders aus der SSID-Liste unter „Wi-Fi Network“ auswählen und das Passwort am anderen Gerät eingeben.

Informationen zu SSID und Passwort des Camcorders finden Sie unter „SSID & Passwort“ unter „Network“ im System-Menü (Seite 21).

Hinweise

- Das Verfahren hängt vom jeweiligen Gerät ab.

4 Starten Sie den Browser am anderen Gerät und rufen Sie „http://192.168.1.1:8080/index.html“ auf.

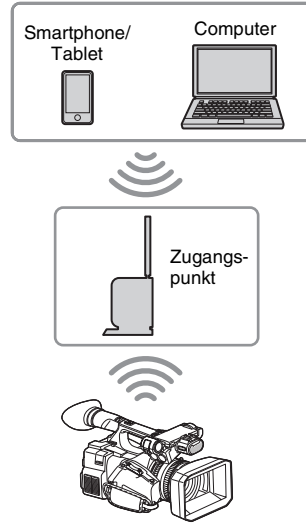
Der Bildschirm zum Eingeben von „User Name“ und „Password“ erscheint.

5 Geben Sie den Benutzernamen und das Passwort ein und wählen Sie dann „OK“.

Informationen zu Benutzername und Passwort für die Zugriffsauthentifizierung finden Sie unter „Basic Authentication“ im System-Menü. Näheres finden Sie unter „System-Menü“ in der Bedienungsanleitung.

Herstellen der Verbindung mit dem WLAN-Stationsmodus

Der Camcorder stellt eine Verbindung zu einem vorhandenen Zugangspunkt des WLAN als Client her. Der Camcorder und das andere Gerät werden über den Zugangspunkt verbunden.



Herstellen der Verbindung zum Zugangspunkt mit der WPS-Funktion

Wenn der Zugangspunkt mit der WPS-Funktion kompatibel ist, können Sie die Verbindung zum Zugangspunkt mit einfachen Einstellungen herstellen. Wenn der Zugangspunkt nicht mit der WPS-Funktion kompatibel ist, lesen Sie unter „So stellen Sie die Verbindung zum Zugangspunkt im Stationsmodus ohne WPS-Funktion her“ (Seite 17) nach.

- 1 Schalten Sie den Zugangspunkt ein.**
- 2 Schalten Sie den Camcorder ein.**
- 3 Stellen Sie am Camcorder als Netzwerkbetriebsmodus den Wi-Fi-Stationsmodus ein, indem Sie „Setting“ unter „Network“ im System-Menü auf „Wi-Fi Station“ setzen.**

Hinweise

- Es kann etwas dauern (30 bis 60 Sekunden lang), bis sich der Camcorder im Wi-Fi-Stationsmodus befindet. Warten Sie, bis die blinkende Signalstatusanzeige für den WLAN-Netzwerkverbindungsstatus auf dem LCD-/Sucherbildschirm (Seite 2) zu sehen ist.

4 Aktivieren Sie „WPS“ unter „Network“ im System-Menü.

5 Drücken Sie die WPS-Taste am Zugangspunkt.

Informationen zum Betätigen der WPS-Taste finden Sie in der Bedienungsanleitung zum Zugangspunkt.

Wenn die Verbindung hergestellt wurde, leuchtet die Signalstatusanzeige für den WLAN-Verbindungsstatus (*Seite 2*) mit einer Stärke von mehr als 1.

Hinweise

- Wenn die Verbindung fehlschlägt, führen Sie die Schritte ab Schritt 1 erneut aus.

6 Verbinden Sie das andere Gerät mit dem Zugangspunkt.

Informationen zum Herstellen der Verbindung finden Sie in der Bedienungsanleitung zum anderen Gerät.

7 Starten Sie den Browser am anderen Gerät und rufen Sie „http://<IP-Adresse, die der Zugangspunkt dem Camcorder zuweist>:8080/index.html“ auf.

Informationen zur IP-Adresse des Camcorders finden Sie unter „IP Address“ unter „Network“ im System-Menü. Der Bildschirm zum Eingeben von „User Name“ und „Password“ erscheint.

8 Geben Sie den Benutzernamen und das Passwort ein und wählen Sie dann „OK“.

Das Web-Menü des Camcorders erscheint im Browser. Einzelheiten dazu finden Sie unter „Informationen zum Web-Menü (nur PXW-X180)“ (*Seite 14*).

Informationen zu Benutzername und Passwort für die Zugriffsauthentifizierung finden Sie unter „Basic Authentication“ im System-Menü.

Herstellen einer Verbindung mit dem Internet (nur PXW-X180)

Sie können den Camcorder mit dem Internet verbinden, wenn Sie ein gesondert erhältliches Modem, das USB-WLAN-Modul IFU-WLM3 (mitgeliefert) oder den mit dem gesondert erhältlichen Netzwerkadapter-Kit CBK-NA1 gelieferten USB-RJ45-Adapter am Camcorder anbringen.

Herstellen der Verbindung über ein Modem

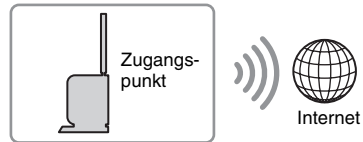
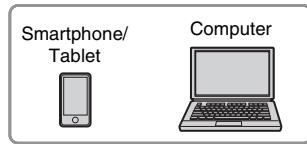
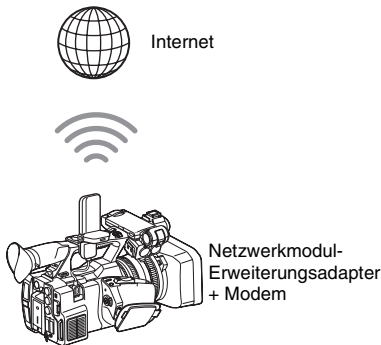
Sie können den Camcorder über ein 3G-/4G-Netzwerk mit dem Internet verbinden, wenn Sie ein gesondert erhältliches Modem an das Gerät anschließen.

Anbringen des Modems am Camcorder

1 Öffnen Sie die Abdeckung des Einzuteils für das USB-WLAN-Modul (*Seite 2*).

2 Bringen Sie den mit dem gesondert erhältlichen Netzwerkadapter-Kit CBK-NA1 gelieferten Netzwerkmodul-Erweiterungsadapter am Camcorder an.

Verbinden Sie den erhabenen Anschluss mit dem Anschluss für das USB-WLAN-Modul am Camcorder und den eingelassenen Anschluss mit dem Modem. Sie können den Adapter an der Schraubenbohrung (1/4 Zoll) der Montagestelle für den Zuhörerschuh anbringen.



3 Bringen Sie das Modem am Netzwerkmodul-Erweiterungsadapter an.

Hinweise

- Führen Sie eine der folgenden Aktionen aus, wenn Sie das Modem am Camcorder anbringen bzw. davon abnehmen:
 - Setzen Sie „Setting“ unter „Proxy Recording Mode“ im Recording-Menü und „Setting“ unter „Network“ im System-Menü auf „Off“.
 - Schalten Sie den Camcorder aus.

Herstellen der Verbindung

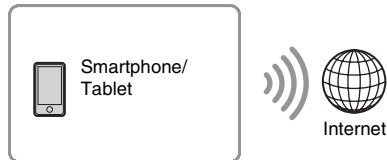
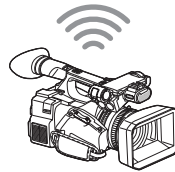
1 Stellen Sie am Camcorder als Netzwerkbetriebsmodus den Modemmodus ein, indem Sie „Setting“ unter „Network“ im System-Menü auf „Modem“ setzen.

Hinweise

- Es kann etwas dauern (30 bis 60 Sekunden lang), bis sich der Camcorder im Modemmodus befindet. Warten Sie, bis die blinkende Anzeige „3G/4G“ für den Netzwerkverbindungsstatus auf dem LCD-/Sucherbildschirm (*Seite 2*) zu sehen ist.

Herstellen der Verbindung mit dem WLAN-Wi-Fi-Stationsmodus

Sie können den Camcorder im Wi-Fi-Stationsmodus mit dem Internet verbinden, wenn Sie das USB-WLAN-Modul IFU-WLM3 (mitgeliefert) anbringen, einen gesondert erhältlichen 3G-/4G-/LTE-Zugangspunkt verwenden oder den Camcorder per Tethering mit einem Gerät verbinden.



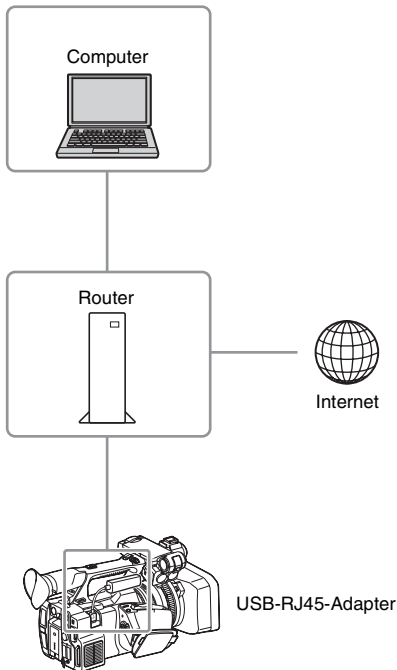
Herstellen der Verbindung

Wenn der Zugangspunkt oder das andere Gerät mit der WPS-Funktion kompatibel ist, verbinden Sie den Camcorder mit dem Internet, wie in den Schritten unter *„Herstellen der Verbindung zum Zugangspunkt mit der WPS-Funktion“* (*Seite 7*) erläutert. Wenn der Zugangspunkt oder das andere Gerät nicht mit der WPS-Funktion kompatibel ist, verbinden Sie den Camcorder mit dem Internet, wie in den Schritten unter *„So stellen Sie die Verbindung zum Zugangspunkt im Stationsmodus ohne WPS-Funktion her“* (*Seite 17*) erläutert.

Schalten Sie vor dem Herstellen der Verbindung den Zugangspunkt bzw. das andere Gerät ein und aktivieren Sie dessen Tethering-Funktion.

Herstellen einer Verbindung mit dem Internet über ein LAN-Kabel

Sie können den Camcorder über an einen Internet-Router angeschlossene LAN-Kabel mit dem Internet verbinden, wenn Sie den mit dem gesondert erhältlichen Netzwerkadapter-Kit CBK-NA1 gelieferten USB-RJ45-Adapter anbringen.



Anbringen des USB-RJ45-Adapters am Camcorder

- 1 Öffnen Sie die Abdeckung des Einzuteils für das USB-WLAN-Modul (*Seite 2*).
- 2 Bringen Sie den USB-RJ45-Adapter am Camcorder an.
Näheres dazu finden Sie in der Installationsanleitung zum Netzwerkadapter-Kit.

Hinweise

- Führen Sie eine der folgenden Aktionen aus, wenn Sie den USB-RJ45-Adapter am Camcorder anbringen bzw. davon abnehmen:
 - Setzen Sie „Setting“ unter „Proxy Recording Mode“ im Recording-Menü und „Setting“ unter „Network“ im System-Menü auf „Off“.
 - Schalten Sie den Camcorder aus.

Herstellen der Verbindung

- 1 Stellen Sie am Camcorder als **Netzwerkbetriebsmodus den Modemmodus ein, indem Sie „Setting“ unter „Network“ im System-Menü auf „Modem“ setzen.**

Hinweise

- Es kann etwas dauern (30 bis 60 Sekunden lang), bis sich der Camcorder im Modus für verkabeltes LAN befindet. Warten Sie, bis die blinkende Anzeige „3G/4G“ für den Netzwerkverbindungsstatus auf dem LCD-/Sucherbildschirm (*Seite 2*) zu sehen ist.
- Wenn Sie den Camcorder über ein LAN-Kabel anschließen, werden auf dem Monitor die gleichen Menüoptionen und Informationen wie bei Anschluss des Camcorders über ein Modem angezeigt.

Hochladen einer Datei (nur PXW-X180)

Sie können eine Proxy-Datei oder eine Originaldatei, die auf dem Camcorder aufgenommen wurde, über eine 3G/4G/LTE-Verbindung oder einen Zugangspunkt zum Server im Internet hochladen.

Vorbereitungen

So stellen Sie die Verbindung mit dem Internet her

Verbinden Sie den Camcorder mit dem Internet, wie in den Schritten unter „Herstellen einer Verbindung mit dem Internet (nur PXW-X180)“ (*Seite 8*) erläutert.

So registrieren Sie den Server für das Hochladen

Registrieren Sie vorab den Server für das Hochladen.

Näheres zum Registrieren des Servers finden Sie unter „Registrieren des Servers für das Hochladen“ (Seite 19).

Auswählen der Datei und Hochladen

Laden Sie die auf einer SD-Karte aufgezeichnete Proxy-Datei oder die auf einer SxS-Speicherkarte aufgenommene Originaldatei auf den Server hoch.

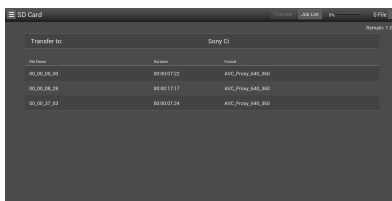
Hochladen einer Proxy-Datei auf einer SD-Karte

1 Stellen Sie über ein WLAN eine Verbindung zwischen dem Camcorder und einem anderen Gerät her, starten Sie den Browser auf dem anderen Gerät und greifen Sie von dem Browser aus auf den Camcorder zu (Seite 4).

2 Rufen Sie zum Auswählen der Datei den Dateilistenbildschirm auf.

Berühren Sie „☰“ > „Media Info“ > „SD Card“.

Der Bildschirm „SD Card“ erscheint.



3 Wählen Sie die Datei aus.

Berühren Sie die Datei, um sie auszuwählen. Zum Abbrechen berühren Sie die Datei erneut.

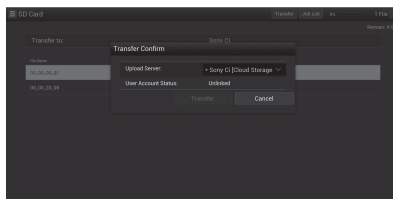
Sie können die Datei prüfen, indem Sie sie zum Wiedergeben zweimal schnell hintereinander berühren.

4 Berühren Sie „Transfer“.

Der Server, den Sie mit „Default Server“ unter „Registrieren des Servers für das Hochladen“ (Seite 19) als Standardserver festgelegt haben, erscheint.

Zum Wechseln des Servers berühren Sie den Server, um die Serverliste aufzurufen, und wählen dann einen Server aus.

Geben Sie gegebenenfalls das Verzeichnis für den Server in „Directory“ ein.



5 Berühren Sie „Transfer“.

Der Camcorder beginnt, die ausgewählte Datei hochzuladen.

Wenn Sie das Hochladen abbrechen wollen, berühren Sie „Cancel“.

DE

Hochladen einer Originaldatei auf einer SxS-Speicherkarte

1 Stellen Sie über ein WLAN eine Verbindung zwischen dem Camcorder und einem anderen Gerät her, starten Sie den Browser auf dem Terminal-Gerät und greifen Sie von dem Browser aus auf den Camcorder zu (Seite 4).

2 Schalten Sie den Camcorder in den Dateiübertragungsmodus.

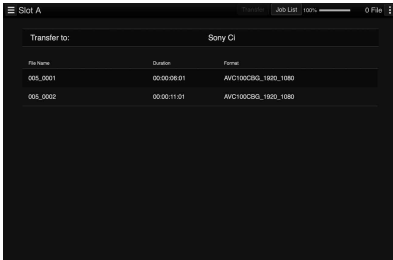
Führen Sie „File Transfer“ unter „File Transfer“ im System-Menü aus, um den Camcorder in den dedizierten Modus zum Hochladen der Originaldatei zu schalten.

3 Rufen Sie zum Auswählen der Datei den Dateilistenbildschirm auf.

Berühren Sie auf dem Browserbildschirm des Geräts „☰“ > „Media Info“ > „Slot A“ (bei einer Speicherkarte in Einschub A) oder „Slot B“ (bei einer Speicherkarte in Einschub B).

Der Bildschirm „Slot A“ oder „Slot B“ erscheint.

Beispiel: Bildschirm „Slot A“



4 Wählen Sie die Datei aus.

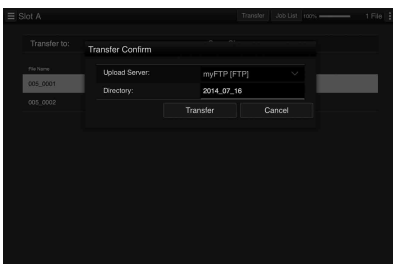
Berühren Sie die Datei, um sie auszuwählen. Zum Abbrechen berühren Sie die Datei erneut.

5 Berühren Sie „Transfer“.

Der Server, den Sie mit „Default Server“ unter „Registrieren des Servers für das Hochladen“ (Seite 19) als Standardserver festgelegt haben, erscheint.

Zum Wechseln des Servers berühren Sie einen Server, um die Serverliste aufzurufen, und wählen dann den Server aus.

Geben Sie gegebenenfalls das Verzeichnis für den Server in „Directory“ ein.



6 Berühren Sie „Transfer“.

Der Camcorder beginnt, die ausgewählte Datei hochzuladen.

Wenn Sie das Hochladen abbrechen wollen, berühren Sie „Cancel“.

Überprüfen des Hochladens der Datei

Sie können den Hochladestatus auf dem Bildschirm „Job List“ überprüfen, der angezeigt wird, wenn Sie „Job List“ auf dem Bildschirm „SD Card“, „Slot A“ oder „Slot B“ berühren (Seite 20).

Streaming-Übertragung von Video- und Audiodaten (nur PXW-X180)

Sie können die mit dem Camcorder erfassten bzw. wiedergegebenen Video- und Audiodaten über das Internet oder ein lokales Netzwerk übertragen.

Vorbereitungen

So stellen Sie die Verbindung mit dem Internet her

Verbinden Sie den Camcorder mit dem Internet, wie in den Schritten unter „Herstellen einer Verbindung mit dem Internet (nur PXW-X180)“ (Seite 8) erläutert.

So stellen Sie die Verbindung mit einem lokalen Netzwerk her

Verbinden Sie den Camcorder mit dem lokalen Netzwerk, wie in den Schritten unter „Herstellen einer Verbindung mit einem anderen Gerät über WLAN (nur PXW-X180)“ (Seite 4) erläutert.

So stellen Sie das Ziel der Streaming-Übertragung ein

1 Wählen Sie „Preset1“ (bzw. „Preset2“ oder „Preset3“) unter „Streaming“ im System-Menü, um den Einstellbildschirm für das Ziel der Streaming-Übertragung aufzurufen.

- 2 Stellen Sie auf diesem Bildschirm die Optionen „Size“, „Bit Rate“ und „Type“ ein.
- 3 Wählen Sie die in Schritt 1 und 2 eingestellten Optionen „Preset1“ (bzw. „Preset2“ oder „Preset3“) für „Preset Select“ unter „Streaming“ im System-Menü.

Starten des Streaming-Vorgangs

- 1 Setzen Sie „Setting“ unter „Streaming“ im System-Menü auf „On“.

Das Streaming beginnt gemäß den von Ihnen vorgenommenen Einstellungen.

Sie können „Streaming“ einer frei belegbaren Taste zuweisen. Näheres zum Zuweisen finden Sie unter „Frei belegbare Tasten“ in der Bedienungsanleitung.

Hinweise

- Sie können das Streaming nicht starten, wenn „Setting“ unter „Network“ im System-Menü auf „Off“ gesetzt ist.
- Es kann einige Sekunden dauern, bis nach dem Starten des Streaming-Vorgangs die Video- oder Audiodaten tatsächlich gestreamt werden.
- Bei der Wiedergabe eines SD-Clips können Sie das Streaming nicht starten.
- Wenn Sie das Ziel der Streaming-Übertragung nicht richtig einstellen oder der Camcorder keine Netzwerkverbindung herstellen kann, wird auf dem Bildschirm „x“ als Streaming-Statusanzeige angezeigt.

Stoppen des Streaming-Vorgangs

- 1 Setzen Sie „Setting“ unter „Streaming“ im System-Menü auf „Off“.

Das Streaming wird auch gestoppt, wenn Sie die frei belegbare Taste drücken, der „Streaming“ zugewiesen ist.

Wenn der Camcorder über WLAN mit einem Gerät verbunden ist (*Seite 4*) oder die Internetverbindung mit dem WLAN-Stationsmodus (*Seite 9*) hergestellt wird, können Sie das Übertragungsziel sowie das Starten und Stoppen des Streaming-Vorgangs auch über das Web-Menü (*Seite 14*) einstellen.

Verwenden der Wi-Fi-Fernbedienung (nur PXW-X180)

Wenn eine WLAN-Verbindung zwischen einem Gerät wie einem Smartphone oder Tablet und dem Camcorder hergestellt wird, erscheint die Wi-Fi-Fernbedienung auf dem Gerätebildschirm und das Gerät lässt sich als Fernbedienung verwenden.

Sie können mit einem über Wi-Fi verbundenen Gerät die Aufnahme starten/stoppen und Aufnahmeeinstellungen vornehmen. Diese Funktion ist nützlich, wenn der Camcorder an einem entfernten Ort wie z. B. oben auf einem Kran usw. platziert wird.

Anzeigen der Wi-Fi-Fernbedienung

Die Anzeigegröße der Wi-Fi-Fernbedienung variiert automatisch je nach Größe des Gerätebildschirms. Näheres zu den Anzeigen auf der Wi-Fi-Fernbedienung finden Sie in der Bedienungsanleitung.

- 1 Stellen Sie eine WLAN-Verbindung zwischen dem anderen Gerät und dem Camcorder her (*Seite 5*).
- 2 Starten Sie den Browser und geben Sie `http://<IP-Adresse des Camcorders> (/,System-Menü“ > „Network“ > „IP Address“)/rm.html` in die Adressleiste ein.
Beispiel: Wenn die IP-Adresse 192.168.1.1 lautet, geben Sie `http://192.168.1.1/rm.html` in die Adressleiste ein.
- 3 Geben Sie den Benutzernamen und das Passwort („System-Menü“ > „Basic Authentication“ > „User Name“ oder „Password“) im Browser ein.

Wenn die Verbindung hergestellt wurde, erscheint die Anzeige der Wi-Fi-Fernbedienung auf dem Gerät.

Bedienen Sie die Wi-Fi-Fernbedienung, wie auf der Anzeige angegeben.

Die Taste REC kann nicht mehr betätigt werden, wenn der Schalter Lock nach rechts gezogen wird.

Sie können die Wi-Fi-Fernbedienung mit „Cam Remote Control“ im Web-Menü anzeigen lassen (*Seite 15*).

Hinweise

- Bei manchen Geräten wird die Wi-Fi-Fernbedienung möglicherweise nicht einwandfrei auf dem Gerätebildschirm angezeigt, auch wenn Sie <http://<IP-Adresse des Camcorders>/rm.html> in die Adressleiste eingegeben haben. Geben Sie in diesem Fall anstelle von „rm.html“ am Ende der Adresse bei einem Smartphone „rms.html“ bzw. bei einem Tablet „rmt.html“ ein, damit die Wi-Fi-Fernbedienung richtig angezeigt wird.
- Die Wi-Fi-Fernbedienung auf dem Gerätebildschirm stimmt in den folgenden Fällen möglicherweise nicht mit dem tatsächlichen Status des Camcorders überein. Aktualisieren Sie in diesem Fall den Browser des Geräts.
 - Der Camcorder wird beim Herstellen der Wi-Fi-Verbindung neu gestartet.
 - Der Camcorder wird beim Herstellen der Wi-Fi-Verbindung gerade direkt bedient.
 - Das Gerät wird erneut verbunden.
 - Die Vor-/Zurück-Funktion des Browsers des Geräts wird verwendet.
- Wenn das Wi-Fi-Signal schwach ist, funktioniert die Wi-Fi-Fernbedienung möglicherweise nicht einwandfrei.

Informationen zum Web-Menü (nur PXW-X180)

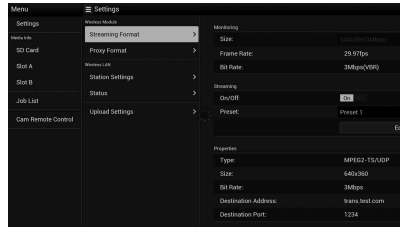
Das Web-Menü des Camcorders erscheint, wenn Sie auf den Camcorder vom Browser eines Geräts aus zugreifen, das über ein WLAN mit dem Camcorder verbunden ist. Sie können damit Einstellungen für die WLAN-Funktion vornehmen oder die Dateiübertragung ausführen.

Anfangsbildschirm

Wenn Sie den Camcorder und ein anderes Gerät verbinden und vom Browser an dem Gerät aus auf den Camcorder zugreifen, erscheint im Browser der Bildschirm „SD Card“ unter „Media Info“ des Camcorders.

Informationen zum Einstellungsmenü

Das Einstellungsmenü erscheint, wenn Sie links oben auf dem Bildschirm berühren. Berühren Sie die einzustellende Option.



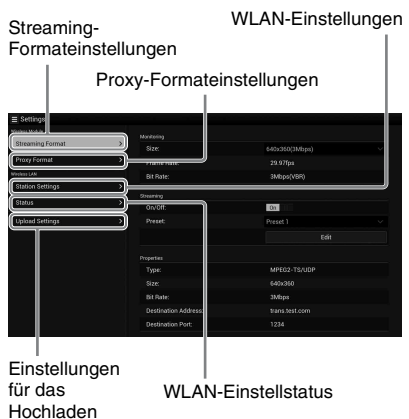
„Settings“

Zeigt den Bildschirm mit den Einstellungen des Camcorders an.

- „Wireless Module“
 - „Streaming Format“: Streaming-Formateinstellungen (*Seite 15*)
 - „Proxy Format“: Proxy-Format-Einstellungen
- „Wireless LAN“
 - „Station Settings“: WLAN-Einstellungen (*Seite 17*)
 - „Status“: Status der WLAN-Einstellungen (*Seite 18*)
 - „Upload Settings“
 - Einstellungen für das Hochladen (*Seite 18*)

Hinweise

- Wenn der Bildschirm „Settings“ angezeigt wird und Sie Folgendes berühren, wird der gewünschte Einstellbildschirm angezeigt.



„Media Info“

Zeigt den Bildschirm mit dem Medienstatus oder zum Auswählen der hochzuladenden Datei an (Seite 10).

- „SD Card“: In den PROXY SD-Einschub des Camcorders eingesetztes Medium.
- „Slot A“: In Karteneinschub A des Camcorders eingesetztes Medium.
- „Slot B“: In Karteneinschub B des Camcorders eingesetztes Medium.

„Job List“

Zeigt den Bildschirm zum Verwalten der hochgeladenen Dateien an (Seite 20).

„Cam Remote Control“

Zeigt die Wi-Fi-Fernbedienung an (Seite 13).

Streaming-Formateinstellungen

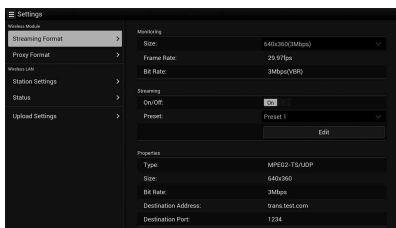
Sie können das Format für den mit dem Gerät geprüften Stream einstellen. Alternativ können Sie auch das Format bzw. das Übertragungsziel für den Stream einstellen, der über das Internet oder ein lokales Netzwerk übertragen wird.

Video

- AVC/H.264 Main Profile, 4:2:0 Long GOP
- Die Größe wird mit den Einstellungen weiter unten ausgewählt.

Audio

- AAC-LC-Komprimierung
- Abtastfrequenz: 48 kHz
- Bitrate: 128 Kbps für Stereo



Einstellungen für die Prüfung

Sie können das Format einstellen, wenn Sie die Prüfung auf einem Terminal-Gerät vornehmen.

„Size“ („Monitoring“)

Legen Sie Größe und Bitrate des Videos für die Prüfung fest.

„640 × 360“: 3 Mbps (VBR)

„480 × 270“: 1 Mbps (VBR)

„480 × 270“: 0,5 Mbps (VBR)

Hinweise

- Diese Bitrate ist ein Durchschnittswert. Die tatsächliche Bitrate kann über dem Durchschnittswert liegen.

„Frame Rate“

Zeigt die Bildfrequenz des Videos an.

„23.98fps“: 23,975 fps

„25fps“: 25 fps

„29.97fps“: 29,97 fps

„50fps“: 50 fps

„59.94fps“: 59,94 fps

Hinweise

- „24 fps“ wird nicht unterstützt.

„Bit Rate“

„3Mbps (VBR)“: 640 × 360

„1Mbps (VBR)“: 480 × 270

„0.5Mbps (VBR)“: 480 × 270

DE

Streaming-Einstellungen

Sie können das Format oder das Ziel der Streaming-Übertragung einstellen. Bis zu drei Einstellungen können als Voreinstellung gespeichert werden.

„On/Off“

Ein-/Ausschalten der Streaming-Übertragung.

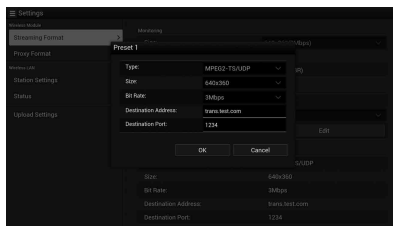
Hinweise

- Wenn Sie „On“ wählen, steht die Prüfungsfunktion nicht zur Verfügung.

„Preset“

Wählen Sie „Preset 1“ bis „Preset 3“ als Voreinstellung aus.

Zur Bearbeitung von „Preset“ berühren Sie „Edit“.



„Type“

Wählen Sie als Typ für das Video-Streaming „MPEG-2 TS/UDP“ oder „MPEG-2 TS/RTP“ aus.

„Size“

Stellen Sie die Größe für das Video-Streaming ein.

„HD Auto“

„1280 × 720“

„640 × 360“

„480 × 270“

Wenn Sie „HD Auto“ wählen, wird die Größe auf 1920 × 1080 oder 1280 × 720 eingestellt, und zwar je nach dem Format, das für die Aufnahme auf der SxS-Speicherkarte eingestellt war, oder dem Format des wiederzugebenden Clips.

„Bit Rate“

Stellen Sie die Bitrate für das Video-Streaming ein.

„9Mbps“

„6Mbps“

„3Mbps“

„2Mbps“

„1Mbps“

„0.5Mbps“

Welche Bitrate ausgewählt werden kann, hängt von der Einstellung für „Size“ ab.

Hinweise

- Da die Video-/Audiodateien über das Internet übertragen werden, besteht die Gefahr nicht autorisierter Zugriffe darauf. Vergewissern Sie sich, dass das Übertragungsziel die Streaming-Daten empfangen kann. Bei einer fehlerhaft eingestellten Adresse kann es vorkommen, dass die Daten fälschlicherweise an einen nicht beabsichtigten Empfänger gesendet werden.
- Je nach Netzwerkstatus werden möglicherweise nicht alle Einzelbilder angezeigt.
- In Szenen mit übermäßig viel Bewegung kann die Bildqualität abnehmen.
- Es werden möglicherweise nicht alle Einzelbilder angezeigt, wenn für die Größe des Streams ein hoher, für die Bitrate dagegen ein kleiner Wert eingestellt ist. Wählen Sie unter „Size“ einen kleineren Wert, um diesem Problem entgegenzuwirken.
- Wenn „Bit Rate“ (Seite 17) in den Proxy-Formateinstellungen auf „9Mbps (VBR)“ gesetzt ist:
 - In den Stream-Einstellungen kann „Bit Rate“ maximal auf „6Mbps“ eingestellt werden.
 - Wenn Sie eine Voreinstellung wählen, in der „Bit Rate“ auf einen höheren Wert als „6Mbps“ eingestellt ist, wird „Bit Rate“ in den Streaming-Einstellungen automatisch in „3Mbps“ geändert.

„Destination Address“

Geben Sie die Adresse des Servers ein, der als Übertragungsziel für die Streaming-Daten verwendet werden soll.

„Destination Port“

Geben Sie die Portnummer des Servers ein, der als Übertragungsziel für das Streaming verwendet werden soll.

Proxy-Formateinstellungen

Sie können das Format der Proxy-Datei, die auf der SD-Karte des Camcorders aufgenommen wird, einstellen.

Video

XAVC-Proxy (AVC/H.264 Main Profile, 4:2:0 Long GOP)

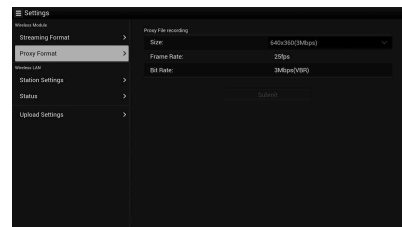
Die Größe wird mit den Einstellungen weiter unten ausgewählt.

Audio

AAC-LC-Komprimierung

Abtastfrequenz: 48 kHz

Bitrate: 128 Kbps für Stereo



„Size“

Legen Sie Größe und Bitrate des Videos für die Proxy-Datei fest.

„1280 × 720“: 9 Mbps (VBR)

„640 × 360“: 3 Mbps (VBR)

„480 × 270“: 1 Mbps (VBR)

„480 × 270“: 0,5 Mbps (VBR)

Hinweise

- Wenn „Bit Rate“ in den Streaming-Einstellungen auf einen höheren Wert als „6Mbps“ eingestellt ist, kann „9Mbps (VBR)“ nicht eingestellt werden.

„Frame Rate“

Zeigt die Bildfrequenz des Videos an.

„23.98 fps“: 23,975 fps

„25 fps“: 25 fps

„29.97 fps“: 29,97 fps

„50 fps“: 50 fps

„59.94 fps“: 59,94 fps

Hinweise

- „24 fps“ wird nicht unterstützt.

„Bit Rate“

Zeigt die Bitrate des Videos an.

„9 Mbps (VBR)“: 1280 × 720

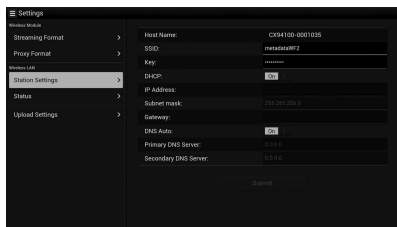
„3 Mbps (VBR)“: 640 × 360

„1 Mbps (VBR)“: 480 × 270

„0.5 Mbps (VBR)“: 480 × 270

WLAN-Einstellungen (Station Settings)

Sie können Einstellungen für die Verbindung mit einem WLAN vornehmen.



„Host Name“

Zeigt den Hostnamen des Camcorders an. (Kann nicht geändert werden.)

„SSID“

Zeigt die SSID an, die unter „Access Point“ ausgewählt wurde.

„Key“

Geben Sie das Passwort für den Zugangspunkt ein.

„DHCP“

Legen Sie die DHCP-Einstellung fest.

Wenn Sie die Option auf „On“ setzen, wird die IP-Adresse dem Camcorder automatisch zugewiesen.

Wenn Sie die IP-Adresse dem Camcorder manuell zuweisen wollen, stellen Sie „Off“ ein.

„IP Address“

Geben Sie die IP-Adresse des Camcorders ein.

Diese Einstellung steht nur zur Verfügung, wenn „DHCP“ auf „Off“ gesetzt ist.

„Subnet mask“

Geben Sie die Subnetzmaske des Camcorders ein.

Diese Einstellung steht nur zur Verfügung, wenn „DHCP“ auf „Off“ gesetzt ist.

„Gateway“

Geben Sie das Standard-Gateway für den Zugangspunkt ein. Diese Einstellung steht nur zur Verfügung, wenn „DHCP“ auf „Off“ gesetzt ist.

„DNS Auto“

Stellen Sie die automatische DNS-Abruffunktion ein.

„Primary DNS Server“

Geben Sie den primären DNS-Server für den Zugangspunkt ein. Diese Einstellung steht nur zur Verfügung, wenn „DNS Auto“ auf „Off“ gesetzt ist.

Wenn Sie hier „Off“ einstellen, muss die Adresse manuell eingegeben werden.

„Secondary DNS Server“

Geben Sie den sekundären DNS-Server für den Zugangspunkt ein. Diese Einstellung steht nur zur Verfügung, wenn „DNS Auto“ auf „Off“ gesetzt ist.

„Submit“

Damit bestätigen Sie die WLAN-Einstellungen.

So stellen Sie die Verbindung zum Zugangspunkt im Stationsmodus ohne WPS-Funktion her

1 Stellen Sie die Verbindung zwischen dem anderen Gerät und dem Camcorder im Zugangspunktmodus her (Seite 5).

2 Stellen Sie die Optionen auf dem Bildschirm „Station Settings“ ein.

Nehmen Sie die Einstellungen gemäß den Zugangspunkteinstellungen vor. Einzelheiten zu den Zugangspunkteinstellungen finden Sie in der Bedienungsanleitung zum Zugangspunkt.

3 Berühren Sie „Submit“.

Die eingestellten Optionen werden bestätigt.

4 Stellen Sie am Camcorder als WLAN-Betriebsmodus den Wi-Fi-Stationsmodus ein, indem Sie „Setting“ unter „Network“ im System-Menü auf „Wi-Fi Station“ setzen.

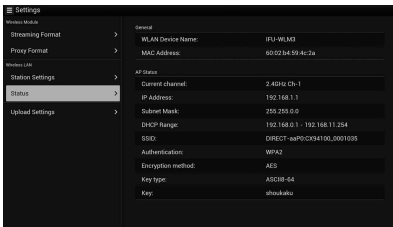
Der Camcorder startet die Herstellung der Verbindung im Stationsmodus. Greifen Sie vom anderen Gerät aus auf den Camcorder zu, indem Sie die Schritte ab Schritt 7 unter „Herstellen der Verbindung zum Zugangspunkt mit der WPS-Funktion“ (Seite 7) ausführen.

Überprüfen der WLAN-Einstellungen

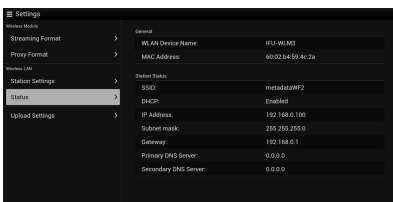
Rufen Sie den Bildschirm zum Überprüfen der WLAN-Einstellungen auf, indem Sie „Wireless LAN“ > „Status“ berühren.

Welche Optionen angezeigt werden, hängt vom WLAN-Modus des Camcorders ab.

Zugangspunktmodus

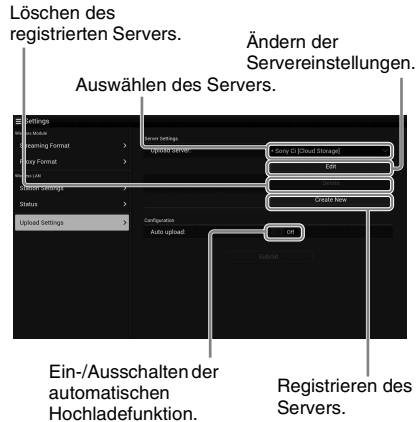


Stationsmodus



Einstellungen für das Hochladen

Sie können den Server für das Hochladen einer Proxy-Datei oder einer Originaldatei, die auf dem Camcorder aufgenommen wurde, registrieren bzw. die registrierte Servereinstellung ändern.



„Auto Upload On/Off“

Wenn „Auto Upload On/Off“ auf „On“ gesetzt ist und der Camcorder mit dem Internet verbunden ist, lädt der Camcorder nach der Aufnahme automatisch eine Proxy-Datei auf den Server hoch, der unter „Upload Setting“ als Standardserver festgelegt wurde.

„Sony Ci“ ist standardmäßig als Server festgelegt.

Bei Sony Ci handelt es sich um von Sony bereitgestellte „Media Cloud Services“. Sie können Dateien zum Sony-Cloud-Service, Sony Ci, hochladen.

Hinweise

- Wenn Sie Sony Ci nutzen wollen, ist eine Registrierung erforderlich. Näheres dazu finden Sie unter www.SonyMCS.com/wireless.

So registrieren Sie „Sony Ci“

- 1 Vergewissern Sie sich, dass „Sony Ci“ auf dem Bildschirm „Upload Settings“ angezeigt wird, und berühren Sie „Edit“.

Der Einstellbildschirm für Sony Ci erscheint.

2 Geben Sie den Benutzernamen in „User“ und das Passwort in „Password“ ein.

Näheres dazu finden Sie unter www.SonyMCS.com/wireless.

3 Berühren Sie „Link“.

Nach kurzer Zeit erscheint die Meldung, dass der Vorgang abgeschlossen ist.

Hinweise

- „Link“ ist der Vorgang, bei dem der Benutzer mit dem Camcorder verknüpft wird. Wenn Sie „Link“ ausführen wollen, muss der Camcorder mit dem Internet verbunden sein.

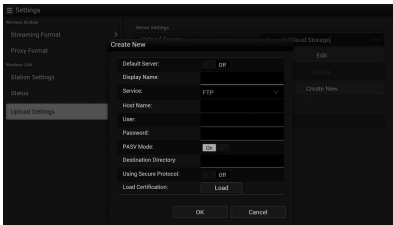
4 Berühren Sie „OK“.

Hinweise

- Nach dem Registrieren bei Sony Ci erscheint „Unlink“ auf dem Einstellbildschirm. Wenn Sie „Unlink“ berühren, wird die Verknüpfung mit dem aktuellen Benutzerkonto aufgehoben und Sie können eine Verknüpfung mit einem anderen Benutzerkonto herstellen.

Registrieren des Servers für das Hochladen

Der Einstellbildschirm erscheint, wenn Sie „Create New“ berühren.



Die Einstellung wird angewendet, wenn Sie „OK“ berühren. Zum Abbrechen berühren Sie „Cancel“.

„Default Server“

Wenn Sie diese Option auf „On“ setzen, wird der Server beim Hochladen vorrangig in der Liste der Servernamen angezeigt.

„Display Name“

Geben Sie den in der Liste angezeigten Servernamen ein.

„Service“

Zeigt den Servertyp an.
„FTP“: FTP-Server

„Host Name“

Geben Sie die Adresse des Servers ein.

„User“

Geben Sie den Benutzernamen für den Server ein.

„Password“

Geben Sie das Passwort für den Server ein.

„PASV Mode“

Zum Ein-/Ausschalten des PASV-Modus.

„Using Secure Protocol“

Stellen Sie ein, ob das sichere FTP-Hochladen ausgeführt werden soll.

„Load Certification“

Liest das Zertifikat einer Zertifizierungsstelle.

- Formatieren Sie das Zertifikat, das im PEM-Format gelesen wird, und speichern Sie es mit dem Dateinamen „certification.pem“ im Stammverzeichnis einer SD-Karte.

„Clear Certification“

Löschen Sie das Zertifikat einer Zertifizierungsstelle.

Hinweise

- Die Datenkommunikation über FTP ist nicht verschlüsselt. Wir empfehlen die Verwendung von FTPS.

Ändern der registrierten Servereinstellungen

Wählen Sie den Server aus, für den Sie die Einstellungen ändern wollen, und berühren Sie dann „Edit“ auf dem Bildschirm „Upload Settings“. Ändern Sie die Einstellungen auf dem Bildschirm zum Ändern der Einstellungen. Näheres zu den Einstelloptionen siehe „Registrieren des Servers für das Hochladen“ (Seite 19).

Löschen des registrierten Servers

Wählen Sie den zu löschenden Server aus und berühren Sie dann „Delete“ auf dem Bildschirm „Upload Settings“. Wenn der Bestätigungsbildschirm erscheint, berühren Sie „OK“. Der ausgewählte Server wird gelöscht und der vorherige Bildschirm wird wieder angezeigt.

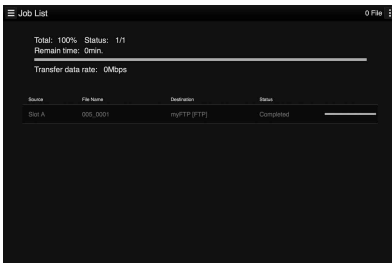
Überprüfen der Dateiübertragung (Job List)

Sie können die Liste der hochzuladenden Dateien und die Datei, die gerade hochgeladen wird, prüfen, das Hochladen einer Datei abbrechen oder starten und eine Datei aus der Dateiliste löschen.

Der Camcorder ist mit der FTP-Fortsetzungsfunktion kompatibel (Funktion zum erneuten Hochladen einer Datei, deren Übertragung abgebrochen wurde).


Hinweise

- Die FTP-Fortsetzungsfunktion steht nur bei einem kompatiblen Server zur Verfügung.



- „Total“: Fortschritt aller hochzuladenden Dateien.
- „Status“: Fortschritt der Datei, die gerade hochgeladen wird.
- „Remain Time“: Geschätzte Restdauer für das Hochladen.
- „Transfer data rate“: Anzeige der Übertragungsrate.

So brechen Sie das Hochladen ab oder starten es oder löschen eine Datei aus der Dateiliste

- 1 Wählen Sie die Datei aus der Liste aus.**
- 2 Berühren Sie  rechts oben auf dem Bildschirm.**

Wählen Sie die Option aus.

- „Abort selected“: Das Hochladen der ausgewählten Datei wird abgebrochen.
- „Delete from list“: Die ausgewählte Datei wird aus der Liste gelöscht.
- „Start selected“: Das Hochladen der ausgewählten Datei wird gestartet.
- „Select All“: Alle Dateien in der Liste werden ausgewählt.

- „Clear completed“: Die Liste aller hochgeladenen Dateien wird gelöscht.

Einstellmenüliste

Die in den neuen Menüs verfügbaren Funktionen und Einstellungen sind unten aufgelistet. Die werkseitigen Standardeinstellungen sind in Fettdruck dargestellt (Beispiel: **Off**).

Recording		
Menüoptionen	Unteroptionen und Einstellwerte	Beschreibung
Picture Cache Rec	Setting On / Off	Zum Ein-/Ausschalten der Bildpufferaufnahme.
Einstellungen für die Bildpufferaufnahme	Cache Rec Time XAVC-I / XAVC-L 0-2sec / 2-4sec / 4-6sec / 6-8sec MPEG HD422 / MPEG HD420 / DVCAM 0-2sec / 2-4sec / 4-6sec / 6-8sec / 8-10sec / 10-12sec / 12-14sec / 13-15sec	Zum Einstellen der Zeit für die Bildpufferaufnahme.

DE

Paint		
Menüoptionen	Unteroptionen und Einstellwerte	Beschreibung
White	Filter White Memory On / Off	Zum Ein-/Ausschalten der Filter/Weißspeicher-Funktion.
Einstellungen für den Weißabgleich		

System		
Menüoptionen	Unteroptionen und Einstellwerte	Beschreibung
Network (nur PXW-X180)	NFC Execute / Cancel	Zum Auswählen, ob die NFC-Funktion aktiviert werden soll. Wenn Sie „Execute“ wählen, schaltet sich die NFC-Funktion ein, „Setting“ wird vorübergehend auf „Wi-Fi Access Point“ gesetzt und der Camcorder wechselt in den Bereitschaftsmodus für NFC. Wenn Sie „Cancel“ wählen, werden die Einstellungen auf die vorherigen Werte zurückgesetzt.
Einstellungen für die Netzwerkverbindung und entsprechende Anzeigoptionen	Setting Wi-Fi Access Point / Wi-Fi Station / Modem / Off	Zum Einstellen des Betriebsmodus der Netzwerkverbindung.
		<div style="background-color: #cccccc; padding: 2px;">Hinweise</div> <ul style="list-style-type: none"> Wählen Sie „Modem“, wenn Sie den USB-RJ45-Adapter verwenden.
	Channel Auto / CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13	Zum Einstellen des WLAN-Kanals.
	SSID & Password	Zum Anzeigen von SSID und Passwort für das WLAN.

System		
Menüoptionen	Unteroptionen und Einstellwerte	Beschreibung
Network	WPS Execute / Cancel	Zum Starten von Wi-Fi Protected Setup (WPS).
	Device Name	Zum Anzeigen des Namens des verwendeten Netzwerkgeräts.
	IP Address	Zum Anzeigen der IP-Adresse des Camcorders.
	Subnet Mask	Zum Anzeigen der Subnetzmaske des Camcorders.
	MAC Address	Zum Anzeigen der MAC-Adresse des WLAN-Moduls des Camcorders.
	Regenerate Password Execute / Cancel	Zum Neugenerieren des Passworts. Execute: Die Funktion wird ausgeführt.
Streaming (nur PXW-X180) Einstellungen für das Netzwerk-Streaming und entsprechende Anzeigoptionen	Setting	Zum Ein-/Ausschalten der Streaming-Übertragungsfunktion. Hinweise <ul style="list-style-type: none"> • Wenn Sie das Gerät aus- und wieder einschalten, wird diese Einstellung deaktiviert. • Wenn Sie das Streaming aktivieren, steht die Prüfungsfunktion nicht zur Verfügung.
	Preset Select	Zum Auswählen einer Voreinstellung für das Streaming.
	Preset1 Size (HD Auto / 1280 × 720 / 640 × 360 / 480 × 270)	Zum Einstellen der Bildgröße für das Streaming. Wenn Sie „HD Auto“ wählen, wird die Größe auf „1920 × 1080“ oder „1280 × 720“ eingestellt, und zwar je nach dem Format, das für die Aufnahme auf der SxS-Speicherkarte eingestellt war, oder dem Format des wiederzugebenden Clips.

System		
Menüoptionen	Unteroptionen und Einstellwerte	Beschreibung
Streaming	Bit Rate (9Mbps / 6Mbps / 3Mbps / 2Mbps / 1Mbps / 0.5Mbps)	Zum Einstellen der Bitrate für das Video-Streaming. Welche Bitrate ausgewählt werden kann, hängt von der Einstellung für „Size“ ab.
		<div style="background-color: #cccccc; padding: 2px;">Hinweise</div> <ul style="list-style-type: none"> • Da die Video-/Audiodateien über das Internet übertragen werden, besteht die Gefahr nicht autorisierter Zugriffe darauf. Vergewissern Sie sich, dass das Übertragungsziel die Streaming-Daten empfangen kann. • Bei einer fehlerhaft eingestellten Adresse kann es vorkommen, dass die Daten fälschlicherweise an einen nicht beabsichtigten Empfänger gesendet werden. • Je nach Netzwerkstatus werden möglicherweise nicht alle Einzelbilder angezeigt. • In Szenen mit übermäßig viel Bewegung kann die Bildqualität abnehmen. • Es werden möglicherweise nicht alle Einzelbilder angezeigt, wenn für die Größe des Streams ein hoher, für die Bitrate dagegen ein kleiner Wert eingestellt ist. Wählen Sie unter „Size“ einen kleineren Wert, um diesem Problem entgegenzuwirken. • Wenn „Bit Rate“ (<i>Seite 17</i>) in den Proxy-Formateinstellungen auf „9Mbps (VBR)“ gesetzt ist: <ul style="list-style-type: none"> — „Bit Rate“ in den Streaming-Einstellungen kann auf maximal „6Mbps“ eingestellt werden. — Wenn Sie eine Voreinstellung wählen, in der „Bit Rate“ auf einen höheren Wert als „6Mbps“ eingestellt ist, wird „Bit Rate“ in den Streaming-Einstellungen automatisch in „3Mbps“ geändert.
	Type (MPEG-2 TS/UDP / MPEG-2 TS/RTP)	Zum Auswählen des Typs für das Video-Streaming.
	Destination Address (Zeichenfolge. 0.0.0.0)	Geben Sie die Adresse des Servers ein, der als Ziel für die Streaming-Übertragung verwendet werden soll.
	Destination Port (1 bis 65545. 1234)	Geben Sie die Portnummer des Servers ein, der als Ziel für das Streaming verwendet werden soll.
	Preset2	
	Preset3	

Anhang

Im Folgenden finden Sie ergänzende Informationen für die mit dem Camcorder gelieferte Bedienungsanleitung.

Hinweise zur Aufnahme

Solange die Zugriffsanzeige rot leuchtet oder blinkt, schreibt oder liest der Camcorder Daten auf dem Aufnahmemedium. Schütteln Sie den Camcorder nicht, schützen Sie ihn vor starken Stößen, schalten Sie ihn nicht aus, nehmen Sie das Aufnahmemedium nicht heraus und den Akku nicht ab und trennen Sie ihn nicht vom Netzteil. Andernfalls können die Bilddaten zerstört werden.

Bilddateimanagement auf einem Computer

- Bilddaten können nicht wiedergegeben werden, wenn Sie Dateinamen oder Ordner modifiziert oder die Daten auf einem Computer bearbeitet haben. (Bei der Anzeige von Standbildern blinkt der Dateiname.) Dies ist keine Fehlfunktion.
- Wenn Sie Bildmanagementdateien auf einem Computer löschen, werden die Bilder nicht korrekt aufgenommen/wiedergegeben. Bildmanagementdateien weisen standardmäßig die Eigenschaft „Versteckt“ auf und werden daher normalerweise nicht angezeigt.

DE

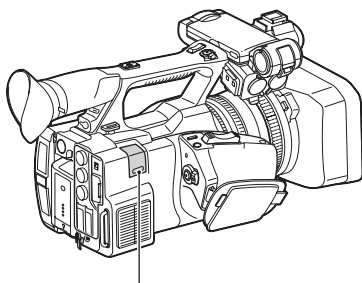
Español

Se han añadido nuevas funciones a la videocámara mediante la actualización del firmware. Las nuevas funciones y sus correspondientes funcionamientos que se han añadido a las videocámaras PXW-X180/PXW-X160 con la actualización del firmware “versión 2,0” se describen a continuación. Consulte el manual de instrucciones de la videocámara.

Ubicación y función de las piezas

A continuación solo se describen las nuevas funciones.

Cuerpo



Pieza retráctil del módulo LAN inalámbrico USB (solamente en el modelo PXW-X180) (5, 9)

La instalación del módulo LAN inalámbrico USB IFU-WLM3 (suministrado), el módem (se vende por separado) o el adaptador USB-RJ45 suministrado con el adaptador de red CBK-NA1 (se vende por separado) en la videocámara, permite la conexión a dispositivos LAN inalámbricos o a una red.

Pantalla de estado

En la “Pantalla de estado”, el elemento “Wi-Fi (solo en el modelo PXW-X180)” en la “pantalla de estado del sistema” se ha sustituido por la nueva “pantalla de estado de red”.

Pantalla del estado de red

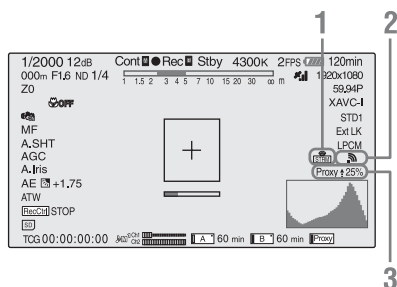
Muestra los ajustes o el estado de la red.

Setting	Estado de los ajustes de red.
Device Name	Nombre del dispositivo instalado en la pieza retráctil del módulo LAN inalámbrico USB.

IP Address	Dirección IP de la videocámara.
Streaming Status	Estado de la distribución del flujo.
Streaming Size	Tamaño de la imagen de los ajustes de flujo seleccionados actualmente.
Streaming Bit Rate	Velocidad de bits de los ajustes de flujo seleccionados actualmente.
Streaming Type	Tipo de ajustes de flujo seleccionados actualmente.
Streaming Dest. Add.	Dirección de destino donde se transmitirá el flujo.
Streaming Dest. Port	Puerto de destino donde se transmitirá el flujo.

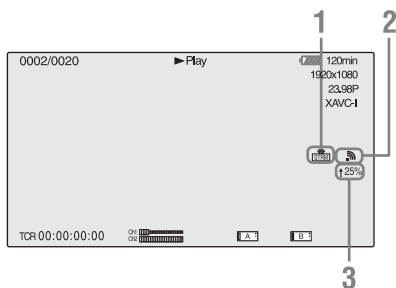
Pantalla LCD/del visor

Información mostrada en la pantalla durante la grabación



- 1. Indicación del estado del flujo (solamente en el modelo PXW-X180)**
Muestra el estado del flujo.
- 2. Indicación del estado de la conexión de red (solamente en el modelo PXW-X180)**
Se muestra cuando la red está activada.
- 3. Indicación del estado del proxy (solamente en el modelo PXW-X180)**
Muestra el estado del ajuste del estado de grabación y transmisión del proxy de los archivos proxy.

Información mostrada en la pantalla de reproducción



1. **Indicación del estado del flujo (solamente en el modelo PXW-X180)**
2. **Indicación del estado de la conexión de red (solamente en el modelo PXW-X180)**
3. **Indicación del estado de carga del proxy (solamente en el modelo PXW-X180)**
Muestra el estado de transmisión de los archivos proxy.

Picture Cache Rec

La videocámara está equipada con memoria interna suficiente para almacenar previamente hasta 15 segundo de datos de vídeo y audio en la memoria caché de una imagen. Esto le permite iniciar la grabación en un número especificado de segundo antes del momento en el que pulsa el botón de grabación.

Selección del modo de caché de la imagen/ajuste del tiempo de caché de la imagen

Antes de grabar en el modo de caché de la imagen debe activar el modo de caché de la imagen y seleccionar el tiempo de caché de la imagen para almacenar en la caché la imagen en la memoria a través del menú Recording (página 20).

El tiempo de caché determina la antelación con la que puede iniciar la grabación, contando hacia atrás en segundo desde el momento en el que comienza la grabación. Tenga en cuenta que puede que no sea posible iniciar la grabación con tanta antelación en los casos especiales que se explican en las siguientes notas.

Notas

- El almacenamiento de datos de imagen en la memoria comienza cuando selecciona el modo de caché de la imagen. Por lo tanto, si empieza a grabar inmediatamente después de seleccionar el modo de caché de la imagen, los datos de imagen anteriores a la selección no se grabarán.
- No se graban datos en la memoria caché de la imagen durante la reproducción o la revisión de la grabación y la visualización de imágenes en miniatura. No se pueden grabar datos de imagen desde el momento en que estaba reproduciendo o revisando una grabación.

Ajuste del modo de caché de la imagen/tiempo de caché de la imagen

Notas

- La grabación de caché de la imagen no está disponible en el modo Slow & Quick Motion ni el modo Clip Continuous Rec. Cuando la grabación de caché de la imagen está activada, Slow & Quick Motion y Clip Continuous Rec no están disponibles. Si Slow & Quick Motion o Clip Continuous Rec está activado, el modo de caché de la imagen se desactiva automáticamente.
- Los datos almacenados en la memoria caché de la imagen se borran al cambiar los ajustes del sistema, por ejemplo al seleccionar un formato de vídeo distinto. Los datos de imagen anteriores al cambio no se graban incluso si inicia la grabación inmediatamente después del cambio. El modo de caché de la imagen se desactiva automáticamente.
- No se puede ajustar el tiempo de caché de la imagen durante la grabación.
- AVCHD no es compatible.

1 Seleccione “Picture Cache Rec” > “On” > “Setting” en el menú Recording.

Para obtener información sobre cómo utilizar el menú, consulte “Operaciones del menú de configuración” en el manual de instrucciones.

2 Seleccione el tiempo de caché de la imagen de “Cache Rec Time” en “Picture Cache Rec”.

El modo de caché de la imagen seleccionado estará activado hasta que lo cambie.

Uso de los botones asignables

Puede asignar la función Picture Cache Rec a un botón asignable. Para obtener más información acerca de cómo asignar, consulte “Botones asignables” en el manual de instrucciones.

Pulse el botón que haya asignado para activar el modo de caché de la imagen.

Manejo de los datos de la videocámara durante la grabación en modo de caché de la imagen

Los procedimientos de grabación en el modo de caché de la imagen son básicamente los mismos que los procedimientos de grabación normales. Sin embargo, tenga en cuenta las siguientes diferencias con respecto a la forma en la que la videocámara maneja el vídeo, el tiempo y los datos de salida.

- Si inicia la grabación mientras se está accediendo a los datos, el punto de inicio del vídeo que se está grabando actualmente puede ser posterior al tiempo de caché de la imagen especificado actualmente. Dado que el retardo aumenta a medida que el número de clips grabados aumenta, debe evitar iniciar y detener la grabación rápidamente en el modo de caché de la imagen.
- Independientemente del ajuste de “Run” de “Timecode” en el menú TC/UB, el modo de avance del generador del código de tiempo siempre es “Free Run”.
- En el modo de caché de la imagen, no puede ajustar datos de tiempo. Para ajustar los datos de tiempo, salga del modo de caché de la imagen.
- Las marcas de toma no se graban si se han ajustado antes de iniciar la grabación.

Si se corta la alimentación durante la grabación

- Si ajusta el interruptor ON/STANDBY de la videocámara en STANDBY, la videocámara se apagará automáticamente pasados unos segundo, durante los cuales se accede al soporte para grabar los datos de vídeo y audio almacenados en la memoria de la videocámara hasta ese punto.
- Si se corta la alimentación porque se ha extraído la batería, se ha desconectado el cable de cc o se ha apagado la alimentación en el adaptador de alimentación de ca se perderán los datos de vídeo y audio guardados en la memoria. Los datos guardados en la memoria no se grabarán. Tenga cuidado para evitar que esto suceda al cambiar la batería.

Memoria del balance de blancos según la posición del filtro ND

La videocámara memoriza automáticamente el valor del ajuste del balance de blancos según la posición del filtro ND y el ajuste del interruptor WHT BAL (A o B). La videocámara posee cinco posiciones del filtro ND (CLEAR, PRESET 1 a 3 y VARIABLE), que combinados con el ajuste del interruptor A o B, permite ajustar hasta 10 valores.

Ajustes de la memoria del filtro blanco

Seleccione “On” en “Filter White Memory” en el menú Paint (página 20).

Si “Off” está seleccionado, el número de la memoria se limita a uno tanto en el interruptor A como en el B y la memoria no se vincula con la posición del filtro ND.

Conexión con otro dispositivo a través de una LAN inalámbrica (solamente en el modelo PXW-X180)

Puede establecer una conexión LAN inalámbrica entre la videocámara y un dispositivo como un smartphone o un tablet mediante la instalación del módulo de LAN inalámbrica IFU-WLM3 USB suministrado.

Notas

- No se puede utilizar un módulo de LAN inalámbrica USB distinto del IFU-WLM3.

El establecimiento de una conexión LAN inalámbrica entre un dispositivo y la videocámara le permite llevar a cabo lo siguiente.

• Control remoto a través de una LAN inalámbrica

Puede controlar la videocámara desde un smartphone, un tablet o un ordenador que esté conectado a la videocámara a través de la LAN inalámbrica.

• Control del vídeo a través de una LAN inalámbrica

Puede crear un flujo (H.264) a partir del vídeo/ audio de una videocámara y controlar el vídeo/ audio con la aplicación “Content Browser Mobile” que se encuentra instalada en un smartphone, tablet u ordenador a través de la LAN inalámbrica.

Aplicación “Content Browser Mobile”

Puede controlar la videocámara de manera remota mientras controla el audio/vídeo de la videocámara y llevar a cabo los ajustes de la videocámara mediante la aplicación “Content Browser Mobile”.

Si desea obtener información detallada acerca de la aplicación “Content Browser Mobile”, póngase en contacto con su distribuidor Sony o con un representante de asistencia al cliente de Sony.

Dispositivos compatibles

Puede utilizar un smartphone, un tablet o un ordenador para ajustar y controlar la videocámara. A continuación se facilitan los dispositivos, sistemas operativos y navegadores compatibles.

Dispositivo	Sistema operativo	Navegador
Smartphone	Android 4,4	Chrome
	iOS 8	Safari
Tablet	Android 4,4	Chrome
	iOS 8	Safari
Equipo	Microsoft Windows 7/	Chrome
	Microsoft Windows 8	
	Mac OS 10,9/	Safari
	10,10	

Instalación del IFU-WLM3

- 1 Abra la cubierta de la pieza retráctil del módulo de la LAN inalámbrica USB (página 2).
- 2 Inserte el IFU-WLM3 al conector USB.

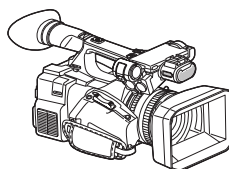
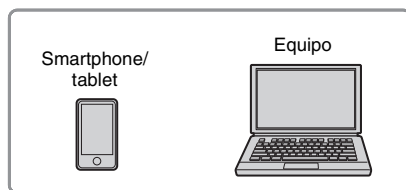
3 Cierre la tapa.

Notas

- Cuando coloque o extraiga el IFU-WLM3, ajuste “Setting” en “Proxy Recording Mode” del menú Recording y “Setting” en “Network” del menú System en “Off” o apague la videocámara.

Conexión con el modo del punto de acceso a la red LAN inalámbrica

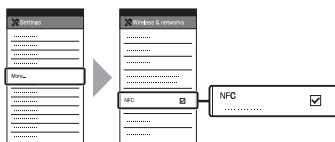
La videocámara funciona como un punto de acceso y se conecta a un dispositivo a través de una red LAN inalámbrica.



Conexión a un dispositivo compatible con NFC mediante un toque


Puede conectar la videocámara a un dispositivo compatible con NFC mediante un toque a través de la función NFC.

- 1 Inicie “Settings” en el dispositivo, seleccione “Other Settings” y, a continuación, marque la casilla de verificación “NFC”.




- 2 Encienda la videocámara.

3 Active la función NFC.

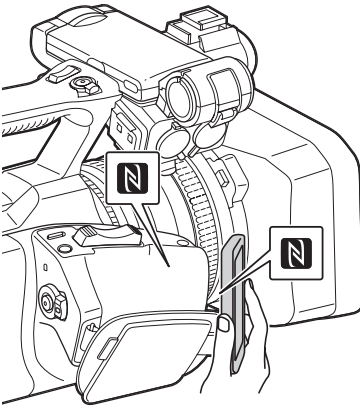
Ajuste la videocámara en el modo de conexión NFC manteniendo pulsado el botón ASSIGN 3/NFC (durante 3 segundo) o active “NFC” en “Network” del menú System. La función NFC se encuentra disponible cuando aparece  en la pantalla.

Notas

- Es posible que  tarde en aparecer en la pantalla (entre 30 y 60 segundo). Espere a que la indicación “AP” parpadeante correspondiente al estado de la conexión LAN inalámbrica de la pantalla LCD/del visor (página 2) se encienda.

4 Sujete el smartphone cerca de la videocámara.

El smartphone se conectará a la videocámara y se iniciará “Content Browser Mobile”.



Notas

- Cancele la función de reposo o de bloqueo de la pantalla del smartphone de antemano.
- Sujete el dispositivo cerca de la videocámara sin moverlo hasta que se inicie “Content Browser Mobile” (entre 1 y 2 segundo).

Conexión con un dispositivo compatible con WPS

Puede conectar la videocámara a un dispositivo compatible con WPS mediante la función WPS.

- 1 Ajuste el modo de funcionamiento de red de la videocámara en el modo de punto de acceso Wi-Fi mediante el ajuste de “Setting” en “Network” del menú System en “Wi-Fi Access Point”.

Notas

- Es posible que la videocámara tarde un tiempo (entre 30 y 60 segundo) en acceder al modo del punto de acceso Wi-Fi. Espere a que la indicación “AP” parpadeante correspondiente al estado de la conexión de red de la pantalla LCD/del visor (página 2) se encienda.

- 2 Active “WPS” en “Network” del menú System.

- 3 Seleccione “Network Setting” > “Wi-Fi Setting” en el dispositivo y, a continuación, active “Wi-Fi”.

- 4 Seleccione el SSID de la videocámara en la lista de SSID de “Wi-Fi Network” en el dispositivo y, a continuación, seleccione “WPS Push Button” en “Option” en el dispositivo.

Notas

- El método de funcionamiento varía en función del dispositivo.

- 5 Inicie el navegador en el dispositivo y, a continuación, acceda a la página “<http://192.168.1.1:8080/index.html>”.

A continuación, aparecerá la pantalla para introducir el “User Name” y la “Password”.

- 6 Introduzca el nombre de usuario y la contraseña y, a continuación, seleccione “OK”.

Para obtener el nombre de usuario y la contraseña de la autenticación de acceso, consulte “Basic Authentication” del menú System. Para obtener más información, consulte “Menú System” en el manual de instrucciones.

Conexión mediante la introducción de un SSID y una contraseña en un dispositivo

Puede conectar la videocámara a un dispositivo mediante la introducción de un SSID y una contraseña en un dispositivo.

- 1 Ajuste el modo de funcionamiento de red de la videocámara en el modo de punto de acceso Wi-Fi mediante el ajuste de “Setting” en “Network” del menú System en “Wi-Fi Access Point”.

Notas

- Es posible que la videocámara tarde un tiempo (entre 30 y 60 segundo) en acceder al modo del punto de acceso Wi-Fi. Espere a que la indicación “AP” parpadeante correspondiente al estado de la conexión de red de la pantalla LCD/del visor (página 2) se encienda.

2 Seleccione “Network Setting” > “Wi-Fi Setting” en el dispositivo y, a continuación, active “Wi-Fi”.

3 Conecte el dispositivo a la videocámara mediante la selección de los SSID de la videocámara de la lista de SSID “Wi-Fi Network” e introduciendo la contraseña en el dispositivo.

Para obtener información acerca del SSID y la contraseña de la videocámara, consulte “SSID & Password” en “Network” del menú System (página 20).

Notas

- El método de funcionamiento varía en función del dispositivo.

4 Inicie el navegador en el dispositivo y, a continuación, acceda a la página “http://192.168.1.1:8080/index.html”.

A continuación, aparecerá la pantalla para introducir el “User Name” y la “Password”.

5 Introduzca el nombre de usuario y la contraseña y, a continuación, seleccione “OK”.

Para obtener el nombre de usuario y la contraseña de la autenticación de acceso, consulte “Basic Authentication” del menú System. Para obtener más información, consulte “Menú System” en el manual de instrucciones.

Conexión con el modo de estación LAN inalámbrica

La videocámara se conecta a un punto de acceso existente de la red LAN inalámbrica como cliente. La videocámara y el dispositivo se conectan a través del punto de acceso.



Conexión al punto de acceso mediante la función WPS

Si el punto de acceso es compatible con la función WPS, puede conectarse al punto de acceso mediante ajustes sencillos. Si el punto de acceso no es compatible con la función WPS, consulte “Para conectarse al punto de acceso en el modo de estación sin la función WPS” (página 17).

- 1 Active el punto de acceso.**
- 2 Encienda la videocámara.**
- 3 Ajuste el modo de funcionamiento de red de la videocámara en el modo de estación Wi-Fi mediante el ajuste de “Setting” en “Network” del menú System en “Wi-Fi Station”.**

Notas

- Es posible que la videocámara tarde un tiempo (entre 30 y 60 segundo) en acceder al modo de estación Wi-Fi. Espere a que la indicación del estado de la señal parpadeante correspondiente al estado de la conexión de red LAN inalámbrica de la pantalla LCD/del visor (página 2) se encienda.

4 Active “WPS” en “Network” del menú System.

5 Pulse el botón WPS del punto de acceso.

Para obtener información acerca de cómo utilizar el botón WPS, consulte el manual de instrucciones del punto de acceso.

Una vez completada la conexión, la indicación del estado de la señal del estado de la conexión de la red LAN inalámbrica (página 2) se iluminará con una intensidad superior a 1.

Notas

- En caso de que falle la conexión, vuelva a llevar a cabo los pasos a partir del 1.

6 Conecte el dispositivo al punto de acceso.

Para obtener más información acerca de la conexión, consulte el manual de instrucciones del dispositivo.

7 Inicie el navegador en el dispositivo y, a continuación, acceda a “http://<dirección IP que el punto de acceso asigna a la videocámara>:8080/index.html”.

Para obtener información acerca de la dirección IP de la videocámara, consulte “IP Address” en “Network” del menú System. A continuación, aparecerá la pantalla para introducir el “User Name” y la “Password”.

8 Introduzca el nombre de usuario y la contraseña y, a continuación, seleccione “OK”.

A continuación aparecerá el menú Web de la videocámara en el navegador. Si desea obtener información detallada, consulte “Acerca del menú Web (solamente en el modelo PXW-X180)” (página 14).

Para obtener el nombre de usuario y la contraseña de la autenticación de acceso, consulte “Basic Authentication” del menú System.

Conexión a Internet (solamente en el modelo PXW-X180)

Puede conectar la videocámara a Internet si instala un módem opcional, un módulo inalámbrico USB IFU-WLM3 (suministrado) o un adaptador USB-RJ45 suministrado con un kit adaptador de red CBK-NA1 opcional a la videocámara.

Conexión con un módem

Puede conectar la videocámara a Internet a través de una red 3G/4G si conecta un módem opcional a la unidad.

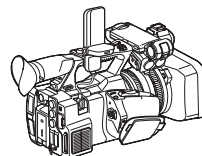
Conexión del módem a la videocámara

- 1 Abra la cubierta de la pieza retráctil del módulo de la LAN inalámbrica USB (página 2).
- 2 Acople el adaptador de extensión del módulo de red suministrado con el kit adaptador de red opcional CBK-NA1 a la videocámara.

Conecte el terminal convexo al terminal del módulo LAN inalámbrico USB a la videocámara y conecte el terminal cóncavo al módem. Puede acoplar el adaptador al orificio del tornillo (1/4 pulg.) del soporte de la zapata para accesorios.



Internet



Adaptador de extensión para el módulo de red + módem

3 Coloque el módem al adaptador de extensión del módulo de red.

Notas

- Cuando coloque o retire el módem de la videocámara, realice una de las siguientes acciones:
 - Ajuste “Setting” en “Proxy Recording Mode” del menú Recording y “Setting” en “Network” del menú System en “Off”.
 - Apague la videocámara.

Conexión

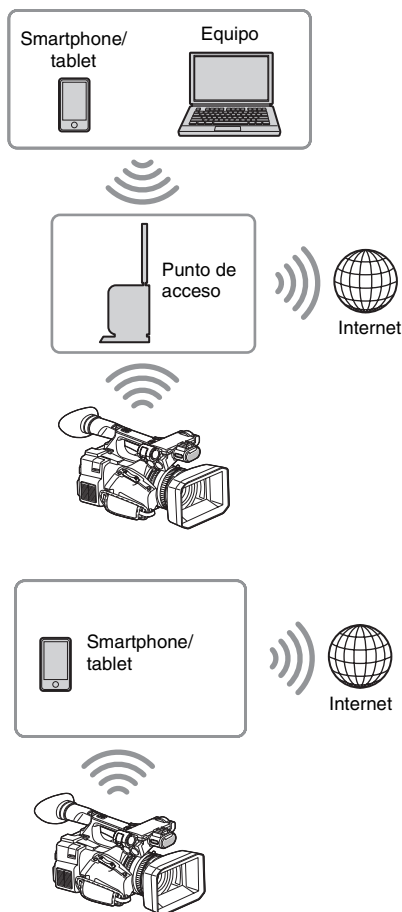
1 Ajuste el modo de funcionamiento de red de la videocámara en el modo de módem mediante el ajuste de “Setting” en “Network” del menú System en “Modem”.

Notas

- Es posible que la videocámara tarde un tiempo (entre 30 y 60 segundos) en acceder al modo de módem. Espere a que la indicación “3G/4G” parpadeante correspondiente al estado de la conexión de red de la pantalla LCD/del visor (página 2) se encienda.

Conexión con el modo de estación LAN Wi-Fi inalámbrica

Puede conectar la videocámara a Internet en el modo de estación Wi-Fi si acopla el módulo LAN inalámbrico USB IFU-WLM3 (suministrado) a través de un punto de acceso 3G/4G/LTE opcional o si ancla la videocámara a un dispositivo.

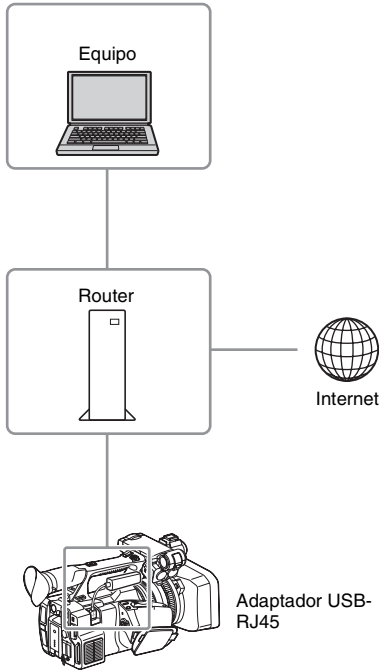


Conexión

Si el punto de acceso o el dispositivo es compatible con la función WPS, conecte la videocámara a Internet mediante los procedimientos de “Conexión al punto de acceso mediante la función WPS” (página 7). Si el punto de acceso o el dispositivo no es compatible con la función WPS, conecte la videocámara a Internet mediante los procedimientos de “Para conectarse al punto de acceso en el modo de estación sin la función WPS” (página 17). Antes de establecer la conexión, active el punto de acceso o el dispositivo y su función de anclaje a la red.

Conexión a Internet a través de un cable LAN

Puede conectar la videocámara a Internet mediante la instalación del adaptador USB-RJ45 suministrado con el kit adaptador de red CBK-NA1 opcional a través de cables LAN conectados a un router de Internet.



Conexión del adaptador USB-RJ45 a la videocámara

- 1 Abra la cubierta de la pieza retráctil del módulo de la LAN inalámbrica USB (página 2).
- 2 Acople el adaptador USB-RJ45 a la videocámara.
Para obtener más información sobre la instalación, consulte el manual de instalación del kit adaptador de red.

Notas

- Cuando coloque o retire el adaptador USB-RJ45 de la videocámara, realice una de las siguientes acciones:
 - Ajuste “Setting” en “Proxy Recording Mode” del menú Recording y “Setting” en “Network” del menú System en “Off”.
 - Apague la videocámara.

Conexión

- 1 Ajuste el modo de funcionamiento de red de la videocámara en el modo de módem mediante el ajuste de “Setting” en “Network” del menú System en “Modem”.

Notas

- Es posible que la videocámara tarde un tiempo (entre 30 y 60 segundos) en acceder al modo LAN por cable. Espere a que la indicación “3G/4G” parpadeante correspondiente al estado de la conexión de red de la pantalla LCD/del visor (página 2) se encienda.
- Cuando conecte la videocámara con un cable LAN, los elementos del menú y la información mostrada en el monitor serán iguales a los que aparecen cuando la videocámara se conecta con un módem.

Carga de un archivo (solamente en el modelo PXW-X180)

Puede cargar un archivo proxy o un archivo original grabado en la videocámara al servidor en Internet a través de una línea 3G/4G/LTE o un punto de acceso.

Preparación

Para conectarse a Internet

Conecte la videocámara a Internet mediante el procedimiento indicado en “Conexión a Internet (solamente en el modelo PXW-X180)” (página 8).

Para registrar el servidor para cargar

Registre el servidor para la carga de antemano. Para obtener información detallada acerca de cómo registrar el servidor, consulte “Registro del servidor para cargar” (página 18).

Selección del archivo y carga

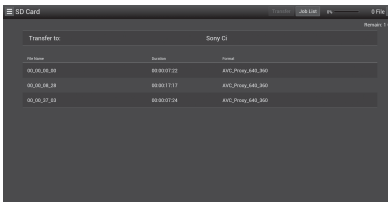
Cargue el archivo proxy grabado en una tarjeta SD o el archivo original que se encuentra grabado en una tarjeta de memoria SxS al servidor.

Carga de un archivo proxy en una tarjeta SD

1 Conecte un dispositivo a la videocámara a través de una red LAN inalámbrica, inicie el navegador en el dispositivo y, a continuación, acceda a la videocámara desde el navegador (página 4).

2 Abra la pantalla de la lista de archivos para seleccionar el archivo.

Toque “☰” > “Media Info” > “SD Card”. Aparece la pantalla “SD Card”.



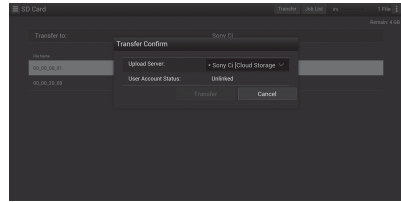
3 Seleccione el archivo.

Toque el archivo para seleccionarlo. Para cancelar, toque el archivo de nuevo. Puede comprobar el archivo tocándolo dos veces para reproducirlo.

4 Toque “Transfer”.

A continuación, aparecerá el servidor ajustado como predeterminado en “Default Server” en “Registro del servidor para cargar” (página 18).

Para cambiar el servidor, tóquelo para mostrar la lista de servidores y, a continuación, seleccione un servidor. Introduzca el directorio del servidor en “Directory” si es necesario.



5 Toque “Transfer”.

La videocámara comenzará a cargar el archivo seleccionado. Para cancelar la carga, toque “Cancel”.

Carga de un archivo original en una tarjeta de memoria SxS

1 Conecte un dispositivo a la videocámara a través de una red LAN inalámbrica, inicie el navegador en el dispositivo terminal y, a continuación, acceda a la videocámara desde el navegador (página 4).

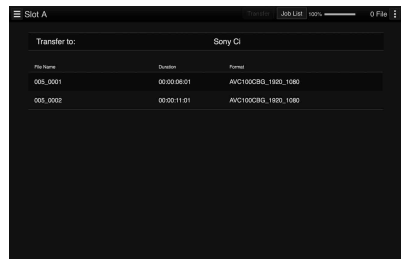
2 Cambie la videocámara al modo de transferencia de archivos.

Ejecute “File Transfer” en “File Transfer” del menú System para cambiar la videocámara al modo específico para cargar el archivo original.

3 Abra la pantalla de la lista de archivos para seleccionar el archivo.

Toque “☰” > “Media Info” > “Slot A” (para una tarjeta de memoria situada en la ranura A) o “Slot B” (para una tarjeta de memoria situada en la ranura B) en la pantalla del navegador del dispositivo. Aparecerá la pantalla “Slot A” o “Slot B”.

Ejemplo: pantalla “Slot A”



ES

4 Seleccione el archivo.

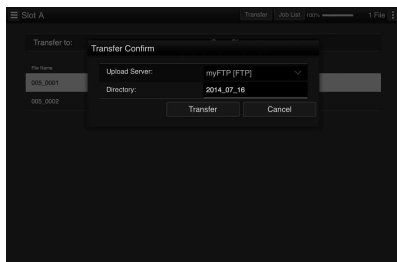
Toque el archivo para seleccionarlo. Para cancelar, toque el archivo de nuevo.

5 Toque “Transfer”.

A continuación, aparecerá el servidor ajustado como predeterminado en “Default Server” en “Registro del servidor para cargar” (página 18).

Para cambiar el servidor, toque un servidor para mostrar la lista de servidores y, a continuación, seleccione el servidor.

Introduzca el directorio del servidor en “Directory” si es necesario.



6 Toque “Transfer”.

La videocámara comenzará a cargar el archivo seleccionado.

Para cancelar la carga, toque “Cancel”.

Comprobación de la carga de archivos

Puede comprobar el estado de la carga en la pantalla “Job List” que se muestra tocando “Job List” en la pantalla “SD Card”, “Slot A” o “Slot B” (página 19).

Transmisión del flujo de vídeo y audio (solamente en el modelo PXW-X180)

Puede transmitir el vídeo y audio capturado/reproducido con la videocámara a través de Internet o de la red local.

Preparación

Para conectarse a Internet

Conecte la videocámara a Internet mediante el procedimiento indicado en “Conexión a Internet (solamente en el modelo PXW-X180)” (página 8).

Para conectar la videocámara a la red local

Conecte la videocámara a la red local mediante el procedimiento indicado en “Conexión con otro dispositivo a través de una LAN inalámbrica (solamente en el modelo PXW-X180)” (página 4).

Para ajustar el destino de la transmisión del flujo

- 1 Seleccione “Preset1” (o “Preset2”, “Preset3”) en “Streaming” en el menú System para abrir la pantalla de ajuste del destino de la transmisión del flujo.
- 2 Ajuste el elemento que corresponda a “Size”, “Bit Rate” y “Type” en esa pantalla.
- 3 Seleccione “Preset1” (o “Preset2”, “Preset3”) ajustado en los pasos 1 y 2 para “Preset Select” en “Streaming” en el menú System.

Inicio del flujo

- 1 Ajuste “Setting” en “On” en “Streaming” del menú System.

El flujo se inicia en función del ajuste que ha realizado.

Puede asignar la función “Streaming” a un botón asignable. Para obtener más información acerca de cómo asignar, consulte “Botones asignables” en el manual de instrucciones.

Notas

- No puede iniciar el flujo si “Setting” en “Network” del menú System está ajustado en “Off”.
- Es posible que tarde unos diez segundos en transmitir el vídeo o audio actual después de comenzar el flujo.
- No es posible iniciar el flujo cuando esté reproduciendo un clip SD.
- Si establece el destino de la transmisión del flujo de forma incorrecta o la videocámara no se conecta a la red, aparece “x” en la pantalla como indicación del estado del flujo.

Detención del flujo

1 Ajuste “Setting” en “Off” en “Streaming” del menú System.

El flujo también se detiene al pulsar el botón asignable al que ha asignado la función “Streaming”.

Cuando la videocámara está conectada a un dispositivo a través de una red LAN inalámbrica (página 4) o se conecta a Internet con el modo de estación LAN inalámbrica (página 9), también puede ajustar el destino de transmisión e iniciar/detener el flujo desde el menú Web (página 14).

Utilización del mando a distancia Wi-Fi (solamente en el modelo PXW-X180)

Cuando se establece una conexión LAN inalámbrica entre un dispositivo, como un smartphone, un tablet y la videocámara, se muestra el mando a distancia Wi-Fi en la pantalla del dispositivo y el dispositivo se puede utilizar como mando a distancia.

Puede iniciar/detener la grabación y establecer los ajustes de grabación mediante un dispositivo conectado a una red Wi-Fi. Esta función resulta útil para colocar la videocámara en un lugar remoto, como en la parte superior de una grúa, etc.

Visualización del mando a distancia Wi-Fi

El tamaño de la pantalla del mando a distancia Wi-Fi cambia en función del tamaño de la pantalla del dispositivo automáticamente. Para obtener más información acerca de la pantalla del mando a distancia Wi-Fi, consulte el manual de instrucciones.

1 Establezca una conexión LAN inalámbrica entre el dispositivo y la videocámara (página 5).

2 Inicie el navegador e introduzca `http://<dirección IP de la videocámara>` (“menú System” > “Network” > “IP Address”)/`rm.html` en la barra de dirección.

Ejemplo: cuando la dirección IP sea 192.168.1.1, introduzca `http://192.168.1.1/rm.html` en la barra de dirección.

3 Introduzca el nombre de usuario y la contraseña (“menú System” > “Basic Authentication” > “User Name” o “Password”) en el navegador.

Una vez completada la conexión, la pantalla del mando a distancia Wi-Fi aparecerá en el dispositivo.

Utilice el mando a distancia Wi-Fi siguiendo la pantalla.

El botón REC dejará de estar disponible cuando se arrastre el interruptor de bloqueo hacia la derecha.

Puede visualizar el mando a distancia Wi-Fi mediante “Cam Remote Control” del menú Web (página 14).

Notas

- En función del dispositivo, es posible que el mando a distancia Wi-Fi no aparezca correctamente en la pantalla del dispositivo aunque introduzca `http://<dirección IP de la videocámara>/rm.html` en la barra de dirección. En tal caso, introduzca “rms.html” para un smartphone o “rmt.html” para un tablet en lugar de “rm.html” al final de la dirección para visualizar el mando a distancia Wi-Fi correctamente.
- Es posible que el mando a distancia Wi-Fi de la pantalla del dispositivo no se corresponda con el estado real de la videocámara en los siguientes casos. En caso de que esto suceda, actualice el navegador en el dispositivo.

- Cuando se reinicie la videocámara con la conexión Wi-Fi establecida
- Cuando se controle la videocámara directamente con la conexión Wi-Fi establecida
- Cuando se vuelva a conectar el dispositivo
- Cuando utilice/vuelva a utilizar el navegador del dispositivo.

- Si la señal de la Wi-Fi es deficiente, es posible que el mando a distancia Wi-Fi no funcione correctamente.


Acerca del menú Web (solamente en el modelo PXW-X180)

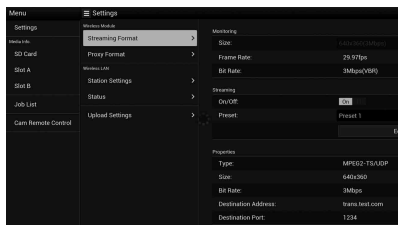
El menú Web de la videocámara aparece al acceder a esta desde el navegador de un dispositivo conectado a la videocámara a través de una conexión LAN inalámbrica. Puede establecer los ajustes de la función inalámbrica o la operación de transferencia del archivo.

Pantalla inicial

Cuando conecte la videocámara y el dispositivo y acceda a la videocámara desde el navegador del dispositivo, se mostrará la pantalla “SD Card” de “Media Info” de la videocámara en el navegador.

Acerca del menú de ajuste

El menú de ajuste aparecerá al tocar  en la parte superior izquierda de la pantalla. Toque el elemento que desee ajustar.



“Settings”

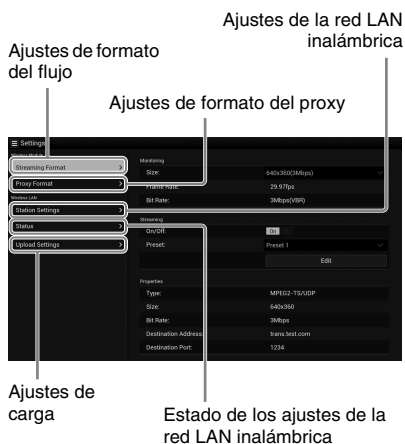
Muestra la pantalla correspondiente a los ajustes de la videocámara.

- “Wireless Module”
 - “Streaming Format”: ajustes de formato del flujo (página 14)
 - “Proxy Format”: ajustes de formato del proxy

- “Wireless LAN”
 - “Station Settings”: ajustes de la red LAN inalámbrica (página 16)
 - “Status”: estado de los ajustes de la red LAN inalámbrica (página 17)
- “Upload Settings”
 - Ajustes de carga (página 18)

Notas

- Cuando se muestre la pantalla “Settings”, aparecerá la pantalla de ajustes deseada al tocar lo siguiente.



“Media Info”

Muestra la pantalla de visualización del estado del soporte o de selección del archivo a cargar (página 10).

- “SD Card”: soporte insertado en la ranura PROXY SD de la videocámara.
- “Slot A”: soporte insertado en la ranura A para tarjetas de la videocámara.
- “Slot B”: soporte insertado en la ranura B para tarjetas de la videocámara.

“Job List”

Muestra la pantalla de administración de los archivos cargados (página 19).

“Cam Remote Control”

Muestra el mando a distancia Wi-Fi (página 13).

Ajustes de formato del flujo

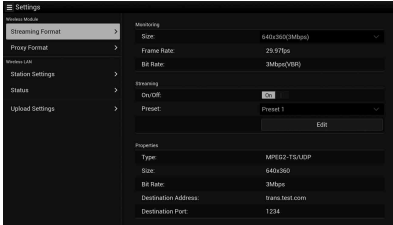
Puede establecer el formato del flujo que se controla con el dispositivo. Como alternativa, puede ajustar el destino de formato/transmisión del flujo que se transmite a través de Internet o de la red local.

Vídeo

- Perfil principal AVC/H.264, 4:2:0 Long GOP
- El tamaño se selecciona en los siguientes ajustes.

Audio

- Compresión AAC-LC
- Frecuencia de muestreo: 48 kHz
- Velocidad de bits: 128 kbps para estéreo



Ajustes de supervisión

Puede ajustar el formato cuando supervise el dispositivo terminal.

“Size” (“Supervisión”)

Ajuste el tamaño y la velocidad de bits del vídeo para la supervisión.

- “640 × 360”: 3 Mbps (VBR)
- “480 × 270”: 1 Mbps (VBR)
- “480 × 270”: 0,5 Mbps (VBR)

Notas

- La velocidad de bits es el valor medio. Es posible que la velocidad de bits real sea superior al valor medio.

“Frame Rate”

Muestra la velocidad de fotogramas del vídeo.

- “23,98fps”: 23,975 fps
- “25fps”: 25 fps
- “29,97fps”: 29,97 fps
- “50fps”: 50 fps
- “59,94fps”: 59,94 fps

Notas

- “24 fps” no se admite.

“Bit Rate”

- “3Mbps (VBR)”: 640 × 360
- “1Mbps (VBR)”: 480 × 270
- “0,5Mbps (VBR)”: 480 × 270

Ajustes del flujo

Puede establecer el formato o el destino de la transmisión del flujo. Se pueden preajustar hasta tres parámetros.

“On/Off”

Activa/desactiva la transmisión del flujo.

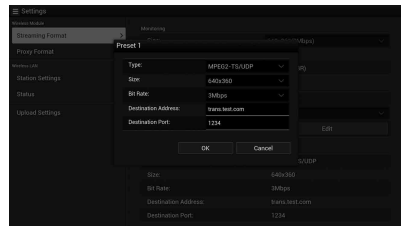
Notas

- Si “On” está seleccionado, la función de supervisión no está disponible.

“Preset”

Seleccione el valor preestablecido de “Preset 1” a “Preset 3”.

Puede editar “Preset” si toca “Edit”.



ES

“Type”

Seleccione el tipo el flujo de vídeo desde “MPEG-2 TS/UDP” o “MPEG-2 TS/RTP”.

“Size”

Establezca el tamaño del flujo de vídeo.

- “HD Auto”
- “1280 × 720”
- “640 × 360”
- “480 × 270”

Si selecciona “HD Auto”, el tamaño se ajusta en 1920 × 1080 o 1280 × 720 de acuerdo con la configuración del formato de grabación almacenado en la tarjeta de memoria SxS o el formato del clip que se va a reproducir.

“Bit Rate”

Ajuste la velocidad de bits del flujo de vídeo.

- “9Mbps”
- “6Mbps”
- “3Mbps”
- “2Mbps”
- “1Mbps”
- “0,5Mbps”

La velocidad de bits que se puede seleccionar depende del ajuste de “Size”.

Notas

- Es posible que se pierdan datos ya que los datos de vídeo/audio se transfieren a través de Internet. Asegúrese de que el destino de la transmisión puede recibir los datos del flujo. Los datos pueden enviarse por error a partes no deseadas debido a errores de configuración de la dirección.
- Es posible que no se reproduzcan todos los fotogramas en función del estado de la red.
- La calidad de la imagen puede deteriorarse en escenas con mucho movimiento.
- Es posible que no se reproduzcan todos los fotogramas cuando el flujo está ajustado en un tamaño grande con una velocidad de bits baja. Para evitar esto, seleccione un tamaño más pequeño en “Size”.
- Cuando “Bit Rate” (página 16) del ajuste del formato del proxy está ajustado en “9Mbps (VBR)”:
 - “Bit Rate” del ajuste del flujo no se puede establecer en un valor más alto que “6Mbps”.
 - Cuando selecciona un ajuste predeterminado cuyo “Bit Rate” está establecido en un valor superior a “6Mbps”, “Bit Rate” del ajuste del flujo cambia a “3Mbps” automáticamente.

“Destination Address”

Introduzca la dirección del servidor de destino de la transmisión para los datos del flujo.

“Destination Port”

Introduzca el número de puerto del servidor de destino de la transmisión utilizado para el flujo.

Ajustes de formato del proxy

Es posible ajustar el formato del archivo proxy que se graba en la tarjeta SD de la videocámara.

Vídeo

Proxy XAVC (perfil principal AVC/H.264, 4:2:0 Long GOP)

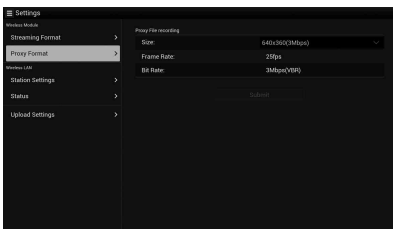
El tamaño se selecciona en los siguientes ajustes.

Audio

Compresión AAC-LC

Frecuencia de muestreo: 48 kHz

Velocidad de bits: 128 kbps para estéreo



“Size”

Ajuste el tamaño y la velocidad de bits del vídeo para el archivo proxy.

“1280 × 720”: 9 Mbps (VBR)

“640 × 360”: 3 Mbps (VBR)

“480 × 270”: 1 Mbps (VBR)

“480 × 270”: 0,5 Mbps (VBR)

Notas

- Cuando “Bit Rate” del ajuste del flujo está establecido en un valor superior a “6Mbps”, “9Mbps (VBR)” no se puede ajustar.

“Frame Rate”

Muestra la velocidad de fotogramas del vídeo.

“23,98 fps”: 23,975 fps

“25 fps”: 25 fps

“29,97 fps”: 29,97 fps

“50 fps”: 50 fps

“59,94 fps”: 59,94 fps

Notas

- “24 fps” no se admite.

“Bit Rate”

Muestra la velocidad de bits del vídeo.

“9 Mbps (VBR)”: 1280 × 720

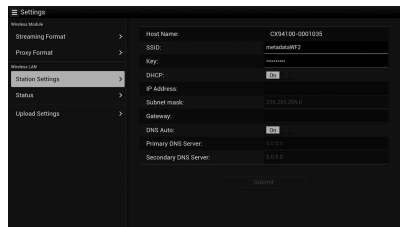
“3 Mbps (VBR)”: 640 × 360

“1 Mbps (VBR)”: 480 × 270

“0,5 Mbps (VBR)”: 480 × 270

Ajustes de la red LAN inalámbrica (Station Settings)

Puede llevar a cabo los ajustes de conexión a una red LAN inalámbrica.



“Host Name”

Muestra el nombre del host de la videocámara. (No se puede cambiar).

“SSID”

Muestra el SSID seleccionado en “Access Point”.

“Key”

Introduzca la contraseña del punto de acceso.

“DHCP”

Establezca el ajuste de DHCP. Cuando establezca el ajuste en “On”, la dirección IP se asignará a la videocámara automáticamente. Para asignar la dirección IP a la videocámara manualmente, establezca el ajuste “Off”.

“IP Address”

Introduzca la dirección IP de la videocámara. Este ajuste solamente se encuentra disponible cuando “DHCP” se encuentra ajustado en “Off”.

“Subnet mask”

Introduzca la máscara de subred de la videocámara. Este ajuste solamente se encuentra disponible cuando “DHCP” se encuentra ajustado en “Off”.

“Gateway”

Introduzca la pasarela predeterminada del punto de acceso. Este ajuste solamente se encuentra disponible cuando “DHCP” se encuentra ajustado en “Off”.

“DNS Auto”

Ajuste la función de adquisición automática DNS.

“Primary DNS Server”

Introduzca el servidor DNS principal del punto de acceso. Este ajuste solamente se encuentra disponible cuando “DNS Auto” se encuentra ajustado en “Off”. Cuando este ajuste está ajustado en “Off”, se adquiere manualmente.

“Secondary DNS Server”

Introduzca el servidor DNS secundario del punto de acceso. Este ajuste solamente se encuentra disponible cuando “DNS Auto” se encuentra ajustado en “Off”.

“Submit”

Confirma los ajustes de la red LAN inalámbrica.

Para conectarse al punto de acceso en el modo de estación sin la función WPS

1 Conecte el dispositivo a la videocámara en el modo de punto de acceso (página 5).

2 Establezca los elementos de la pantalla “Station Settings”.

Lleve a cabo ajustes de acuerdo con la configuración del punto de acceso. Si desea obtener información detallada acerca de la configuración del punto de acceso, consulte el manual de instrucciones de este.

3 Toque “Submit”.

A continuación, se confirmarán los elementos ajustados.

4 Ajuste el modo de funcionamiento de red LAN inalámbrica de la videocámara al modo de estación Wi-Fi mediante el ajuste de “Setting” en “Network” del menú System en “Wi-Fi Station”.

La videocámara comenzará a conectarse en el modo de estación. Lleve a cabo el procedimiento desde el paso 7 de “*Conexión al punto de acceso mediante la función WPS*” (página 7) para acceder a la videocámara desde el dispositivo.

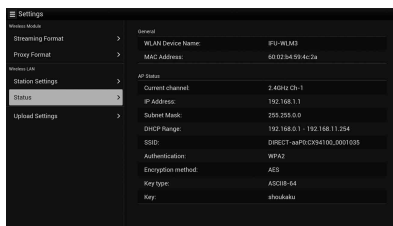
ES

Comprobación de los ajustes de la red LAN inalámbrica

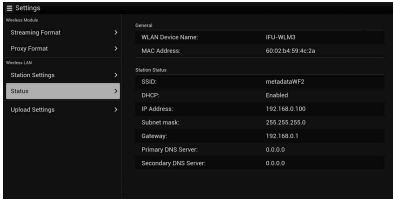
Abra la pantalla de comprobación de los ajustes de la red LAN inalámbrica tocando “Wireless LAN” > “Status”.

Los elementos mostrados varían en función del modo de red LAN inalámbrica de la videocámara.

Modo de punto de acceso



Modo de estación



Ajustes de carga

Puede registrar el servidor para cargar un archivo proxy o un archivo original que se encuentre grabado en la videocámara o cambiar el ajuste del servidor que se encuentra registrado.

Elimine el servidor registrado.

Cambie los ajustes del servidor.



Active/desactive la función de carga automática.

Registre el servidor.

“Auto Upload On/Off”

Cuando se ajuste “Auto Upload On/Off” en “On” y se conecte la videocámara a Internet, la videocámara cargará un archivo proxy automáticamente al servidor ajustado en el servidor predeterminado en “Upload Setting” tras la grabación.

“Sony Ci” se ajustará para el servidor de manera predeterminada.

Sony Ci es “Media Cloud Services” y está suministrado por Sony. Puede cargar archivos en el servicio de nube de Sony, Sony Ci.

Notas

- Para utilizar Sony Ci, es necesario registrarse. Si desea obtener más información, visite la página www.SonyMCS.com/wireless

Para registrar “Sony Ci”

1 Asegúrese de que se muestre “Sony Ci” en la pantalla “Upload Settings” y, a continuación, toque “Edit”.

A continuación, aparecerá la pantalla correspondiente a Sony Ci.

2 Introduzca el nombre de usuario en “User” y la contraseña en “Password”.

Si desea obtener más información, visite la página www.SonyMCS.com/wireless

3 Toque “Link”.

Tras unos momentos, se mostrará el mensaje de finalización.

Notas

- “Link” es la operación de asociación del usuario con la videocámara. Para ejecutar “Link”, necesitará conectar la videocámara a Internet.

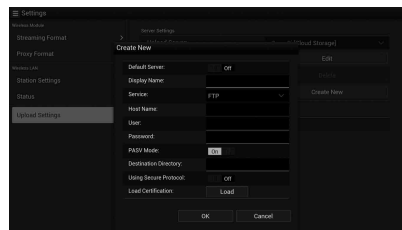
4 Toque “OK”.

Notas

- Una vez registrado en Sony Ci, se mostrará la opción “Unlink” en la pantalla de ajuste. Si toca “Unlink”, se desvinculará la cuenta de usuario actual y podrá vincularse con una cuenta de usuario diferente.

Registro del servidor para cargar

La pantalla de ajuste aparece al tocar “Create New”.



El ajuste se aplica al tocar “OK”. Para cancelar, toque “Cancel”.

“Default Server”

Cuando establezca el ajuste “On”, el servidor tendrá prioridad a la hora de mostrar el nombre del servidor en la lista a la hora de cargar.

“Display Name”

Introduzca el nombre del servidor mostrado en la lista.

“Service”

Muestra el tipo de servidor.

“FTP”: servidor FTP

“Host Name”

Introduzca la dirección del servidor.

“User”

Introduzca el nombre de usuario del servidor.

“Password”

Introduzca la contraseña del servidor.

“PASV Mode”

Active/desactive el modo PASV.

“Using Secure Protocol”

Ajuste si desea llevar a cabo la carga a través de FTP segura.

“Load Certification”

Permite leer el certificado de CA.

- Formatee el certificado leído en formato PEM y almacénelo en el directorio raíz de una tarjeta SD con el nombre del archivo, “certification.pem”.

“Clear Certification”

Permite borrar el certificado de CA.

Notas

- La comunicación de datos a través de FTP no está cifrada. Es recomendable utilizar el FTPS.

Cambio de los ajustes del servidor registrados

Toque “Edit” tras seleccionar el servidor del que desee cambiar la configuración en la pantalla “Upload Settings”. Cambie los ajustes en la pantalla de cambio de ajustes.

Para obtener información detallada acerca del ajuste de los elementos, consulte “Registro del servidor para cargar” (página 18).

Eliminación del servidor registrado

Toque “Delete” tras seleccionar el servidor que desee eliminar en la pantalla “Upload Settings”. En cuanto aparezca la pantalla de confirmación, toque “OK”. El servidor seleccionado se eliminará y se volverá a mostrar la pantalla anterior.

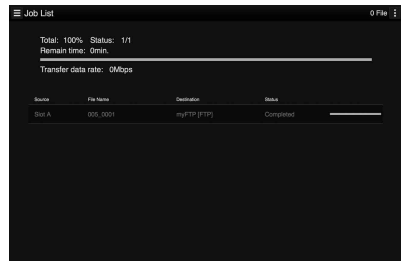
Comprobación de la transferencia de archivos (Job List)

Puede comprobar la lista de archivos a cargar, el archivo que se está cargando, cancelar o iniciar la carga de archivos y eliminar el archivo de la lista de archivos.

La videocámara es compatible con la función de reanudación de FTP (función de repetición de la carga de archivos cuya transferencia se ha suspendido).

Notas

- La función de reanudación FTP solamente se encuentra disponible para el servidor compatible.



- “Total”: progreso de todos los archivos a cargar.
- “Status”: progreso del archivo que se está cargando actualmente.
- “Remain Time”: tiempo restante de carga estimado.
- “Transfer data rate”: indicación de la velocidad de transferencia.

Para cancelar o iniciar una carga o para eliminar un archivo de la lista de archivos

1 Seleccione el archivo de la lista.

2 Toque en la parte superior derecha de la pantalla.

Seleccione el elemento.

- “Abort selected”: cancela la carga del archivo seleccionado.
- “Delete from list”: elimina el archivo seleccionado de la lista.
- “Start selected”: inicia la carga del archivo seleccionado.
- “Select All”: selecciona todos los archivos de la lista.
- “Clear completed”: elimina la lista de todos los archivos cargados.

Lista de menús de configuración

A continuación se enumeran las funciones y los ajustes disponibles en los menús que se han añadido recientemente.

Los ajustes por defecto de fábrica aparecen en negrita (por ejemplo: **Off**).

Recording		
Elementos de menú	Elementos secundarios y valores de ajuste	Contenidos
Picture Cache Rec	Setting On / Off	Activa/desactiva la función de grabación de caché de la imagen.
Ajustes para la función de grabación de caché de la imagen	Cache Rec Time XAVC-I / XAVC-L 0-2sec / 2-4sec / 4-6sec / 6-8sec MPEG HD422 / MPEG HD420 / DVCAM 0-2sec / 2-4sec / 4-6sec / 6-8sec / 8-10sec / 10-12sec / 12-14sec / 13-15sec	Ajusta el tiempo de grabación de caché de la imagen.

Paint		
Elementos de menú	Elementos secundarios y valores de ajuste	Contenidos
White	Filter White Memory On / Off	Activa/desactive la función de memoria del filtro blanco.
Ajustes del balance de blancos		

System		
Elementos de menú	Elementos secundarios y valores de ajuste	Contenidos
Network (Solamente en el modelo PXW-X180) Ajustes de la conexión de red y elementos de visualización correspondientes	NFC Execute / Cancel	Selecciona si desea activar o no la función NFC. Cuando “Execute” está seleccionado, la función NFC se activa y “Setting” se ajusta en “Wi-Fi Access Point” de forma temporal y la videocámara entra en modo de espera para NFC. Si se selecciona “Cancel”, se vuelven a establecer los ajustes anteriores.
	Setting Wi-Fi Access Point / Wi-Fi Station / Modem / Off	Ajusta el modo de funcionamiento de la conexión de red.
	Channel Auto / CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13	Ajuste el canal de la red LAN inalámbrica.
	SSID & Password	Muestra el SSID y la contraseña de la LAN inalámbrica.
	WPS Execute / Cancel	Inicia Wi-Fi Protected Setup (WPS).

Notas

- Cuando utilice el adaptador USB-RJ45, seleccione “Modem”.

System		
Elementos de menú	Elementos secundarios y valores de ajuste	Contenidos
Network	Device Name	Muestra el nombre del dispositivo de red que está utilizando.
	IP Address	Muestra la dirección IP de la videocámara.
	Subnet Mask	Muestra la máscara de subred de la videocámara.
	MAC Address	Muestra la dirección MAC del módulo LAN inalámbrico de la videocámara.
	Regenerate Password Execute / Cancel	Regenera la contraseña. Execute: ejecuta esta función.
Streaming (Solamente en el modelo PXW-X180) Ajustes de la conexión del flujo y elementos de visualización correspondientes	Setting	Active/desactive la función para transmitir el flujo.
	Preset Select	Seleccione el ajuste predeterminado del flujo.
	Preset1 Size (HD Auto / 1280 × 720 / 640 × 360 / 480 × 270)	Ajusta el tamaño de imagen para el flujo. Si selecciona “HD Auto”, el tamaño se ajusta en “1920 × 1080” o “1280 × 720” de acuerdo con la configuración del formato de grabación almacenado en la tarjeta de memoria SxS o el formato del clip que se va a reproducir.
	Bit Rate (9Mbps / 6Mbps / 3Mbps / 2Mbps / 1Mbps / 0.5Mbps)	Ajuste la velocidad de bits del vídeo que desea transmitir. La velocidad de bits que se puede seleccionar depende del valor de ajuste de “Size”.
Type (MPEG-2 TS/UDP / MPEG-2 TS/RTP)		Seleccione el tipo de flujo de vídeo.

Notas

- Este ajuste se desactiva cuando vuelve a encender la alimentación.
- Cuando activa el flujo, la función de supervisión no está disponible.

Notas

- Es posible que se pierdan datos ya que los datos de vídeo/audio se transfieren a través de Internet. Asegúrese de que el destino de la transmisión puede recibir los datos del flujo.
- Los datos puede enviarse por error a partes no deseadas debido a errores de configuración de la dirección.
- Es posible que no se reproduzcan todos los fotogramas en función del estado de la red.
- La calidad de la imagen puede deteriorarse en escenas con mucho movimiento.
- Es posible que no se reproduzcan todos los fotogramas cuando el flujo está ajustado en un tamaño grande con una velocidad de bits baja. Para evitar esto, seleccione un tamaño más pequeño en “Size”.
- Cuando “Bit Rate” (página 16) del ajuste del formato del proxy está ajustado en “9Mbps (VBR)”:
 - “Bit Rate” del ajuste del flujo no se puede ajustar en un valor superior a “6Mbps”.
 - Cuando selecciona un ajuste predeterminado cuyo “Bit Rate” está establecido en un valor superior a “6Mbps”, “Bit Rate” del ajuste del flujo cambia a “3Mbps” automáticamente.

System		
Elementos de menú	Elementos secundarios y valores de ajuste	Contenidos
Streaming	Destination Address (Cadena de caracteres. 0.0.0.0)	Introduzca la dirección del servidor para la transmisión del flujo.
	Destination Port (de 1 a 65545. 1234)	Introduzca el número de puerto que se utiliza para transmisión del servidor de destino.
	Preset2	
	Preset3	

Apéndice

A continuación se añade información adicional del manual de instrucciones suministrado con la videocámara.

Notas sobre la grabación

Cuando el indicador de acceso está iluminado o parpadeando en color rojo, la videocámara está leyendo o escribiendo datos en un soporte de grabación. No sacuda ni aplique demasiada fuerza a la videocámara, no apague la alimentación, ni retire el soporte de grabación, la batería o el adaptador de alimentación de ca. De lo contrario, es posible que los datos de imagen se destruyan.

Gestión de archivos de imágenes en un ordenador

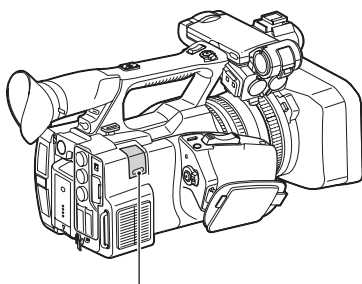
- Los datos de imágenes no se pueden reproducir si ha modificado nombres de archivos o carpetas o si ha editado los datos en un ordenador (cuando visualiza imágenes fijas el nombre del archivo parpadea). No se trata de un fallo de funcionamiento.
- Si elimina archivos de gestión de archivos en un ordenador, no podrá grabar ni reproducir las imágenes correctamente. La propiedad predeterminada del archivo de gestión de imágenes aparece oculta y por lo tanto, normalmente no se muestra.

Sono state aggiunte nuove funzioni alla videocamera grazie all'aggiornamento del firmware. Le nuove funzioni e le rispettive operazioni aggiunte alle videocamere PXW-X180/PXW-X160 con l'aggiornamento del firmware "Ver. 2.0" sono descritte qui. Consultare il Manuale delle istruzioni della videocamera.

Posizione e funzione dei componenti

Vengono di seguito descritte solo le funzioni nuove.

Corpo



Sezione retrattile del modulo LAN wireless USB (solo PXW-X180) (5, 9)

Installando sulla videocamera il modulo LAN wireless USB IFU-WLM3 (in dotazione), il modem (in vendita separatamente) o l'adattatore USB-RJ45 in dotazione con l'adattatore di rete CBK-NA1 (in vendita separatamente), è possibile realizzare il collegamento ai dispositivi LAN wireless o ad una rete.

Schermate di stato

Nella "schermata di Stato", la voce "Wi-Fi (solo PXW-X180)" nella "schermata di Stato del sistema" è sostituita dalla "schermata di Stato della rete", aggiunta di recente.

Schermata di stato della rete

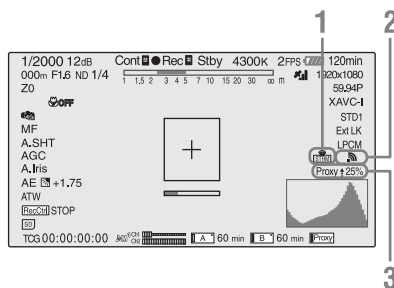
Visualizza le impostazioni o lo stato della rete.

Setting	Stato delle impostazioni di rete.
Device Name	Nome del dispositivo collegato alla sezione retrattile del modulo LAN wireless USB.
IP Address	Indirizzo IP della videocamera.

Streaming Status	Stato della distribuzione streaming.
Streaming Size	Dimensioni di immagine delle impostazioni Streaming attualmente selezionate.
Streaming Bit Rate	Velocità in bit delle impostazioni Streaming attualmente selezionate.
Streaming Type	Tipo delle impostazioni Streaming attualmente selezionate.
Streaming Dest. Add.	Indirizzo di destinazione a cui viene trasmesso lo streaming.
Streaming Dest. Port	Porta di destinazione a cui viene trasmesso lo streaming.

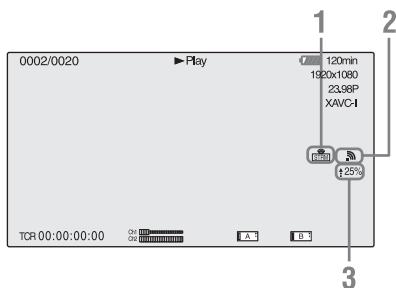
Schermo LCD/Mirino

Informazioni visualizzate sullo schermo durante la registrazione



- 1. Indicazione dello stato di streaming (solo PXW-X180)**
Visualizza lo stato dello streaming.
- 2. Indicazione dello stato di connessione alla rete (solo PXW-X180)**
Visualizza quando la rete è abilitata.
- 3. Indicazione dello stato del supporto proxy (solo PXW-X180)**
Visualizza lo stato di impostazione della registrazione proxy e lo stato di trasmissione dei file proxy.

Informazioni visualizzate nella schermata di riproduzione



1. Indicazione dello stato di streaming (solo PXW-X180)

2. Indicazione dello stato di connessione alla rete (solo PXW-X180)

3. Indicazione dello stato di caricamento proxy (solo PXW-X180)

Visualizza lo stato di trasmissione dei file proxy.

Picture Cache Rec

La videocamera è dotata di memoria interna sufficiente per pre-memorizzare fino a 15 secondi di dati video e audio in una cache immagini. In questo modo è possibile iniziare a registrare con un anticipo di un certo numero di secondi rispetto al momento in cui si preme un tasto di registrazione.

Selezione della modalità cache immagini/impostazione del tempo cache immagini

Prima di registrare in modalità cache immagini, è necessario abilitare la modalità cache immagini e selezionare il tempo cache immagini per memorizzare le immagini nella cache nel menu Recording (pagina 20).

Il tempo cache immagini determina con quanto anticipo è possibile iniziare la registrazione, effettuando il conto alla rovescia dei secondi dall'operazione che avvia la registrazione. Si noti che potrebbe non essere possibile iniziare con molto anticipo nei casi speciali illustrati nelle seguenti note.

Note

- La memorizzazione dei dati di immagine nella memoria inizia quando si seleziona la modalità cache immagini. Pertanto, se si inizia la registrazione subito dopo aver selezionato la modalità cache immagini, i dati di immagine precedenti alla selezione non vengono registrati.
- Nessun dato viene registrato nella memoria cache immagini durante la riproduzione o la visione della registrazione e la visualizzazione di miniature. Non è possibile registrare dati di immagine dal momento in cui si stava effettuando la riproduzione o una revisione di registrazione.

Impostazione della modalità cache immagini/tempo cache immagini

Note

- La registrazione cache delle immagini non è disponibile in modalità Slow & Quick Motion o in modalità Clip Continuous Rec. Quando la registrazione cache delle immagini è abilitata, Slow & Quick Motion e Clip Continuous Rec non sono disponibili. Quando è abilitato Slow & Quick Motion o Clip Continuous Rec, la modalità cache immagini è automaticamente disabilitata.
- I dati memorizzati nella memoria cache immagini vengono eliminati quando si modificano le impostazioni di sistema, ad esempio selezionando un formato video differente. I dati di immagine precedenti alla modifica non vengono registrati, nemmeno se si inizia la registrazione subito dopo la modifica. La modalità cache immagini è automaticamente disabilitata.
- Non è possibile impostare il tempo cache immagini durante la registrazione.
- AVCHD non è supportato.

1 Selezionare “Picture Cache Rec” > “On” > “Setting” nel menu Recording.

Per i dettagli sull'utilizzo del menu, consultare “Operazioni del menu di configurazione” nel Manuale delle istruzioni.

2 Selezionare il tempo cache immagini di “Cache Rec Time” in “Picture Cache Rec”.

La modalità cache immagini selezionata è abilitata fino a che non viene modificata.

Utilizzo dei tasti assegnabili

È possibile assegnare la Registrazione cache immagini a un tasto assegnabile. Per i dettagli sull'assegnazione, consultare "Tasti assegnabili" nel Manuale delle istruzioni.

Premere il tasto che è stato assegnato per abilitare la modalità Cache immagini.

Gestione dei dati della videocamera durante la registrazione nella modalità cache immagini

Le procedure di registrazione nella modalità cache immagini sono essenzialmente le stesse della normale registrazione. Tuttavia, si notino le seguenti differenze relative alla gestione dei video, del tempo e dei dati in uscita da parte della videocamera.

- Se si avvia la registrazione durante l'accesso al supporto, il punto di avvio del video che viene effettivamente registrato potrebbe essere successivo rispetto al tempo cache immagini attualmente specificato. Poiché il ritardo cresce all'aumentare del numero di clip registrati, è necessario evitare operazioni di registrazione con avvio-e-arresto rapido in modalità cache immagini.
- A prescindere dall'impostazione "Run" di "Timecode" nel menu TC/UB, la modalità di avanzamento del generatore di timecode interno è sempre "Free Run".
- Nella modalità cache immagini non è possibile impostare i dati temporali. Per impostare i dati temporali, uscire dalla modalità cache immagini.
- I marcatori Shot non vengono registrati se sono impostati prima dell'operazione di avvio della registrazione.

In caso di spegnimento durante la registrazione

- Se si imposta l'interruttore ON/STANDBY della videocamera su STANDBY, la videocamera si spegne automaticamente dopo pochi secondi, durante i quali viene effettuato l'accesso al supporto per registrare i dati video e audio archiviati nella memoria della videocamera fino a quel punto.

- Se si verifica uno spegnimento in seguito alla rimozione della batteria, allo scollegamento del cavo CC o allo spegnimento sul fianco dell'alimentatore CA, i dati video e audio archiviati nella memoria vanno perduti. I dati archiviati nella memoria non vengono registrati. Attenzione ad evitare che ciò avvenga quando si sostituisce la batteria.

Memoria del bilanciamento del bianco in base alla posizione del filtro ND

La videocamera memorizza automaticamente il valore di regolazione del bilanciamento del bianco in base alla posizione del filtro ND e all'impostazione dell'interruttore WHT BAL (A o B). La videocamera dispone di cinque posizioni del filtro ND (CLEAR, da PRESET 1 a 3, e VARIABLE), che, combinate con l'impostazione dell'interruttore A o B, consentono dieci valori di regolazione.

Impostazioni Filter White Memory

Selezionare "On" di "Filter White Memory" nel menu Paint (*pagina 20*). Quando "Off" è selezionato, il numero di memoria è limitato a uno sia per l'interruttore A che B e la memoria non è collegata alla posizione del filtro ND.

Connessione a un altro dispositivo tramite LAN wireless (solo PXW-X180)

È possibile effettuare una connessione LAN wireless tra la videocamera e un dispositivo, ad esempio uno smartphone o un tablet, collegando il modulo LAN wireless USB IFU-WLM3 in dotazione.

Note

- Non è possibile utilizzare un modulo LAN wireless USB diverso dal modello IFU-WLM3.

La connessione LAN wireless tra un dispositivo e la videocamera consente di eseguire le seguenti operazioni.

- **Comando a distanza tramite LAN wireless**
È possibile comandare a distanza la videocamera da uno smartphone, un tablet o un computer connesso alla videocamera tramite LAN wireless.
- **Monitoraggio video tramite LAN wireless**
È possibile creare uno stream (H.264) dal video/audio di una videocamera e monitorare il video/audio utilizzando l'applicazione "Content Browser Mobile" installata su uno smartphone o un tablet tramite LAN wireless.

Applicazione "Content Browser Mobile"

È possibile comandare la videocamera a distanza durante il monitoraggio dell'audio/video della videocamera ed eseguire le impostazioni della videocamera utilizzando l'applicazione "Content Browser Mobile".

Per i dettagli sull'applicazione "Content Browser Mobile", contattare il rivenditore Sony o un rappresentante dell'assistenza Sony.

Dispositivi compatibili

È possibile utilizzare uno smartphone, un tablet o un computer per impostare e comandare la videocamera. I dispositivi, i sistemi operativi e i browser compatibili sono indicati di seguito.

Dispositivo	Sistema operativo	Browser
Smartphone	Android 4.4	Chrome
	iOS 8	Safari
Tablet	Android 4.4	Chrome
	iOS 8	Safari
Computer	Microsoft Windows 7	Chrome
	Microsoft Windows 8	
	Mac OS 10.9/10.10	Safari

Collegamento del modulo IFU-WLM3

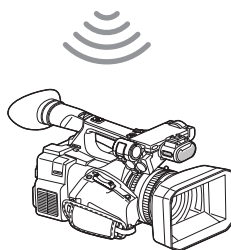
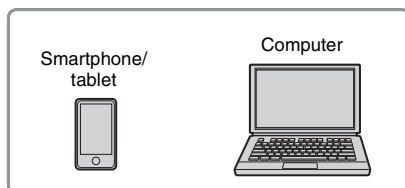
- 1 **Aprire il coperchio della sezione retrattile per modulo LAN wireless USB (pagina 2).**
- 2 **Inserire il modulo IFU-WLM3 nel connettore USB.**
- 3 **Chiudere il coperchio.**

Note

- Quando si installa/rimuove l'IFU-WLM3, impostare sia "Setting" in "Proxy Recording Mode" del menu Recording che "Setting" in "Network" del menu System su "Off", oppure spegnere la videocamera.

Connessione con la modalità punto di accesso LAN wireless

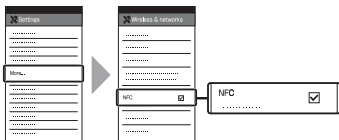
La videocamera funziona come un punto di accesso e si connette a un dispositivo tramite LAN wireless.



Connessione a un dispositivo NFC compatibile con un'operazione One-touch

È possibile connettere la videocamera a un dispositivo NFC compatibile con un'operazione One-touch utilizzando la funzione NFC.


- 1 **Avviare “Settings” sul dispositivo, selezionare “Other Settings”, quindi selezionare la casella di controllo “NFC”.**




- 2 **Accendere la videocamera.**

- 3 **Attivare la funzione NFC.**

Impostare la videocamera sulla modalità di connessione NFC tenendo premuto il tasto ASSIGN 3/NFC (per 3 secondi), oppure attivare “NFC” in “Network” del menu System.

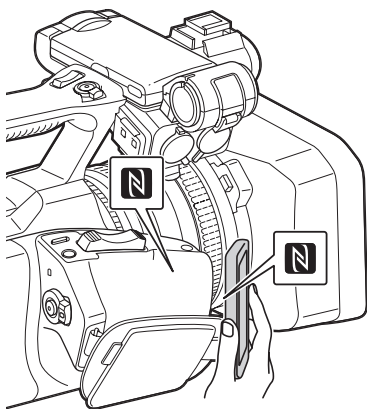
La funzione NFC è disponibile quando sullo schermo viene visualizzato .

Note

- La comparsa di  sullo schermo potrebbe richiedere tempo (da 30 a 60 secondi). Attendere che l’indicazione “AP” lampeggiante relativa allo stato di connessione alla LAN wireless sullo schermo LCD/mirino (pagina 2) si accenda.

- 4 **Tenere lo smartphone vicino alla videocamera.**

Lo smartphone viene connesso alla videocamera, quindi viene avviato “Content Browser Mobile”.



Note

- Annullare anticipatamente la funzione di sospensione o blocco dello schermo dello smartphone.

- Tenere il dispositivo vicino alla videocamera, senza muoverlo, fino all’avvio di “Content Browser Mobile” (da 1 a 2 secondi).

Connessione a un dispositivo WPS compatibile

È possibile connettere la videocamera a un dispositivo WPS compatibile utilizzando la funzione WPS.

- 1 **Impostare la modalità di funzionamento di rete della videocamera sulla modalità punto di accesso Wi-Fi impostando “Setting” in “Network” del menu System su “Wi-Fi Access Point”.**

Note

- L’attivazione della modalità punto di accesso Wi-Fi della videocamera potrebbe richiedere tempo (da 30 a 60 secondi). Attendere che l’indicazione “AP” lampeggiante relativa allo stato di connessione di rete sullo schermo LCD/mirino (pagina 2) si accenda.

- 2 **Attivare “WPS” in “Network” del menu System.**

- 3 **Selezionare “Network Setting” > “Wi-Fi Setting” sul dispositivo, quindi attivare “Wi-Fi”.**

- 4 **Selezionare l’SSID dall’elenco di SSID in “Wi-Fi Network” sul dispositivo, quindi selezionare “WPS Push Button” in “Option” sul dispositivo.**

Note

- Il metodo di funzionamento dipende dal dispositivo.

- 5 **Avviare il browser sul dispositivo e accedere a “http://192.168.1.1:8080/index.html”.**

Viene visualizzata la schermata per l’inserimento di “User Name” e “Password”.

- 6 **Inserire il nome utente e la password, quindi selezionare “OK”.**

Per il nome utente e la password di autenticazione dell’accesso, controllare “Basic Authentication” del menu System.

Per i dettagli, consultare “Menu System” nel Manuale delle istruzioni.

Connessione mediante inserimento di SSID e password su un dispositivo

È possibile connettere la videocamera a un dispositivo inserendo un SSID e una password sul dispositivo.

- 1 Impostare la modalità di funzionamento di rete della videocamera sulla modalità punto di accesso Wi-Fi impostando “Setting” in “Network” del menu System su “Wi-Fi Access Point”.**

Note

- L'attivazione della modalità punto di accesso Wi-Fi della videocamera potrebbe richiedere tempo (da 30 a 60 secondi). Attendere che l'indicazione “AP” lampeggiante relativa allo stato di connessione di rete sullo schermo LCD/ mirino (*pagina 2*) si accenda.

- 2 Selezionare “Network Setting” > “Wi-Fi Setting” sul dispositivo, quindi attivare “Wi-Fi”.**

- 3 Connettere il dispositivo alla videocamera selezionando l'SSID della videocamera dall'elenco di SSID in “Wi-Fi Network” e inserendo la password sul dispositivo.**

Per il SSID e la password della videocamera, controllare “SSID & Password” in “Network” del menu System (*pagina 20*).

Note

- Il metodo di funzionamento dipende dal dispositivo.

- 4 Avviare il browser sul dispositivo e accedere a “<http://192.168.1.1:8080/index.html>”.**

Viene visualizzata la schermata per l'inserimento di “User Name” e “Password”.

- 5 Inserire il nome utente e la password, quindi selezionare “OK”.**

Per il nome utente e la password di autenticazione dell'accesso, controllare “Basic Authentication” del menu System. Per i dettagli, consultare “Menu System” nel Manuale delle istruzioni.

Connessione con la modalità stazione LAN wireless

La videocamera si connette a un punto di accesso esistente nella LAN wireless come client. La videocamera e il dispositivo si connettono attraverso il punto di accesso.



Connessione al punto di accesso con la funzione WPS

Se il punto di accesso è compatibile con la funzione WPS, è possibile connettersi al punto di accesso con impostazioni semplificate. Se il punto di accesso non è compatibile con la funzione WPS, vedere “Per connettersi al punto di accesso nella modalità stazione senza la funzione WPS” (*pagina 17*).

- 1 Accendere il punto di accesso.**
- 2 Accendere la videocamera.**
- 3 Impostare la modalità di funzionamento di rete della videocamera sulla modalità stazione Wi-Fi impostando “Setting” in “Network” del menu System su “Wi-Fi Station”.**

Note

- L'attivazione della modalità stazione Wi-Fi della videocamera potrebbe richiedere tempo (da 30 a 60 secondi). Attendere che l'indicazione di stato del segnale lampeggiante relativa allo stato di connessione alla LAN wireless di rete sullo schermo LCD/mirino (pagina 2) si accenda.

4 Attivare “WPS” in “Network” del menu System.

5 Premere il tasto WPS del punto di accesso.

Per informazioni sull'uso del tasto WPS, consultare le istruzioni per l'uso del punto di accesso.

Una volta completata la connessione, l'indicazione di stato del segnale relativa allo stato di connessione alla LAN wireless (pagina 2) si accende con un'intensità superiore a 1.

Note

- Se la connessione non riesce, ripetere la procedura dal punto 1.

6 Connettere il dispositivo al punto di accesso.

Per informazioni sulla connessione, consultare le istruzioni per l'uso del dispositivo.

7 Avviare il browser sul dispositivo e accedere a “http://<indirizzo IP assegnato dal punto di accesso alla videocamera>:8080/index.html”.

Per conoscere l'indirizzo IP della videocamera, controllare “IP Address” in “Network” del menu System.

Viene visualizzata la schermata per l'inserimento di “User Name” e “Password”.

8 Inserire il nome utente e la password, quindi selezionare “OK”.

Nel browser viene visualizzato il menu Web della videocamera. Per i dettagli, vedere “Informazioni sul menu Web (solo PXW-X180)” (pagina 14).

Per il nome utente e la password di autenticazione dell'accesso, controllare “Basic Authentication” del menu System.

Connessione a Internet (solo PXW-X180)

È possibile connettere la videocamera a Internet collegando ad essa un modem opzionale, un modulo USB wireless IFU-WLM3 (in dotazione), o un adattatore USB-RJ45 in dotazione con un kit adattatore per reti opzionale CBK-NA1.

Collegamento con modem

È possibile connettere la videocamera a Internet tramite una rete 3G/4G collegando un modem opzionale all'unità.

Collegamento del modem alla videocamera

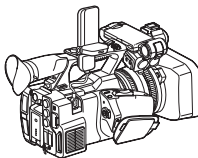
1 Aprire il coperchio della sezione retrattile per modulo LAN wireless USB (pagina 2).

2 Collegare l'adattatore estensione per il modulo di rete in dotazione con il kit adattatore per reti opzionale CBK-NA1 alla videocamera.

Collegare il terminale convesso al terminale per il modulo LAN wireless USB sulla videocamera e collegare il terminale concavo al modem. È possibile collegare l'adattatore al foro per viti (0,64 cm) dell'attacco per slitta portaccessori.



Internet



Adattatore estensione per modulo di rete + Modem

3 Collegare il modem all'adattatore estensione per modulo di rete.

Note

- Quando si collega o si rimuove il modem dalla videocamera, eseguire una delle seguenti operazioni:
 - Impostare “Setting” in “Proxy Recording Mode” del menu Recording e “Setting” in “Network” del menu System su “Off”.
 - Spegnerne la videocamera.

Connessione

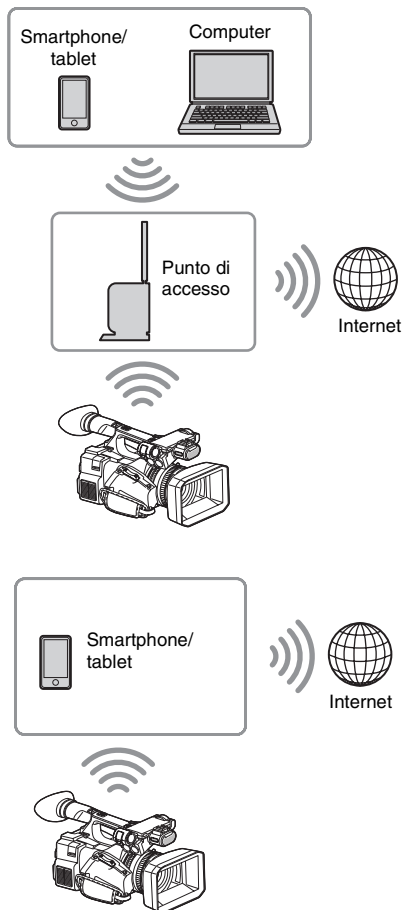
1 Impostare la modalità di funzionamento di rete della videocamera sulla modalità modem impostando “Setting” in “Network” del menu System su “Modem”.

Note

- L'attivazione della modalità modem della videocamera potrebbe richiedere tempo (da 30 a 60 secondi). Attendere che l'indicazione “3G/4G” lampeggiante relativa allo stato di connessione di rete sullo schermo LCD/mirino (pagina 2) si accenda.

Connessione con la modalità stazione Wi-Fi LAN wireless

È possibile connettere la videocamera a Internet nella modalità stazione Wi-Fi collegando il modulo LAN wireless USB IFU-WLM3 (in dotazione), tramite un punto di accesso 3G/4G/LTE opzionale o tramite tethering a un dispositivo.



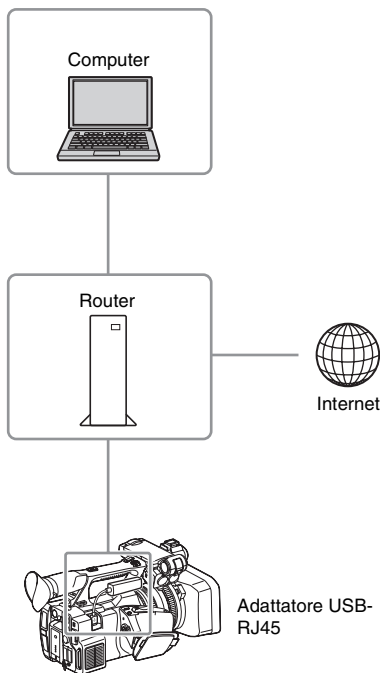
Connessione

Se il punto di accesso o il dispositivo è compatibile con la funzione WPS, connettere la videocamera a Internet eseguendo le procedure di “Connessione al punto di accesso con la funzione WPS” (pagina 7). Se il punto di accesso o il dispositivo non è compatibile con la funzione WPS, connettere la videocamera a Internet eseguendo le procedure di “Per connettersi al punto di accesso nella modalità stazione senza la funzione WPS” (pagina 17).

Prima della connessione, accendere il punto di accesso o il dispositivo e attivare la sua funzione di tethering.

Connessione a Internet con un cavo LAN

È possibile connettere la videocamera a Internet collegando l'adattatore USB-RJ45 in dotazione con il kit adattatore per reti opzionale CBK-NA1, tramite cavi LAN collegati a un router Internet.



Collegamento dell'adattatore USB-RJ45 alla videocamera

- 1 Aprire il coperchio della sezione retrattile per modulo LAN wireless USB (pagina 2).
- 2 Collegare l'adattatore USB-RJ45 alla videocamera.

Per i dettagli sul collegamento, consultare il Manuale di installazione del kit adattatore per reti.

Note

- Quando si collega o si rimuove l'adattatore USB-RJ45 dalla videocamera, eseguire una delle seguenti operazioni:
 - Impostare "Setting" in "Proxy Recording Mode" del menu Recording e "Setting" in "Network" del menu System su "Off".
 - Spegnere la videocamera.

Connessione

- 1 Impostare la modalità di funzionamento di rete della videocamera sulla modalità modem impostando "Setting" in "Network" del menu System su "Modem".

Note

- L'attivazione della modalità LAN cablata della videocamera potrebbe richiedere tempo (da 30 a 60 secondi). Attendere che l'indicazione "3G/4G" lampeggiante relativa allo stato di connessione di rete sullo schermo LCD/mirino (pagina 2) si accenda.
- Quando si connette la videocamera con un cavo LAN, le voci di menu e le informazioni visualizzate nel monitor sono le stesse di quando la videocamera è connessa con un modem.

Caricamento di un file (solo PXW-X180)

È possibile caricare un file proxy o un file originale registrato sulla videocamera sul server su Internet tramite un punto di accesso o una linea 3G/4G/LTE.

Operazioni di preparazione

Per connettersi a Internet

Connettere la videocamera a Internet attenendosi alla procedura di "Connessione a Internet (solo PXW-X180)" (pagina 8).

Per registrare il server per il caricamento

Registrare anticipatamente il server per il caricamento.

Per i dettagli sulla registrazione del server, vedere "Registrare il server per il caricamento" (pagina 18).

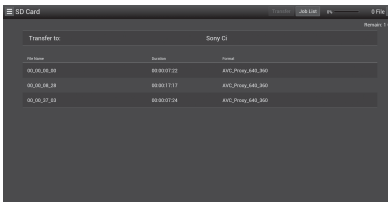
Selezione del file e caricamento

Caricare sul server il file proxy registrato su una scheda SD, o il file originale registrato su una scheda di memoria SxS.

Caricamento di un file proxy su una scheda SD

- 1 Connettere un dispositivo alla videocamera tramite LAN wireless, avviare il browser sul dispositivo, quindi accedere alla videocamera dal browser (pagina 4).**
- 2 Visualizzare la schermata di elenco dei file per selezionare il file.**

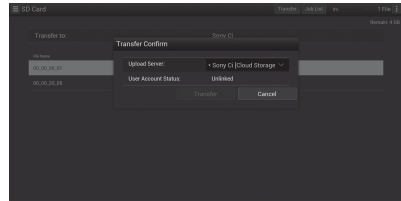
Toccare “☰” > “Media Info” > “SD Card”. Viene visualizzata la schermata “SD Card”.



- 3 Selezionare il file.**

Toccare il file per selezionarlo. Toccare di nuovo il file per annullare. È possibile controllare il file toccandolo due volte per riprodurlo.
- 4 Toccare “Transfer”.**

Viene visualizzato il server impostato come predefinito in “Default Server” in “Registrare il server per il caricamento” (pagina 18). Per cambiare il server, toccare il server per visualizzare l’elenco di server e selezionare un server. Inserire la directory per il server in “Directory”, se necessario.



- 5 Toccare “Transfer”.**

La videocamera avvia il caricamento del file selezionato. Per annullare il caricamento, toccare “Cancel”.

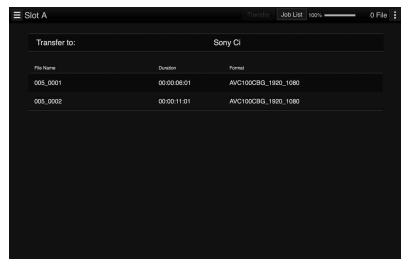
Caricamento di un file originale su una scheda di memoria SxS

- 1 Connettere un dispositivo alla videocamera tramite LAN wireless, avviare il browser sul dispositivo terminale, quindi accedere alla videocamera dal browser (pagina 4).**
- 2 Portare la videocamera nella modalità trasferimento file.**

Eseguire “File Transfer” in “File Transfer” del menu System per portare la videocamera nella modalità dedicata per il caricamento del file originale.
- 3 Visualizzare la schermata di elenco dei file per selezionare il file.**

Toccare “☰” > “Media Info” > “Slot A” (per una scheda di memoria nello slot A) o “Slot B” (per una scheda di memoria nello slot B) sulla schermata del browser del dispositivo. Viene visualizzata la schermata “Slot A” o “Slot B”.

Esempio: schermata “Slot A”



4 Selezionare il file.

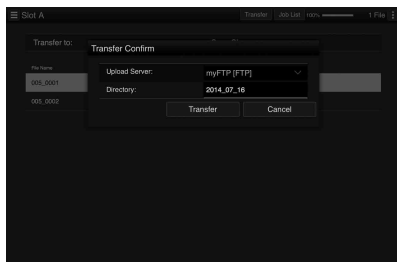
Toccare il file per selezionarlo. Toccare di nuovo il file per annullare.

5 Toccare “Transfer”.

Viene visualizzato il server impostato come predefinito in “Default Server” in “Registrazione il server per il caricamento” (pagina 18).

Per cambiare il server, toccare un server per visualizzare l’elenco di server e selezionare il server.

Inserire la directory per il server in “Directory”, se necessario.



6 Toccare “Transfer”.

La videocamera avvia il caricamento del file selezionato.

Per annullare il caricamento, toccare “Cancel”.

Verifica del caricamento del file

È possibile verificare lo stato di caricamento nella schermata “Job List” visualizzabile toccando “Job List” nella schermata “SD Card”, “Slot A”, o “Slot B” (pagina 19).

Trasmissione di video e audio in streaming (solo PXW-X180)

È possibile trasmettere il video e l’audio acquisiti/riprodotti con la videocamera tramite Internet o rete locale.

Operazioni di preparazione

Per connettersi a Internet

Connettere la videocamera a Internet attendendosi alla procedura di “Connessione a Internet (solo PXW-X180)” (pagina 8).

Per connettersi alla rete locale

Connettere la videocamera alla rete locale attendendosi alla procedura di “Connessione a un altro dispositivo tramite LAN wireless (solo PXW-X180)” (pagina 4).

Per impostare la destinazione di trasmissione dello streaming

- 1 Selezionare “Preset1” (o “Preset2”, “Preset3”) in “Streaming” del menu System per aprire la schermata di impostazioni per la destinazione di trasmissione dello streaming.
- 2 In tale schermata, impostare la voce corrispondente a “Size”, “Bit Rate”, e “Type”.
- 3 Selezionare “Preset1” (o “Preset2”, “Preset3”) impostato nei punti 1 e 2 per “Preset Select” in “Streaming” del menu System.

Avvio dello streaming

- 1 Impostare “Setting” su “On” in “Streaming” del menu System.

Lo streaming inizia in base all’impostazione selezionata.

È possibile assegnare “Streaming” a un tasto assegnabile. Per i dettagli sull’assegnazione, consultare “Tasti assegnabili” nel Manuale delle istruzioni.

Note

- Non è possibile avviare lo streaming quando “Setting” in “Network” del menu System è impostato su “Off”.
- Potrebbero essere necessarie varie decine di secondi per lo stream video o audio effettivo dopo aver avviato lo streaming.

- Non è possibile avviare lo streaming durante la riproduzione di un clip SD.
- Se si imposta la destinazione di trasmissione dello streaming erroneamente o se la videocamera non si connette alla rete, “X” viene visualizzato sullo schermo come indicazione di stato dello streaming.

Arresto dello streaming

1 Impostare “Setting” su “Off” in “Streaming” del menu System.

Lo streaming si arresta premendo sempre il tasto assegnabile a cui è assegnato “Streaming”.

Quando la videocamera è collegata a un dispositivo tramite LAN wireless (*pagina 4*) o è connessa a Internet con la modalità stazione LAN wireless (*pagina 9*), è anche possibile impostare la destinazione di trasmissione e l’avvio/arresto dello streaming dal menu Web (*pagina 14*).

Uso del telecomando Wi-Fi (solo PXW-X180)

Dopo aver stabilito una connessione LAN wireless tra un dispositivo, ad esempio uno smartphone o un tablet, e la videocamera, sullo schermo del dispositivo viene visualizzato il telecomando Wi-Fi; a questo punto, è possibile utilizzare il dispositivo come un telecomando. È possibile avviare/arrestare la registrazione e regolare le impostazioni di registrazione con un dispositivo connesso tramite Wi-Fi. Questa funzione è utile per configurare una videocamera collocata a distanza, ad esempio in cima a una gru o in situazioni simili.

Visualizzazione del telecomando Wi-Fi

Le dimensioni della schermata del telecomando Wi-Fi vengono adattate automaticamente alle dimensioni dello schermo del dispositivo. Per i dettagli sulla schermata del telecomando Wi-Fi, consultare il Manuale delle istruzioni.

1 Effettuare una connessione LAN wireless tra il dispositivo e la videocamera (*pagina 5*).

2 Avviare il browser e inserire http://<indirizzo IP della videocamera> (“menu System” > “Network” > “IP Address”)/rm.html nella barra degli indirizzi.

Esempio: Se l’indirizzo IP è 192.168.1.1, immettere http://192.168.1.1/rm.html nella barra degli indirizzi.

3 Immettere il nome utente e la password (“menu System” > “Basic Authentication” > “User Name” o “Password”) sul browser.

Al completamento della connessione, sul dispositivo viene visualizzata la schermata del telecomando Wi-Fi.

Utilizzare il telecomando Wi-Fi attenendosi alle indicazioni sullo schermo.

Il tasto REC non è disponibile quando l’interruttore di blocco si trova nella posizione a destra.

È possibile visualizzare il telecomando Wi-Fi con “Cam Remote Control” del menu Web (*pagina 14*).

Note

- A seconda del dispositivo, il telecomando Wi-Fi potrebbe non essere visualizzato correttamente sullo schermo del dispositivo, anche immettendo http://<indirizzo IP videocamera>/rm.html nella barra degli indirizzi. In questo caso, per visualizzare correttamente il telecomando Wi-Fi, inserire “rms.html” per uno smartphone o “rmt.html” per un tablet invece di “rm.html” alla fine dell’indirizzo.
- Nei casi indicati di seguito, il telecomando Wi-Fi sullo schermo del dispositivo potrebbe non corrispondere allo stato effettivo della videocamera. In questo caso, aggiornare il browser sul dispositivo.
 - Quando la videocamera viene riavviata mentre è attiva la connessione Wi-Fi
 - Quando la videocamera viene controllata direttamente mentre è attiva la connessione Wi-Fi
 - Quando il dispositivo viene riconnesso
 - Quando si utilizzano i pulsanti Avanti e Indietro del browser del dispositivo.
- Se il segnale Wi-Fi è scadente, il telecomando Wi-Fi potrebbe non funzionare correttamente.


Informazioni sul menu Web (solo PXW-X180)

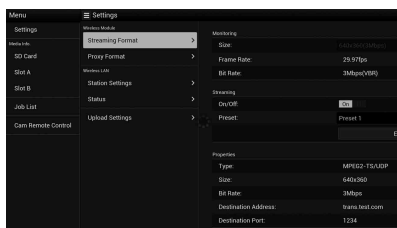
Il menu Web della videocamera può essere visualizzato accedendo alla videocamera dal browser di un dispositivo connesso alla videocamera tramite LAN wireless. È possibile eseguire le impostazioni per la funzione wireless o per il trasferimento di file.

Schermata iniziale

Durante il collegamento della videocamera e del dispositivo e durante l'accesso alla videocamera dal browser sul dispositivo, nel browser viene visualizzata la schermata "SD Card" in "Media Info" della videocamera.

Informazioni sul menu di impostazione

Il menu di impostazione può essere visualizzato toccando  in alto a sinistra sullo schermo. Toccare la voce che si desidera impostare.



“Settings”

Consente di visualizzare la schermata per le impostazioni della videocamera.

- “Wireless Module”
 - “Streaming Format”: impostazioni Formato streaming (*pagina 14*)
 - “Proxy Format”: impostazioni Formato proxy
- “Wireless LAN”
 - “Station Settings”: impostazioni della LAN wireless (*pagina 16*)
 - “Status”: stato delle impostazioni della LAN wireless (*pagina 17*)
- “Upload Settings”
 - Impostazioni di caricamento (*pagina 18*)

Note

- Quando è visualizzata la schermata “Settings”, è possibile visualizzare la schermata di impostazione desiderata toccando le seguenti voci.



“Media Info”

Consente di visualizzare la schermata per la visualizzazione dello stato del supporto o la selezione del file caricato (*pagina 10*).

- “SD Card”: supporto inserito nello slot PROXY SD della videocamera.
- “Slot A”: supporto inserito nello slot per schede A della videocamera.
- “Slot B”: supporto inserito nello slot per schede B della videocamera.

“Job List”

Consente di visualizzare la schermata per la gestione dei file caricati (*pagina 19*).

“Cam Remote Control”

Consente di visualizzare il telecomando Wi-Fi (*pagina 13*).

Impostazioni Formato streaming

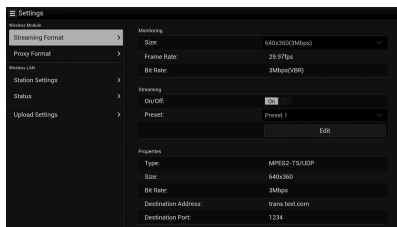
È possibile impostare il formato dello stream monitorato con il dispositivo. In alternativa, è possibile impostare il formato/destinazione della trasmissione dello stream che trasmette lo streaming tramite Internet o rete locale.

Video

- Profilo principale AVC/H.264, 4:2:0 Long GOP
- Le dimensioni vengono selezionate con le seguenti impostazioni.

Audio

- Compressione AAC-LC
- Frequenza di campionamento: 48 kHz
- Velocità in bit: 128 kbps per Stereo



Impostazioni di monitoraggio

È possibile impostare il formato quando si effettua il monitoraggio sul dispositivo terminale.

“Size” (“Monitoraggio”)

Impostare le dimensioni e la velocità in bit del video per il monitoraggio.

“640 × 360”: 3 Mbps (VBR)

“480 × 270”: 1 Mbps (VBR)

“480 × 270”: 0,5 Mbps (VBR)

Note

- Questa velocità in bit è un valore medio. La velocità in bit effettiva potrebbe essere superiore al valore medio.

“Frame Rate”

Consente di visualizzare la frequenza dei fotogrammi del video.

“23.98fps”: 23,975 fps

“25fps”: 25 fps

“29.97fps”: 29,97 fps

“50fps”: 50 fps

“59.94fps”: 59,94 fps

Note

- “24 f/s” non è supportato.

“Bit Rate”

“3Mbps (VBR)”: 640 × 360

“1Mbps (VBR)”: 480 × 270

“0.5Mbps (VBR)”: 480 × 270

Impostazioni di streaming

È possibile impostare il formato o la destinazione di trasmissione per lo streaming. È possibile preimpostare fino a tre impostazioni.

“On/Off”

Consente di attivare/disattivare la trasmissione dello streaming.

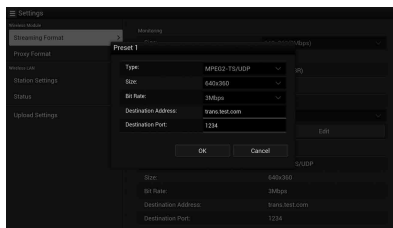
Note

- Quando è selezionato “On”, la funzione di monitoraggio non è disponibile.

“Preset”

Selezionare la preimpostazione da “Preset 1” a “Preset 3”.

È possibile modificare “Preset” toccando “Edit”.



“Type”

Selezionare il tipo di video in streaming da “MPEG-2 TS/UDP” o “MPEG-2 TS/RTP”.

“Size”

Impostare le dimensioni del video in streaming.

“HD Auto”

“1280 × 720”

“640 × 360”

“480 × 270”

Quando si seleziona “HD Auto”, le dimensioni vengono impostate a 1920 × 1080 o 1280 × 720 in base all’impostazione del formato di registrazione memorizzata nella scheda di memoria SxS o del formato del clip da riprodurre.

“Bit Rate”

Impostare la velocità in bit del video in streaming.

“9Mbps”

“6Mbps”

“3Mbps”

“2Mbps”

“1Mbps”

“0.5Mbps”

Le velocità in bit selezionabili dipendono dall’impostazione di “Size”.

Note

- La riservatezza dei dati video/audio potrebbe essere violata per via del loro trasferimento via Internet. Assicurarsi che il destinatario della trasmissione sia in grado di ricevere i dati in streaming. I dati potrebbero essere inviati per errore a soggetti estranei a causa di errori nell'impostazione dell'indirizzo.
- Alcuni fotogrammi potrebbero non essere riprodotti, a seconda dello stato della rete.
- La qualità d'immagine potrebbe peggiorare nelle scene troppo movimentate.
- Alcuni fotogrammi potrebbero non essere riprodotti quando lo stream è impostato su grandi dimensioni con una velocità in bit bassa. Per ridurre tale fenomeno, selezionare dimensioni inferiori in "Size".
- Quando "Bit Rate" (pagina 16) dell'impostazione del formato proxy è impostato su "9Mbps (VBR)":
 - "Bit Rate" dell'impostazione dello stream non può essere impostato su valori superiori a "6Mbps".
 - Quando si seleziona una preimpostazione di cui "Bit Rate" è impostato su valori superiori a "6Mbps", "Bit Rate" dell'impostazione dello streaming passa automaticamente a "3Mbps".

"Destination Address"

Inserire l'indirizzo del server di destinazione della trasmissione per i dati in streaming.

"Destination Port"

Inserire il numero di porta del server di destinazione della trasmissione utilizzato per lo streaming.

Impostazioni Formato proxy

È possibile impostare il formato del file proxy che viene registrato sulla scheda SD della videocamera.

Video

Proxy XAVC (Profilo principale AVC/H.264, 4:2:0 Long GOP)

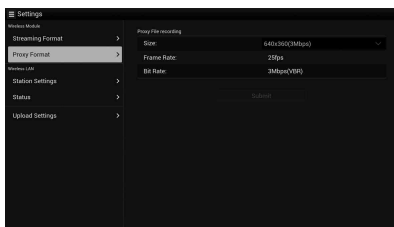
Le dimensioni vengono selezionate con le seguenti impostazioni.

Audio

Compressione AAC-LC

Frequenza di campionamento: 48 kHz

Velocità in bit: 128 kbps per Stereo



"Size"

Impostare le dimensioni e la velocità in bit del video per il file proxy.

"1280 × 720": 9 Mbps (VBR)

"640 × 360": 3 Mbps (VBR)

"480 × 270": 1 Mbps (VBR)

"480 × 270": 0,5 Mbps (VBR)

Note

- Quando "Bit Rate" dell'impostazione di streaming è impostato su un valore superiore a "6Mbps", "9Mbps (VBR)" non può essere impostato.

"Frame Rate"

Consente di visualizzare la frequenza dei fotogrammi del video.

"23,98 f/s": 23,975 f/s

"25 f/s": 25 f/s

"29,97 f/s": 29,97 f/s

"50 f/s": 50 f/s

"59,94 f/s": 59,94 f/s

Note

- "24 f/s" non è supportato.

"Bit Rate"

Consente di visualizzare la velocità in bit del video.

"9 Mbps (VBR)": 1280 × 720

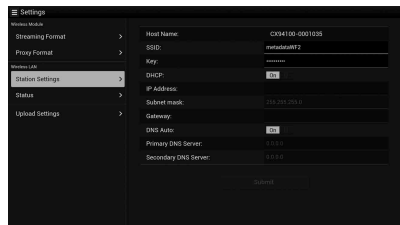
"3 Mbps (VBR)": 640 × 360

"1 Mbps (VBR)": 480 × 270

"0.5 Mbps (VBR)": 480 × 270

Impostazioni della LAN wireless (Station Settings)

È possibile eseguire le impostazioni per la connessione a una LAN wireless.



"Host Name"

Consente di visualizzare il nome host della videocamera. La modifica non è consentita.

"SSID"

Consente di visualizzare l'SSID selezionato a "Access Point".

“Key”

Inserire la password per il punto di accesso.

“DHCP”

Configurare le impostazioni DHCP.

Se si imposta “On”, l’indirizzo IP viene assegnato alla videocamera automaticamente.

Per assegnare manualmente l’indirizzo IP alla videocamera, impostare “Off”.

“IP Address”

Inserire l’indirizzo IP della videocamera. Questa impostazione è disponibile solo quando “DHCP” è impostato su “Off”.

“Subnet mask”

Inserire la subnet mask della videocamera.

Questa impostazione è disponibile solo quando “DHCP” è impostato su “Off”.

“Gateway”

Inserire il gateway predefinito per il punto di accesso. Questa impostazione è disponibile solo quando “DHCP” è impostato su “Off”.

“DNS Auto”

Impostare la funzione di acquisizione automatica DNS.

“Primary DNS Server”

Inserire il server DNS primario per il punto di accesso. Questa impostazione è disponibile solo quando “DNS Auto” è impostato su “Off”. Quando questa impostazione è su “Off”, l’acquisizione è manuale.

“Secondary DNS Server”

Inserire il server DNS secondario per il punto di accesso. Questa impostazione è disponibile solo quando “DNS Auto” è impostato su “Off”.

“Submit”

Consente di confermare le impostazioni della LAN wireless.

Per connettersi al punto di accesso nella modalità stazione senza la funzione WPS

1 Connettere il dispositivo alla videocamera nella modalità punto di accesso (pagina 5).

2 Impostare le voci nella schermata “Station Settings”.

Eseguire le impostazioni in conformità alle impostazioni del punto di accesso.

Per i dettagli sulle impostazioni del punto di accesso, consultare le istruzioni per l’uso del punto di accesso.

3 Toccare “Submit”.

Le voci impostate vengono confermate.

4 Impostare la modalità di funzionamento LAN wireless della videocamera sulla modalità stazione Wi-Fi impostando “Setting” in “Network” del menu System su “Wi-Fi Station”.

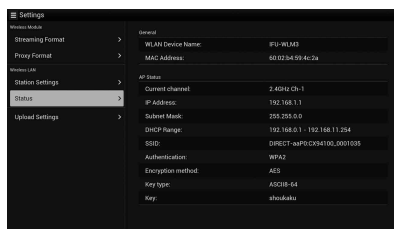
La videocamera avvia la connessione nella modalità stazione. Accedere alla videocamera dal dispositivo eseguendo la procedura dal punto 7 di “Connessione al punto di accesso con la funzione WPS” (pagina 7).

Verifica delle impostazioni della LAN wireless

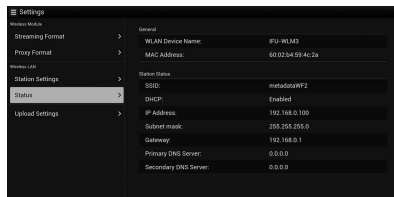
Visualizzare la schermata di verifica delle impostazioni della LAN wireless toccando “Wireless LAN” > “Status”.

Le voci visualizzate dipendono dalla modalità LAN wireless della videocamera.

Modalità punto di accesso

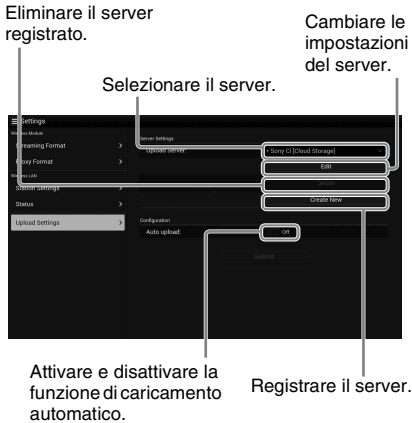


Modalità stazione



Impostazioni di caricamento

È possibile registrare il server per il caricamento di un file proxy o di un file originale registrato sulla videocamera, oppure cambiare le impostazioni del server registrato.



“Auto Upload On/Off”

Se “Auto Upload On/Off” è impostato su “On” e la videocamera è connessa a Internet, dopo la registrazione la videocamera carica automaticamente un file proxy sul server impostato come predefinito in “Upload Setting”.

Il server predefinito è “Sony Ci”.

Sony Ci indica il servizio “Media Cloud Services” fornito da Sony. È possibile caricare i file sul servizio cloud Sony, chiamato Sony Ci.

Note

- Per utilizzare Sony Ci è necessario registrarsi. Per maggiori dettagli, visitare www.SonyMCS.com/wireless

Per registrarsi a “Sony Ci”

1 Assicurarsi che nella schermata “Upload Settings” sia visualizzato “Sony Ci”, quindi toccare “Edit”.

Viene visualizzata la schermata di impostazione per Sony Ci.

2 Inserire il nome utente in “User” e la password in “Password”.

Per maggiori dettagli, visitare www.SonyMCS.com/wireless

3 Toccare “Link”.

Dopo qualche istante viene visualizzato il messaggio di completamento.

Note

- “Link” è l’operazione di associazione dell’utente alla videocamera. Per eseguire “Link”, è necessario connettere la videocamera a Internet.

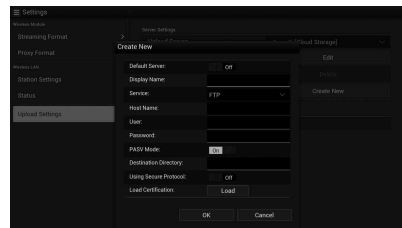
4 Toccare “OK”.

Note

- Dopo la registrazione a Sony Ci, nella schermata di impostazione viene visualizzato “Unlink”. Toccando “Unlink” l’account utente corrente viene scollegato ed è possibile collegare un account utente diverso.

Registrare il server per il caricamento

Toccando “Create New” viene visualizzata la schermata di impostazione.



L’impostazione viene applicata toccando “OK”. Per annullare, toccare “Cancel”.

“Default Server”

Con l’impostazione “On”, in fase di caricamento il server viene visualizzato con priorità nell’elenco dei server.

“Display Name”

Inserire il nome del server visualizzato nell’elenco.

“Service”

Consente di visualizzare il tipo di server. “FTP”: server FTP

“Host Name”

Inserire l’indirizzo del server.

“User”

Inserire il nome utente del server.

“Password”

Inserire la password del server.

“PASV Mode”

Consente di attivare e disattivare la modalità PASV.

“Using Secure Protocol”

Consente di stabilire se utilizzare il caricamento FTP sicuro.

“Load Certification”

Consente di leggere il certificato CA.

- Formattare il certificato da leggere nel formato PEM e salvarlo nella directory radice di una scheda SD con il nome file “certification.pem”.

“Clear Certification”

Consente di cancellare il certificato CA.

Note

- Le comunicazioni dei dati tramite FTP non sono crittografate. Si raccomanda di utilizzare l’FTPS.

Modifica delle impostazioni del server registrato

Toccare “Edit” dopo aver selezionato il server per cui si desidera cambiare le impostazioni nella schermata “Upload Settings”. Cambiare le impostazioni sullo schermo per modificare le impostazioni.

Per i dettagli sulle voci di impostazione, vedere “Registrazione del server per il caricamento” (pagina 18).

Eliminazione del server registrato

Toccare “Delete” dopo aver selezionato il server che si desidera eliminare nella schermata “Upload Settings”. Toccare “OK” quando viene visualizzata la schermata di conferma. Il server selezionato viene eliminato e il display ritorna alla schermata precedente.

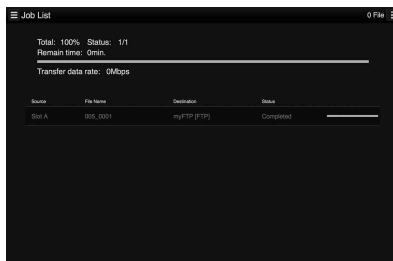
Verifica del trasferimento di file (Job List)

È possibile controllare l’elenco dei file da caricare, il file in fase di caricamento, annullare o avviare il caricamento dei file ed eliminare il file dall’elenco dei file.

La videocamera è compatibile con la funzione di ripresa FTP (funzione di ricaricamento per un file il cui trasferimento è stato sospeso).

Note

- La funzione di ripresa FTP è disponibile solo per il server compatibile.



- “Total”: avanzamento di tutti i file da caricare.
- “Status”: avanzamento del file attualmente in fase di caricamento.
- “Remain Time”: tempo stimato rimanente per il caricamento.
- “Transfer data rate”: indicazione della velocità di trasferimento.

Per annullare o avviare il caricamento, o eliminare un file dall’elenco dei file

1 Selezionare il file nell’elenco.

2 Toccare in alto a destra sullo schermo.

Selezionare l’elemento.

- “Abort selected”: consente di annullare il caricamento del file selezionato.
- “Delete from list”: consente di eliminare il file selezionato dall’elenco.
- “Start selected”: consente di avviare il caricamento del file selezionato.
- “Select All”: consente di selezionare tutti i file nell’elenco.
- “Clear completed”: consente di eliminare l’elenco di tutti i file caricati.

Elenco dei menu di configurazione

Le funzioni e le impostazioni disponibili dei menu aggiunti di recente sono elencate di seguito. Le impostazioni predefinite di fabbrica sono mostrate in grassetto (esempio: **Off**).

Recording		
Voci di menu	Voci secondarie e valori delle impostazioni	Contenuti
Picture Cache Rec	Setting On / Off	Consente di attivare/disattivare la funzione di registrazione cache immagini.
Impostazioni per la funzione di registrazione cache immagini	Cache Rec Time XAVC-I / XAVC-L 0-2sec / 2-4sec / 4-6sec / 6-8sec MPEG HD422 / MPEG HD420 / DVCAM 0-2sec / 2-4sec / 4-6sec / 6-8sec / 8-10sec / 10-12sec / 12-14sec / 13-15sec	Consente di impostare il tempo di registrazione cache immagini.

Paint		
Voci di menu	Voci secondarie e valori delle impostazioni	Contenuti
White	Filter White Memory On / Off	Consente di attivare/disattivare la funzione di memoria bianco filtro.
Impostazioni per il bilanciamento del bianco		

System		
Voci di menu	Voci secondarie e valori delle impostazioni	Contenuti
Network (solo PXW-X180)	NFC Execute / Cancel	Consente di scegliere se abilitare la funzione NFC. Se viene selezionato "Execute", la funzione NFC si attiva e "Setting" è impostato temporaneamente su "Wi-Fi Access Point", e la videocamera passa alla modalità di attesa per NFC. Se viene selezionato "Cancel", le impostazioni ritornano ai valori precedenti.
Impostazioni per la connessione di rete e le voci di visualizzazione relative	Setting Wi-Fi Access Point / Wi-Fi Station / Modem / Off	Consente di impostare la modalità di funzionamento della connessione di rete.
		<div style="background-color: #cccccc; padding: 2px;">Note</div> <ul style="list-style-type: none"> Quando si utilizza l'adattatore USB-RJ45, selezionare "Modem".
	Channel Auto / CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13	Consente di impostare il canale della LAN wireless.
	SSID & Password	Consente di visualizzare l'SSID e la password della LAN wireless.

System		
Voci di menu	Voci secondarie e valori delle impostazioni	Contenuti
Network	WPS Execute / Cancel	Consente di avviare la Wi-Fi Protected Setup (WPS, impostazione protetta Wi-Fi).
	Device Name	Consente di visualizzare il nome del dispositivo di rete che si sta utilizzando.
	IP Address	Consente di visualizzare l'indirizzo IP della videocamera.
	Subnet Mask	Consente di visualizzare la subnet mask della videocamera.
	MAC Address	Consente di visualizzare l'indirizzo MAC del modulo LAN wireless della videocamera.
	Regenerate Password Execute / Cancel	Consente di rigenerare la password. Execute: consente di eseguire questa funzione.
Streaming (solo PXW-X180) Impostazioni per lo streaming di rete e le voci di visualizzazione relative	Setting	Consente di attivare/disattivare la funzione per la trasmissione dello streaming.
		<p>Note</p> <ul style="list-style-type: none"> • Questa impostazione si disattiva alla successiva accensione. • Quando si attiva lo streaming, la funzione di monitoraggio non è disponibile.
	Preset Select Preset1	Consente di selezionare la preimpostazione dello streaming.
	Size (HD Auto / 1280 × 720 / 640 × 360 / 480 × 270)	Consente di impostare le dimensioni dell'immagine per lo streaming. Quando si seleziona "HD Auto", le dimensioni vengono impostate a "1920 × 1080" o "1280 × 720" in base all'impostazione del formato di registrazione memorizzata nella scheda di memoria SxS o del formato di un clip da riprodurre.

System		
Voci di menu	Voci secondarie e valori delle impostazioni	Contenuti
Streaming	Bit Rate (9Mbps / 6Mbps / 3Mbps / 2Mbps / 1Mbps / 0.5Mbps)	Impostare la velocità in bit del video per lo streaming. Le velocità in bit selezionabili dipendono dal valore dell'impostazione di "Size".
		<div style="background-color: #cccccc; padding: 2px;">Note</div> <ul style="list-style-type: none"> • La riservatezza dei dati video/audio potrebbe essere violata per via del loro trasferimento via Internet. Assicurarsi che il destinatario della trasmissione sia in grado di ricevere i dati in streaming. • I dati potrebbero essere inviati per errore a soggetti estranei a causa di errori nell'impostazione dell'indirizzo. • Alcuni fotogrammi potrebbero non essere riprodotti, a seconda dello stato della rete. • La qualità d'immagine potrebbe peggiorare nelle scene troppo movimentate. • Alcuni fotogrammi potrebbero non essere riprodotti quando lo stream è impostato su grandi dimensioni con una velocità in bit bassa. Per ridurre tale fenomeno, selezionare dimensioni inferiori in "Size". • Quando "Bit Rate" (<i>pagina 16</i>) dell'impostazione del formato proxy è impostato su "9Mbps (VBR)": <ul style="list-style-type: none"> — "Bit Rate" dell'impostazione dello stream non può essere impostato su un valore superiore a "6Mbps". — Quando si seleziona una preimpostazione di cui "Bit Rate" è impostato su valori superiori a "6Mbps", "Bit Rate" dell'impostazione di streaming passa automaticamente a "3Mbps".
	Type (MPEG-2 TS/UDP / MPEG-2 TS/RTP)	Consente di selezionare il tipo di video in streaming.
	Destination Address (Stringa di caratteri. 0.0.0.0)	Inserire l'indirizzo del server per la trasmissione in streaming.
	Destination Port (da 1 a 65545. 1234)	Inserire il numero di porta utilizzato per lo streaming del server di destinazione.
	Preset2	
	Preset3	

Appendice

Vengono di seguito fornite ulteriori informazioni per il Manuale delle istruzioni in dotazione con la videocamera.

Note sulla registrazione

Quando la spia di accesso è illuminata o lampeggia in rosso, la videocamera sta leggendo o scrivendo dati sul supporto di registrazione. Non scuotere né applicare forza eccessiva sulla videocamera, non spegnerla e non rimuovere il supporto di registrazione, la batteria o l'alimentatore CA. In caso contrario, i dati di immagine potrebbero venire distrutti.

Gestione dei file di immagine su un computer

- I dati di immagine non possono essere riprodotti se sono stati modificati i nomi dei file o le cartelle, o se i dati sono stati modificati su un computer. (Quando si visualizzano fermi immagine, il nome del file lampeggia.) Questo fenomeno non è indice di un problema di funzionamento.
- Se i file di gestione delle immagini vengono eliminati su un computer, non è possibile registrare/riprodurre correttamente le immagini. La proprietà predefinita per il file di gestione delle immagini deve essere nascosta e quindi non viene normalmente visualizzata.

<http://www.sony.net>

© 2015 Sony Corporation

